平成３年度

# 神戸市埋蔵文化財年報

１９９４

神戸市教育委員会

平成３年度

# 神戸市埋蔵文化財年報

１９９４

神戸市教育委員会

# 序

神戸市内では、毎年数多くの遺跡が発掘調査によって地下の眠りからめざめ、私たちに古代史の一幕を見せてくれます。

本書は、平成３年度に実施した発掘調査の概要をまとめたもので、市内で発見された古代の人々の生活の記録とも言えます。平成３年度の発掘調査では、「馬の絵」の線刻画が発見された高塚山古墳群、「○」の線刻画が発見された北神ニュータウン内第３地点古墳など全国的にみても貴重な発見がありました。このような市内の遺跡や出土した遺物は、神戸の歴史を解明する資料となります。本書を通してさらに埋蔵文化財に対する理解を深めていただければ幸いです。

また、埋蔵文化財センターも開館２周年を迎え、入館者が10万人を越え、今後とも市民の方々をはじめ、広く皆様に利用される施設として充実を図ってまいりたいと思います。

最後に、教育委員会の各事業の実施にあたり、御協力いただきました関係諸機関、関係各位に対し、厚く御礼申し上げます。

平成６年３月

神戸市教育委員会

# 例　　言

1．本書は、神戸市教育委員会が平成３年度に実施した埋蔵文化財事業の概要である。事業に関わる発掘調査は、神戸市文化財専門委員に指導を得て下記の調査組織によって実施した。

調査関係者組織表

神戸市文化財専門委員（埋蔵文化財部会委員）

| | |
|---|---|
| 檀上重光 | 神戸市立博物館副館長 |
| 和田晴吾 | 立命館大学文学部教授 |
| 細見啓三 | 奈良国立文化財研究所建造物研究室長 |

教育委員会事務局

| | |
|---|---|
| 教育長 | 福尾重信 |
| 社会教育部長 | 松田康宏 |
| 文化財課長 | 杉田年章 |
| 社会教育部主幹 | 室谷卓也 |
| 埋蔵文化財係長 | 奥田哲通 |
| 文化財課主査 | 中村善則・渡辺伸行 |
| 事務担当学芸員 | 口野博史・西岡誠司 |
| 〃 | 松林宏典 |
| 調査担当学芸員 | 菅本宏明 |
| 〃 | 千種　浩（保存科学担当） |
| 〃 | 黒田恭正 |
| 〃 | 谷　正俊 |
| 〃 | 山本雅和 |
| 〃 | 須藤　宏 |
| 〃 | 佐伯二郎 |
| 〃 | 東　喜代秀 |
| 〃 | 池田　毅 |
| 〃 | 松林宏典 |
| 〃 | 阿部敬生 |
| 〃 | 橋詰清孝 |
| 〃 | 川上厚志 |

（財）神戸市スポーツ教育公社

| | |
|---|---|
| 理事長 | 緒方　学 |
| 副理事 | 福尾重信 |
| 専務理事 | 谷　明 |
| 常務理事 | 飯塚日出雄 |
| 総務部長 | 藤井　浩 |
| 総務課長 | 石坪正之 |
| 文化財調査係長（文化財課主査兼務） | 中村善則 |
| 調査担当学芸員 | 丸山　潔 |
| 〃 | 西岡巧次 |
| 〃 | 丹治康明 |
| 〃 | 安田　滋 |
| 〃 | 前田佳久 |
| 〃 | 山口英正 |
| 〃 | 富山直人 |
| 〃 | 斎木　巌 |
| 〃 | 内藤俊哉 |
| 〃 | 浅谷誠吾 |
| 〃 | 井尻　格 |
| 〃 | 藤井太郎 |

2．本書に掲載した位置図は、神戸市立中学校教育研究会社会科研究部編集（神戸市スポーツ教育公社発行）の５万分の１神戸市全図を、各遺跡の位置図は、神戸市発行2500分の１地形図を使用した。

3．本書は、埋蔵文化財発掘調査一覧表に示した各調査担当者が執筆して作成し、山本雅和が編集を行った。

4．表紙写真は高塚山２号墳の馬の線刻画近景（奈良国立文化財研究所　牛嶋茂氏撮影）、裏表紙写真は新方遺跡大日地点第２次調査出土の玉製品（楠華堂　楠本真紀子氏撮影）である。なお、本文掲載写真のうち、高塚山古墳群の遺構写真は牛嶋茂氏撮影、各遺跡の遺物写真は楠本真紀子氏撮影である。

# 目　　次

序
例言

Ⅰ．平成３年度　事業の概要……1
　平成３年度　埋蔵文化財発掘調査一覧……6
　平成３年度　埋蔵文化財発掘調査事業別一覧……11
　平成３年度　神戸市埋蔵文化財調査地位置図……15

Ⅱ．平成３年度の発掘調査……21
　1．神出・東遺跡……21
　2．西神ニュータウン内第36号地点遺跡……25
　3．玉津田中遺跡　平野地区　第５次調査……27
　4．印路遺跡……41
　5．出合遺跡　第27次調査……47
　6．出合遺跡　第28次調査……51
　7．栃木遺跡　第７次調査……53
　8．二ツ屋東遺跡……61
　9．水谷遺跡……67
　10．高津橋・岡遺跡　第３次調査……73
　11．新方遺跡大日地点　第２次調査……77
　12．高塚山古墳群　第１次調査……85
　13．垂水・日向遺跡　第５次調査……93
　14．大田町遺跡……101
　15．神楽遺跡　第７次調査……109
　16．長田神社境内遺跡　第５次調査……119
　17．五番町遺跡……127
　18．雲井遺跡　第４次調査……133
　19．旧三宮駅構内遺跡　第２次調査　Ⅴ・Ⅵ区……141
　20．日暮遺跡　第４次調査……145
　21．八幡遺跡……153
　22．滝ノ奥遺跡……159
　23．篠原南町遺跡……171
　24．郡家遺跡　篠ノ坪地区　第２次調査……175
　25．郡家遺跡　御影中町地区　第５次調査……183
　26．北神ニュータウン内第２・３地点古墳……191
　27．宅原遺跡　宮ノ元地区……201
　28．龍ヶ坪遺跡　第２次調査……211
　29．上津遺跡……217
　30．上津遺跡……225
　31．淡河・中村遺跡……235
　32．行原遺跡　第２・４次調査……245

Ⅲ．平成３年度の保存科学処理……255

# 挿　図　目　次


fig. 1　神戸市埋蔵文化財センター外観〔写真〕 …… 1
fig. 2　「伊川谷の遺跡展」〔写真〕 …… 2
fig. 3　調査地点の位置 …… 21
fig. 4　調査地区平面図 …… 22
fig. 5　調査地区全景（南から）〔写真〕 …… 23
fig. 6　ＳＸ01・02、ＳＤ01・02（東から）〔写真〕 …… 23
fig. 7　ＳＢ01柱穴列（北から）〔写真〕 …… 23
fig. 8　Ｐ12遺物出土状況〔写真〕 …… 24
fig. 9　出土遺物実測図 …… 24
fig. 10　調査地点の位置 …… 25
fig. 11　調査地区平面図 …… 25
fig. 12　調査地点全景（南から）〔写真〕 …… 26
fig. 13　ＳＫ01全景（西から）〔写真〕 …… 26
fig. 14　ＳＫ01土器出土状況（西から）〔写真〕 …… 26
fig. 15　須恵器坏身出土状況〔写真〕 …… 26
fig. 16　出土遺物実測図 …… 26
fig. 17　調査地点の位置 …… 27
fig. 18　８トレンチ中世の水田面全景（東から）〔写真〕 …… 28
fig. 19　８トレンチ中世の遺構面全景（西から）〔写真〕 …… 28
fig. 20　７トレンチ古墳時代前期の遺構平面図 …… 29
fig. 21　７トレンチ古墳時代前期の流路（東から）〔写真〕 …… 29
fig. 22　７トレンチ古墳時代前期の流路（東から）〔写真〕 …… 29
fig. 23　７トレンチ北端古墳時代の流路平面図 …… 30
fig. 24　ＳＫ751全景（西から）〔写真〕 …… 30
fig. 25　ＳＫ751土器出土状況（西から）〔写真〕 …… 30
fig. 26　７トレンチ北端弥生時代後期の流路平面図 …… 31
fig. 27　ＳＤ752近景（東から）〔写真〕 …… 32
fig. 28　ＳＤ753～755全景（西から）〔写真〕 …… 32
fig. 29　堰近景（南から）〔写真〕 …… 32
fig. 30　一木鋤出土状況〔写真〕 …… 32
fig. 31　７・９トレンチ弥生時代の上層水田平面図 …… 33
fig. 32　７トレンチ弥生時代の上層水田近景（南から）〔写真〕 …… 34
fig. 33　７トレンチ弥生時代の上層水田全景（北から）〔写真〕 …… 34
fig. 34　８トレンチ第６遺構面全景（東から）〔写真〕 …… 34
fig. 35　ＳＫ801近景（北から）〔写真〕 …… 34
fig. 36　９トレンチ第１遺構面平面図 …… 35
fig. 37　９トレンチ第１遺構面近景（北から）〔写真〕 …… 35
fig. 38　９・10トレンチ第２遺構面平面図 …… 36
fig. 39　９トレンチ第２遺構面近景（北から）〔写真〕 …… 36
fig. 40　10トレンチ第２遺構面全景（西から）〔写真〕 …… 36
fig. 41　９トレンチ第３遺構面近景（北から）〔写真〕 …… 37
fig. 42　９トレンチ第４遺構面全景（南から）〔写真〕 …… 37
fig. 43　９トレンチ第４遺構面近景（南から）〔写真〕 …… 37
fig. 44　９トレンチ弥生時代の下層水田平面図 …… 38
fig. 45　９トレンチ弥生時代の下層水田全景（北から）〔写真〕 …… 38
fig. 46　９トレンチ下層水田近景（西から）〔写真〕 …… 38
fig. 47　９トレンチ下層水田近景（南から）〔写真〕 …… 38
fig. 48　９トレンチの出土遺物実測図 …… 39
fig. 49　調査地点の位置 …… 41
fig. 50　調査区設定図 …… 42
fig. 51　１トレンチ第１遺構面全景（北から）〔写真〕 …… 42
fig. 52　２トレンチ第３遺構面全景（東から）〔写真〕 …… 42
fig. 53　１・２トレンチ第３遺構面平面図 …… 43
fig. 54　１トレンチ南半第３遺構面近景（北から）〔写真〕 …… 43
fig. 55　２トレンチ畦畔の断面〔写真〕 …… 43

fig.56　3・4トレンチ平面図 …… 44
fig.57　3トレンチ第1遺構面全景(南から)〔写真〕 …… 45
fig.58　3トレンチ南半第2遺構面近景（南から）〔写真〕 …… 45
fig.59　4トレンチ第3遺構面近景(東から)〔写真〕 …… 45
fig.60　出土遺物実測図 …… 46
fig.61　調査地点の位置 …… 47
fig.62　空からみた調査地区 …… 48
fig.63　ＳＴ04全景（南から）〔写真〕 …… 49
fig.64　ＳＤ06土器出土状況（南から）〔写真〕 …… 49
fig.65　流路01　ＳＸ01全景（南から）〔写真〕 …… 49
fig.66　流路04　水路状施設近景（東から）〔写真〕 …… 49
fig.67　方形周溝墓群全景（南から）〔写真〕 …… 50
fig.68　調査地点の位置 …… 51
fig.69　調査区平面図 …… 52
fig.70　1トレンチ北半の遺構（北西から）〔写真〕 …… 52
fig.71　2トレンチ遺物出土状況 …… 52
fig.72　調査地点の位置 …… 53
fig.73　第1遺構面平面図 …… 54
fig.74　第1遺構面全景（西から）〔写真〕 …… 55
fig.75　第2遺構面全景（西から）〔写真〕 …… 55
fig.76　第2・3遺構面平面図 …… 56
fig.77　第2・3遺構面全景（東から）〔写真〕 …… 57
fig.78　第3遺構面全景（西から）〔写真〕 …… 57
fig.79　ＳＸ02遺物出土状況（北から）〔写真〕 …… 57
fig.80　ＳＸ02実測図 …… 57
fig.81　ＳＸ04実測図 …… 58
fig.82　ＳＫ04実測図 …… 58
fig.83　ＳＫ04全景（北西から）〔写真〕 …… 58
fig.84　ＳＸ04全景（北西から）〔写真〕 …… 59
fig.85　ＳＸ03遺物出土状況(北東から)〔写真〕 …… 59
fig.86　ＳＤ08実測図 …… 59
fig.87　ＳＤ08遺物出土状況（南から）〔写真〕 …… 59
fig.88　出土遺物実測図 …… 60
fig.89　調査地点の位置 …… 61
fig.90　調査区全景〔写真〕 …… 62
fig.91　遺構配置図 …… 63
fig.92　ＳＤ01全景（南から）〔写真〕 …… 64
fig.93　ＳＤ01弥生土器出土状況（南から）〔写真〕 …… 64
fig.94　ＳＤ01・02断面図 …… 64
fig.95　ＳＤ01・02断面（北から）〔写真〕 …… 64
fig.96　ＳＤ02全景（北から）〔写真〕 …… 65
fig.97　ＳＫ02土器出土状況〔写真〕 …… 65
fig.98　出土遺物実測図 …… 66
fig.99　調査地点の位置と配置 …… 67
fig.100 空から見た調査地区全景（南から）〔写真〕 …… 68
fig.101 調査区平面図 …… 69
fig.102 Ｂトレンチ遺構平面図 …… 70
fig.103 ＣトレンチＳＢ01全景(南から)〔写真〕 …… 71
fig.104 ＢトレンチＳＢ02全景(西から)〔写真〕 …… 71
fig.105 ＢトレンチＳＢ03全景(北から)〔写真〕 …… 71
fig.106 ＢトレンチＳＢ04全景(東から)〔写真〕 …… 71
fig.107 ＢトレンチＳＢ05全景(西から)〔写真〕 …… 71
fig.108 ＢトレンチＳＢ06全景(東から)〔写真〕 …… 71
fig.109 調査地点の位置 …… 73
fig.110 調査区設定図 …… 74
fig.111 調査区全景（東から）〔写真〕 …… 74
fig.112 調査区平面図 …… 74
fig.113 Ａ区全景（北から）〔写真〕 …… 75
fig.114 Ｅ区全景（北から）〔写真〕 …… 75
fig.115 Ｆ区全景（北から）〔写真〕 …… 75
fig.116 Ｇ区全景（北から）〔写真〕 …… 75
fig.117 出土須恵器実測図 …… 76
fig.118 調査地点の位置 …… 77
fig.119 第1遺構面全景（南から）〔写真〕 …… 78
fig.120 第2遺構面全景（南から）〔写真〕 …… 78
fig.121 第3遺構面・第4遺構面平面図 …… 79
fig.122 第3遺構面全景（北から）〔写真〕 …… 80
fig.123 第4遺構面全景（北から）〔写真〕 …… 80
fig.124 第5遺構面南半全景（北から）〔写真〕 …… 80
fig.125 第5遺構面・第6遺構面平面図 …… 81
fig.126 ＳＸ303平面図 …… 82

fig.127 ＳＸ303土器出土状況（東から）〔写真〕 …… 82
fig.128 ＳＸ303完掘状況（東から）〔写真〕 … 82
fig.129 ＳＸ304全景（南から）〔写真〕 …… 83
fig.130 ＳＸ304壷出土状況（南から）〔写真〕 …… 83
fig.131 ＳＸ304猪の下顎骨出土状況（南から）〔写真〕 …… 83
fig.132 第６遺構面南半全景（北から）〔写真〕 …… 84
fig.133 出土したⅡ様式の弥生土器（楠華堂撮影）〔写真〕 …… 84
fig.134 高塚山古墳群分布図 …… 85
fig.135 １～６号墳全景(北方上空から)〔写真〕 …… 86
fig.136 ２～６号墳全景（南上空から）〔写真〕 …… 86
fig.137 ２号墳石室全景（南から）（牛嶋茂氏撮影）〔写真〕 …… 87
fig.138 ２号墳石室全景（南から）（牛嶋茂氏撮影）〔写真〕 …… 87
fig.139 ２号墳玄室左側壁の線刻画石材の位置（南西から）（牛嶋茂撮影）〔写真〕 … 88
fig.140 ２号墳左側壁の線刻画近景(西から)(牛嶋茂撮影)〔写真〕 …… 88
fig.141 ３号墳石室全景（東から）（牛嶋茂氏撮影）〔写真〕 …… 89
fig.142 ４号墳石室全景（北東から）（牛嶋茂氏撮影）〔写真〕 …… 90
fig.143 ６号墳石室全景（北東から）（牛嶋茂氏撮影）〔写真〕 …… 91
fig.144 ２・４・６号墳全景（北から）（牛嶋茂氏撮影）〔写真〕 …… 92
fig.145 調査地点の位置 …… 93
fig.146 第１遺構面平面図 …… 94
fig.147 第１遺構面全景（整地層上面）（南から）〔写真〕 …… 95
fig.148 第１遺構面全景〔空中写真〕 …… 95
fig.149 第１遺構面掘立柱建物址（北から）〔写真〕 …… 95
fig.150 第２遺構面平面図 …… 96
fig.151 第２遺構面全景（北から）〔写真〕 … 97
fig.152 ＳＢ01全景（南東から）〔写真〕 …… 97
fig.153 ＳＢ02全景（東から）〔写真〕 …… 97
fig.154 ＳＢ11全景（北から）〔写真〕 …… 98
fig.155 大型植物化石出土状況(北から)〔写真〕 …… 98
fig.156 大型植物化石出土状況 …… 99
fig.157 最終面全景（北から）〔写真〕 ……100
fig.158 調査区西壁の土層断面〔写真〕 ……100
fig.159 調査地点の位置 ……101
fig.160 第２遺構面平面図 ……103
fig.161 第２遺構面全景（北から）〔写真〕 …103
fig.162 ＳＢ202全景（北から）〔写真〕 ……104
fig.163 ＳＢ203全景（北から）〔写真〕 ……104
fig.164 ＳＫ203近景〔写真〕 ……104
fig.165 ＳＫ202全景（南から）〔写真〕 ……104
fig.166 Ｅ１Ｐ201、Ｄ１Ｐ201、Ｄ１Ｐ208（南から）〔写真〕 ……104
fig.167 ＳＸ205・206全景（西から）〔写真〕 ……104
fig.168 第３遺構面平面図 ……106
fig.169 第３遺構面全景（北から）〔写真〕 …107
fig.170 ＳＢ304全景（北から）〔写真〕 ……107
fig.171 ＳＫ301全景（西から）〔写真〕 ……107
fig.172 ＳＫ302全景（南から）〔写真〕 ……107
fig.173 出土した土器（楠華堂撮影） ……108
fig.174 調査地点の位置 ……109
fig.175 第１遺構面平面図 ……110
fig.176 第１遺構面全景（南から）〔写真〕 …111
fig.177 第２遺構面平面図 ……112
fig.178 第２遺構面全景（北から）〔写真〕 …113
fig.179 竪穴住居址１と掘立柱建物址１～３全景（北から）〔写真〕 ……114
fig.180 出土遺物実測図 ……115
fig.181 掘立柱建物址３（南から）〔写真〕 …116
fig.182 掘立柱建物址５（西から）〔写真〕 …116
fig.183 弥生時代の河道全景（南から）〔写真〕 ……116
fig.184 河道出土の弥生土器実測図 ……117
fig.185 青灰色粗砂層内土器出土状況 ……118
fig.186 調査地点の位置 ……119
fig.187 北地区第２遺構面全景(北から)〔写真〕 ……120
fig.188 ＳＫ02近景（南から）〔写真〕 ……120
fig.189 北地区第３遺構面全景(北から)〔写真〕 ……121
fig.190 南地区第１遺構面全景(北から)〔写真〕 ……121
fig.191 南地区第２遺構面全景(北から)〔写真〕 ……121

fig. 192 南地区第3遺構面（上層）全景（南から）〔写真〕 ……122
fig. 193 第3遺構面平面図 ……123
fig. 194 ＳＢ04・05・08全景（北から）〔写真〕 ……123
fig. 195 ＳＢ01全景（東から）〔写真〕 ……123
fig. 196 ＳＢ02全景（北から）〔写真〕 ……123
fig. 197 ＳＢ04全景（東から）〔写真〕 ……123
fig. 198 ＳＢ08全景（東から）〔写真〕 ……123
fig. 199 ＳＢ11全景（東から）〔写真〕 ……124
fig. 200 ＳＢ14全景（北から）〔写真〕 ……124
fig. 201 南地区第4遺構面平面図 ……125
fig. 202 南地区第4遺構面全景(北から)〔写真〕 ……125
fig. 203 ＳＢ06全景（東から）〔写真〕 ……125
fig. 204 ＳＢ09全景（南から）〔写真〕 ……125
fig. 205 調査地点の位置 ……127
fig. 206 調査区位置図 ……128
fig. 207 第1調査区第1遺構面全景〔垂直写真〕 ……128
fig. 208 第1調査区第1遺構面全景(北から)〔写真〕 ……128
fig. 209 第1調査区第1遺構面平面図 ……129
fig. 210 第1調査区第2遺構面平面図 ……130
fig. 211 第1調査区第2遺構面全景〔垂直写真〕 ……131
fig. 212 第1調査区第2遺構面全景(南から)〔写真〕 ……131
fig. 213 ＳＢ12完掘状況（東から）〔写真〕 …131
fig. 214 第2調査区全景（南から）〔写真〕 …132
fig. 215 下層の流路全景（北から）〔写真〕 …132
fig. 216 調査地点の位置 ……133
fig. 217 調査区平面図 ……134
fig. 218 第1遺構面全景（南から）〔写真〕 …135
fig. 219 第3遺構面南半全景（北から）〔写真〕 ……136
fig. 220 集石2実測図 ……136
fig. 221 集石2全景（東から）〔写真〕 ……137
fig. 222 集石8実測図 ……137
fig. 223 集石8第1面（東から）〔写真〕 ……137
fig. 224 集石8第2面（東から）〔写真〕 ……137
fig. 225 ＳＫ12実測図 ……138
fig. 226 ＳＫ12全景（東から）〔写真〕 ……138
fig. 227 縄文時代早期の土器実測図 ……139
fig. 228 縄文時代早期の土器（楠華堂撮影）〔写真〕 ……139
fig. 229 空からみた調査地点（北から）〔写真〕 ……140
fig. 230 調査地点の位置 ……141
fig. 231 Ⅵ区西半全景（北から）〔写真〕 ……142
fig. 232 Ⅵ区東半全景（北から）〔写真〕 ……142
fig. 233 Ⅵ区平面図 ……143
fig. 234 ＳＢ301全景（北から）〔写真〕 ……144
fig. 235 調査地点の位置 ……145
fig. 236 第2遺構面平面図 ……146
fig. 237 ＳＢ01実測図 ……147
fig. 238 ＳＢ01全景（東から）〔写真〕 ……147
fig. 239 ＳＢ01とＳＸ01（南から）〔写真〕 …148
fig. 240 ＳＢ01床面土器検出状況(北西から)〔写真〕 ……148
fig. 241 ＳＢ02実測図 ……148
fig. 242 ＳＢ02全景（南から）〔写真〕 ……148
fig. 243 ＳＢ03実測図 ……149
fig. 244 ＳＢ03全景（南から）〔写真〕 ……149
fig. 245 竪穴住居址出土土器実測図 ……149
fig. 246 ＳＸ01完掘状況（南から）〔写真〕 …150
fig. 247 ＳＸ01埋没状況〔写真〕 ……150
fig. 248 南半区第1遺構面全景(北から)〔写真〕 ……150
fig. 249 第1遺構面平面図 ……151
fig. 250 ＳＫ08全景（南から）〔写真〕 ……152
fig. 251 調査地点の位置 ……153
fig. 252 調査区平面図 ……154
fig. 253 調査区北半全景（西から）〔写真〕 …154
fig. 254 調査区南半全景（北から）〔写真〕 …154
fig. 255 ＳＢ01実測図 ……155
fig. 256 ＳＢ02実測図 ……155
fig. 257 ＳＢ03実測図 ……155
fig. 258 ＳＢ01とＳＢ03（西から）〔写真〕 …155
fig. 259 ＳＢ04実測図 ……156
fig. 260 ＳＢ05実測図 ……156
fig. 261 掘立柱建物址ピット内の出土遺物実測図 ……157
fig. 262 包含層の出土遺物実測図(1) ……157
fig. 263 包含層の出土遺物実測図(2) ……158
fig. 264 調査地点の位置 ……159
fig. 265 調査地点平面図 ……160
fig. 266 調査地区設定図 ……160
fig. 267 調査地区遺構平面図 ……161
fig. 268 調査地区全景（南から）〔写真〕 ……162
fig. 269 A区ＳＤ01全景（北西から）〔写真〕 ……162

fig. 270 A区ＳＢ01・ＳＫ42平面図 ……163
fig. 271 ＳＫ02全景（南から）〔写真〕 ……164
fig. 272 ＳＤ01全景（南から）〔写真〕 ……164
fig. 273 Ｃ－ｂ区土器群遺物出土状況（西から）〔写真〕 ……164
fig. 274 ＳＴ01・02平面図 ……165
fig. 275 ＳＴ01・02全景（北から）〔写真〕 …165
fig. 276 ＳＴ01炭と骨の出土状況（南から）〔写真〕 ……165
fig. 277 Ｃ区土坑群全景（空中写真） ……165
fig. 278 石器実測図 ……166
fig. 279 縄文時代早期の土器拓影 ……166
fig. 280 A区ＳＢ01出土の遺物実測図 ……167
fig. 281 弥生土器実測図 ……168
fig. 282 歴史時代の土器実測図 ……169
fig. 283 調査地点の位置 ……171
fig. 284 調査対象地区 ……171
fig. 285 縄文土器実測図 ……171
fig. 286 断割トレンチ土層断面図 ……172
fig. 287 第１遺構面平面図 ……172
fig. 288 断割トレンチ全景（東から）〔写真〕 ……173
fig. 289 第１遺構面全景（東から）〔写真〕 …173
fig. 290 ＳＢ01実測図 ……173
fig. 291 ＳＢ01（南から）〔写真〕 ……174
fig. 292 ＳＢ01土器検出状況〔写真〕 ……174
fig. 293 ＳＢ01出土土器実測図 ……174
fig. 294 調査地点の位置 ……175
fig. 295 調査区設定図 ……176
fig. 296 自然河道平面図 ……176
fig. 297 自然河道全景（西から）〔写真〕 ……177
fig. 298 自然河道内土器出土状況〔写真〕 ……177
fig. 299 調査区平面図(1) ……177
fig. 300 竪穴住居址実測図 ……178
fig. 301 竪穴住居址全景（西から）〔写真〕 …178
fig. 302 不明石製品実測図 ……178
fig. 303 調査区平面図(2) ……179
fig. 304 調査区全景（西から）〔写真〕 ……179
fig. 305 Ｄ－６・７区土器群 ……179
fig. 306 自然河道出土土器実測図 ……180
fig. 307 出土土器実測図 ……181
fig. 308 調査地点の位置 ……183
fig. 309 第１遺構面平面図 ……184
fig. 310 Ⅱ区第１遺構面全景（西から）〔写真〕 ……185
fig. 311 Ⅰ区第１遺構面全景（北から）〔写真〕 ……185
fig. 312 Ⅱ区第２遺構面全景（西から）〔写真〕 ……185
fig. 313 Ⅰ区第２遺構面全景（北から）〔写真〕 ……185
fig. 314 Ⅱ区第３遺構面全景（西から）〔写真〕 ……185
fig. 315 Ⅰ区第３遺構面全景（北から）〔写真〕 ……185
fig. 316 第２遺構面平面図 ……186
fig. 317 第３遺構面平面図 ……187
fig. 318 第４遺構面平面図 ……188
fig. 319 ＳＢ01出土土器実測図 ……189
fig. 320 Ⅱ区第４遺構面全景（西から）〔写真〕 ……189
fig. 321 Ⅰ区第４遺構面全景（北から）〔写真〕 ……189
fig. 322 ＳＢ01全景（南から）〔写真〕 ……190
fig. 323 ＳＢ01土師器出土状況 ……190
fig. 324 Ⅰ区第５遺構面全景（北から）〔写真〕 ……190
fig. 325 調査地点の位置 ……191
fig. 326 調査地遠景（東から）〔写真〕 ……192
fig. 327 第２・第３地点全景(南西から)〔写真〕 ……192
fig. 328 第２・第３地点古墳測量図 ……192
fig. 329 第２地点古墳測量図 ……193
fig. 330 第２地点古墳石室実測図 ……194
fig. 331 第２地点古墳石室全景（南東から）〔写真〕 ……195
fig. 332 第２地点古墳石室奥壁（南東から）〔写真〕 ……195
fig. 333 第２地点古墳羨道部遺物出土状況（北西から）〔写真〕 ……195
fig. 334 第２地点古墳羨道部遺物出土状況（南西から）〔写真〕 ……195
fig. 335 第２地点古墳石室入口の遺物（南東から）〔写真〕 ……196
fig. 336 第２地点古墳箱式石棺（南西から）〔写真〕 ……196
fig. 337 第２地点古墳に副葬された土器（楠華堂撮影）〔写真〕 ……196
fig. 338 第３地点古墳測量図 ……197
fig. 339 第３地点古墳石室実測図 ……198
fig. 340 第３地点古墳石室全景(南から)〔写真〕 ……199

fig. 341 第3地点古墳石室奥壁(南から)〔写真〕……199
fig. 342 第3地点古墳石室左側壁(南西から)〔写真〕……199
fig. 343 第3地点古墳玄室内遺物出土状況（南から）〔写真〕……199
fig. 344 第3地点古墳石室奥壁の線刻（南から）〔写真〕……199
fig. 345 第3地点古墳石室奥壁の線刻近景〔写真〕……199
fig. 346 第3地点古墳出土土器実測図……200
fig. 347 調査地点の位置……201
fig. 348 調査区全景（東から）〔写真〕……202
fig. 349 掘立柱建物址柱穴群（西から）……202
fig. 350 調査区平面図……203
fig. 351 ＳＢ01実測図……204
fig. 352 ＳＢ01全景（北から）〔写真〕……204
fig. 353 ＳＢ02実測図……205
fig. 354 ＳＢ03実測図……205
fig. 355 ＳＢ02全景（東から）〔写真〕……205
fig. 356 ＳＢ03全景（東から）〔写真〕……205
fig. 357 火葬墓近景（東から）〔写真〕……206
fig. 358 ＳＸ09全景（東から）〔写真〕……206
fig. 359 ＳＸ01近景（南から）〔写真〕……207
fig. 360 ＳＸ03検出状況（南から）〔写真〕……207
fig. 361 ＳＸ04・05検出近況（南から）〔写真〕……207
fig. 362 ＳＸ07検出状況（南から）〔写真〕……207
fig. 363 ＳＸ10近景（東から）〔写真〕……208
fig. 364 流路１全景（東から）〔写真〕……208
fig. 365 出土遺物実測図……209
fig. 366 調査地点の位置……211
fig. 367 遺構平面図……212
fig. 368 調査区全景〔写真〕……213
fig. 369 ＳＢ01全景（東から）〔写真〕……213
fig. 370 ＳＢ02全景（南から）〔写真〕……214
fig. 371 ＳＢ02柱穴内根石出土状況……214
fig. 372 ＳＢ02柱穴内遺物出土状況……214
fig. 373 ＳＤ01とＳＫ01・02（東から）〔写真〕……215
fig. 374 ＳＤ02全景（西から）〔写真〕……215
fig. 375 ＳＤ02遺物出土状況〔写真〕……215
fig. 376 ＳＤ02遺物出土状況〔写真〕……215
fig. 377 ＳＤ02出土遺物実測図……215
fig. 378 調査地区遠景（西から）〔写真〕……216
fig. 379 調査地点とトレンチの配置……217
fig. 380 第１トレンチ平面図……218
fig. 381 第１トレンチ全景（北から）〔写真〕……218
fig. 382 ＳＢ01全景（東から）〔写真〕……218
fig. 383 第２トレンチＡ地区水田畦畔（北西から）〔写真〕……219
fig. 384 第２トレンチＡ地区水田畦畔断面〔写真〕……219
fig. 385 第３トレンチＡ地区平面図……220
fig. 386 第３トレンチＡ地区ＳＫ01出土遺物実測図……221
fig. 387 第３トレンチＡ地区全景（南から）〔写真〕……221
fig. 388 ＳＫ01とピット（南西から）〔写真〕……221
fig. 389 ＳＫ01近景（南東から）〔写真〕……222
fig. 390 ＳＫ02・03近景（西から）〔写真〕……222
fig. 391 第４トレンチＢ地区全景(南東から)〔写真〕……223
fig. 392 第１トレンチ出土遺物実測図……224
fig. 393 調査地点の位置……225
fig. 394 ３区平面図……226
fig. 395 １区全景（東から）〔写真〕……226
fig. 396 ３区全景（北から）〔写真〕……226
fig. 397 ５区南半平面図……227
fig. 398 ５区全景（南から）〔写真〕……227
fig. 399 ５区全景（北から）〔写真〕……227
fig. 400 ５区北半平面図……228
fig. 401 ５区ＳＴ101実測図……229
fig. 402 ＳＴ101出土遺物実測図……230
fig. 403 ＳＴ101全景（南から）〔写真〕……230
fig. 404 ＳＴ101遺物出土状況（西から）〔写真〕……230
fig. 405 ＳＤ101・106・107（北西から）〔写真〕……231
fig. 406 掘立柱建物－２全景（西から）〔写真〕……231
fig. 407 ４区ＳＤ101全景（西から）〔写真〕……232
fig. 408 ＳＤ101遺物出土状況〔写真〕……232
fig. 409 ＳＤ101護岸杭近景〔写真〕……232
fig. 410 ＳＤ105全景（西から）〔写真〕……232
fig. 411 ＳＤ101出土遺物実測図……233
fig. 412 調査地点の位置……235
fig. 413 Ａトレンチ平面図……236
fig. 414 ＡトレンチＳＤ01・ＳＡ01・ＳＰ03～05実測図……236

fig. 415 Aトレンチ全景（西から）〔写真〕 …237
fig. 416 Aトレンチ中央部の遺構（北から）〔写真〕 …237
fig. 417 AトレンチＳA01－1（南から）〔写真〕 …237
fig. 418 AトレンチＳA01－2（南から）〔写真〕 …237
fig. 419 Aトレンチ出土遺物実測図 …238
fig. 420 Bトレンチ北部・Cトレンチ平面図 …238
fig. 421 Bトレンチ北端部の遺構（南から）〔写真〕 …238
fig. 422 BトレンチＳK01（東から）〔写真〕 …238
fig. 423 Bトレンチ出土遺物実測図 …239
fig. 424 BトレンチＳK02（東から）〔写真〕 …240
fig. 425 BトレンチＳK03（南東から）〔写真〕 …240
fig. 426 CトレンチＳP01出土遺物実測図 …240
fig. 427 Eトレンチ全景（東から）〔写真〕 …240
fig. 428 Eトレンチ平面図 …241
fig. 429 EトレンチＳK01実測図 …241
fig. 430 EトレンチＳK01全景（北から）〔写真〕 …241
fig. 431 Fトレンチ平面図 …241
fig. 432 Eトレンチ出土遺物実測図 …242
fig. 433 Eトレンチ磁気探査作業風景〔写真〕 …243
fig. 434 Fトレンチ全景（東から）〔写真〕 …243
fig. 435 Fトレンチ出土遺物実測図 …243
fig. 436 Gトレンチ全景（北から）〔写真〕 …244
fig. 437 Hトレンチ全景（北東から）〔写真〕 …244
fig. 438 調査地点の位置 …245
fig. 439 調査区平面図 …246
fig. 440 1トレンチ南区全景（南から）〔写真〕 …247
fig. 441 ＳB01平面図 …247
fig. 442 ＳB01全景（南から）〔写真〕 …247
fig. 443 ＳB02平面図 …248
fig. 444 ＳB02全景（北から）〔写真〕 …248
fig. 445 ＳB01・ＳB02出土遺物実測図 …249
fig. 446 ＳT01・02全景（東から）〔写真〕 …249
fig. 447 ＳT01実測図 …250
fig. 448 ＳT01出土遺物実測図 …251
fig. 449 ＳT01上層（北から）〔写真〕 …251
fig. 450 ＳT01中層（北から）〔写真〕 …251
fig. 451 ＳT01下層（北から）〔写真〕 …251
fig. 452 ＳT01完掘状況（北から）〔写真〕 …251
fig. 453 ＳT02実測図 …252
fig. 454 ＳT02近景（南から）〔写真〕 …252
fig. 455 調査区全景（北から）〔写真〕 …253
fig. 456 ＳX01近景（東から）〔写真〕 …254
fig. 457 ＳX01完掘状況（東から）〔写真〕 …254
fig. 458 1次樹脂塗布後裏打ガーゼを貼る（印路遺跡）〔写真〕 …255
fig. 459 剥し取る前に標高を記入（印路遺跡）〔写真〕 …255
fig. 460 硬化後断面から剥し取る（印路遺跡）〔写真〕 …255
fig. 461 搬出するため土層転写を巻く（印路遺跡）〔写真〕 …255
fig. 462 石室の石材に強化剤を塗布（北神第2地点古墳）〔写真〕 …256
fig. 463 発泡ウレタンに再転写終了（行原遺跡火葬土坑）〔写真〕 …256
fig. 464 大型ＰＥＧ含浸槽設置状況〔写真〕 …257
fig. 465 大型ＰＥＧ含浸準備〔写真〕 …257
fig. 466 発泡ウレタンに梱包して取り上げる〔写真〕 …258
fig. 467 洗浄およびアルコール脱水作業〔写真〕 …258
fig. 468 接合・補強作業〔写真〕 …258
fig. 469 応急処置の完了した下顎骨（楠華堂撮影）〔写真〕 …258
fig. 470 高塚山2号墳線刻画石材取り上げ〔写真〕 …259
fig. 471 高塚山2号墳線刻画石材展示状況（埋蔵文化財センター）〔写真〕 …259
fig. 472 複製鏡研磨用台の作製〔写真〕 …260
fig. 473 複製鏡研磨前と研磨途中〔写真〕 …260
fig. 474 屏風遺跡出土の呪符木簡赤外線写真 …260

表1　出合遺跡第27次調査　方形周溝墓一覧 …49
表2　第2遺構面検出建物一覧表 …102
表3　第3遺構面検出建物一覧表 …106

# Ⅰ．平成３年度　事業の概要

## １．普及啓発事業

〔神戸市埋蔵文化財センター開館〕（９月12日）

平成元年度当初より基本設計、実施設計を行い、平成元年12月より建築を着工していた神戸市埋蔵文化財センターが西区糀台６丁目（西神中央公園内）に開館した。地上３階、地下１階の鉄筋コンクリート造で、建築面積は2,801.671㎡、延床面積は7,043.670㎡である。

昭和40年代以降の埋蔵文化財に関する業務量の拡大に伴って増加した出土遺物や記録類を集中的に整理・収蔵・展示することを目的とした施設として建設された。約16haの面積を誇る公園内の施設という性格から、従来の埋蔵文化財センターとは趣を異にして、施設の大部分を公開した上で、展示スペースも大きくとり、埋蔵文化財を通して、できるだけ歴史を身近に感じられるような工夫をしている。

調査・整理の面では、市内出土の遺物の水洗、接合・復元、図化、写真撮影などの作業を行う。また、木製品・金属製品などは保存科学作業による処置も施している。

普及・啓発の面では、常設展示室（486㎡）では『よみがえる神戸の歴史展』と題して、神戸市内の各遺跡から出土した約600点の遺物を展示し、先土器時代～鎌倉時代までの神戸の歴史を通史的に見学することができる。また、１階一般収蔵庫の周囲に回廊を設け、復元の完了した土器（約3000点）の展示とともにコンテナの収蔵状況も見学できるように工夫した。さらに、特別収蔵庫にも小窓を設置し、保存科学処置の完了した木製品の展示を行い、収蔵状況とともに見学できるようにしている。

さらに、開館記念企画展「倭人伝の時代」と題して、10月10日まで企画展示室（187㎡）で展覧会を開催しました。会期中の入館者は8,418人であった。

収蔵・保管の面では、延床面積の約５割を収蔵スペースとして確保し、それぞれの特性に応じた収蔵庫を設けて資料を保管している。

なお、平成３年９月～平成４年３月末の入館者は、27,722人である。

fig. 1　神戸市埋蔵文化財センター外観

〔文化財保護強調月間の催し〕

大歳山遺跡公園（垂水区西舞子４丁目）では、11月１日から11月７日までの間、復元した竪穴住居の内部の公開とともに、古代人の生活の一部を実際に体験できるよう、火おこし、脱穀等を行った。

〔地域活動への参加〕

市内各地の公民館や学校では、さまざまな地域・文化活動が行われているが、各地域の歴史を地元の方々に知っていただくことを目的に、周辺の遺跡の出土遺物や写真パネルの展示会を開催している。今年度は以下の場所で文化財展を行った。

(1) 西区玉津南公民館「文化財展」（５月24日～６月２日）

今年度で７回目の文化財展で、平成２年度に発掘調査を実施した玉津田中遺跡（平野地区）、養田遺跡、鍋谷池２号墳の３遺跡の最新資料を展示公開した。

(2) 北区長尾町公民館　第６回長尾町埋蔵文化財展「大むかしの長尾」（11月１日～３日）

上津遺跡、龍ヶ坪遺跡出土の最新の発掘成果を中心に展示公開した。

(3) 西区市立有瀬小学校「伊川谷の遺跡展」（６月22日）

西区の市立有瀬小学校の玄関ホールで、西区伊川谷町周辺出土の弥生時代中期～平安時代後期の資料を中心に遺跡・遺物を紹介した。

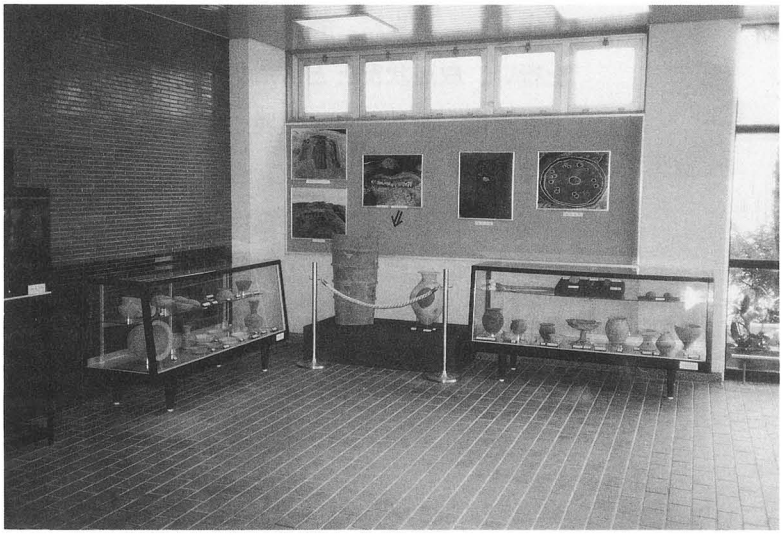


fig. 2　「伊川谷の遺跡展」

〔現地説明会の開催〕

発掘調査の状況や成果を早く市民の方々に知っていただくために、下記のとおり３回の現地説明会を開催し、多くの見学者の参加を得た。

| | 遺跡名 | | 開催年月日 |
|---|---|---|---|
| １． | 高塚山古墳群 | 第１次調査 | 平成３年５月26日 |
| ２． | 高塚山古墳群 | 第２次調査 | 平成４年３月８日 |
| ３． | 北神第２地点古墳・第３地点古墳 | | 平成４年３月22日 |

〔刊行物〕

平成３年度の埋蔵文化財関係の刊行物は以下の３点である。

１．雲井遺跡　第１次発掘調査報告書　　頒価1,500円

２．平成元年度　神戸市埋蔵文化財年報　　頒価2,700円

３．神戸市埋蔵文化財分布図（平成３年度版）　頒価1,500円

## ２．文化財調査事業

当市における埋蔵文化財の発掘調査件数は年々増加の傾向にあり、今年度は85件となり、前年度比で13件（前年度比18％）増加している。また、緊急発掘調査に要した経費は、８億２千９百万円で、前年度に比べて約８千万円の増加が認められる。発掘調査面積は64,559㎡で、前年度に比べて約9,600㎡の増加である。

なお、民間調査団の調査件数は19件で、前年度比37％減と件数では著しく減少している。しかしながら、発掘調査に要した経費は、９億２百万円で、調査面積は41,250㎡と前年度並の事業が実施されている。

また、開発計画の際に提出される遺跡分布調査依頼件数は267件（開発行為の事前審査、ゴルフ場開発、土地利用目的審査を含む）と前年度より30件減である。また、これらに基づく試掘調査の件数は179件（前年度比１件減）と横ばい状況にあり、国内経済の低迷を反映した結果と言える。

これらを地域別に見ると、昨年度と同様に開発が依然続いている西区での試掘調査が最も多く、旧市街地での件数が全体の半数以上を占めている。

一方、緊急発掘調査の件数でみると、西区と北区が約３割を占める。また、面積では北区が約４割を占め、西区が約３割を占め、北区での調査面積の大きさが継続しており、１件あたりの面積でも北区、垂水区、灘区が1,000㎡を越えている。

発掘調査原因の事業別件数は、民間事業26件、公共事業59件で、公共事業が全体の約７割の高率を占めている。公共事業のうち、土地改良事業・道路建設事業などが原因の多くを占めている。また、民間事業の場合は、９件が市街地における共同住宅建設工事となっており、その主たる調査原因となっている。

平成３年度埋蔵文化財試掘調査および緊急発掘調査状況

| 分布 | 調査件数 | 試掘調査件数 | 緊急発掘調査件数 | 緊急発掘調査面積 |
|---|---|---|---|---|
| 東灘区 | 1 | 26 | 8 | 2,940㎡ |
| 灘　区 | 5 | 11 | 4 | 4,430㎡ |
| 中央区 | 1 | 20 | 6 | 2,853㎡ |
| 兵庫区 | 2 | 18 | 3 | 710㎡ |
| 長田区 | 0 | 11 | 4 | 2,060㎡ |
| 須磨区 | 2 | 3 | 2 | 925㎡ |
| 垂水区 | 3 | 8 | 7 | 7,655㎡ |
| 西　区 | 10 | 61 | 26 | 18,878㎡ |
| 北　区 | 12 | 21 | 25 | 26,109㎡ |
| 合　計 | 36 | 179 | 85 | 66,560㎡ |

また、保存科学の面では、遺物の保存科学処理および遺構の切り取り保存・はぎ取り保存の作業をさらに押し進めた。遺物については、金属製品・木製品の継続的な保存科学の作業を実施している（Ⅲ章）。

## 3．市内の遺跡発掘調査の概要

神戸市内では、上述のとおり年々発掘調査件数が増加し、それに伴って各時代の遺構・遺物に新しい資料が増加している。

先土器時代

灘区**滝ノ奥遺跡**では、ナイフ形石器が発見され、六甲山南麓での先土器時代の資料が新たに加わることとなった。

縄文時代

中央区**雲井遺跡**では、縄文時代早期の集石土坑、土坑などが発見された。

また、**滝ノ奥遺跡**では縄文時代早期の押型文・撚糸文の土器片とともに有茎尖頭器が1点出土している。同一丘陵上での縄文土器と合計3点の有茎尖頭器の出土は、一定期間の生活の場を想定できる。

垂水区**垂水・日向遺跡**では、これまでの調査成果を裏付けるように、洪水で流されてきた大型植物化石と縄文時代中期～後期の土器が発見された。

北区**上津遺跡**では、縄文時代中期末の土坑が発見され、縄文土器片と石鏃が出土している。石器の製作址と推定される龍ヶ坪遺跡とも近接し、一連の遺跡であった可能性が指摘できる。

弥生時代

西区**玉津田中遺跡**（平野地区）では、弥生時代～中世の水田址が確認された。大規模な圃場整備に伴うトレンチ調査で、資料の制約はあるものの、居住域・水田域の立地の変遷が時代を追って理解できるようになりつつある。

また、西区**印路遺跡**でも弥生時代以降の水田面が3面確認されている。

西区**二ツ屋東遺跡**では、弥生時代前期の土坑が発見され、集落の開始期が前期まで遡ることが明らかとなった。

西区**新方遺跡**では、弥生時代中期と考えられる玉製品が多数発見され、玉造りの集落の存在を追認している。

西区**出合遺跡**では、中期中頃の方形周溝墓が6基発見された。主体部に木棺が良好に残ったものもあった。

**滝ノ奥遺跡**では、弥生時代中期後半の直径8ｍの大型の円形竪穴住居址が確認されている。

古墳時代

中央区**日暮遺跡**では、弥生時代末～古墳時代前期の竪穴住居址が3棟発見された。出土した弥生時代末の土器には、山陽地方の特色をもつ土器が含まれており、当時の人々の交流を物語る資料と言える。また、**垂水・日向遺跡**でも、弥生時代末～古墳時代前期の竪穴住居址が2棟発見され、遺跡の拡がりが確認されつつある。

灘区**篠原南町遺跡**では、先年度神戸女子大学遺跡調査会が発掘調査を実施した調査地と重複して調査を実施した結果、古墳時代前期の竪穴住居址が発見さた。

長田区**神楽遺跡**では、古墳時代後期の竪穴住居址と掘立柱建物址が発見され、集落が移動しながら、古墳時代中期から後期にかけて営まれたことが判った。

また、東灘区**郡家遺跡**御影中町地区でも、後期中頃の竪穴住居址が発見された。

垂水区**高塚山古墳**群の第１次調査では、５基の後期古墳を調査したが、２号墳の横穴式石室の側壁に馬の線刻画が発見された。全国的にも例の少ないもので、当古墳群の被葬者を考えていく上で、興味深い。

北区北神ニュータウン内の調査では、**第３地点古墳**が横穴式石室をもつ６世紀中頃の前方後円墳、**第２地点古墳**が横穴式石室をもつ６世紀後半の円墳であることが判った。第３地点古墳では、石室の奥壁に「○」の線刻が刻まれていた点も注目される。両古墳は、当時、この地域に勢力を持っていた首長墓と考えられ、当時の地域社会を解明する上での貴重な資料である。

**歴史時代**

須磨区**大田町遺跡**では、整然と配置された奈良時代～平安時代の掘立柱建物址が発見され、遺跡の位置と遺構の配置などから「須磨駅家」の一部と推定される。

北区**龍ケ坪遺跡**では、９～10世紀の掘立柱建物址が発見されている。

**上津遺跡**は、土地改良事業に伴う調査で、平安時代中葉から鎌倉時代初頭にかけての遺構・遺物が確認された。特に、屋敷墓と考えられる13世紀前半の木棺墓から白磁碗・須恵器椀と土師器小皿が出土している。

北区**行原遺跡**では、13～14世紀の掘立柱建物址とともに、12世紀末～13世紀の火葬土坑が発見された。中世段階での村落形成を裏付ける資料と言えよう。

北区**宅原遺跡**宮ノ元地区では、奈良時代に遡る可能性のある遺跡内で最大の規模を誇る掘立柱建物址が発見されている。

灘区**八幡遺跡**では、鎌倉時代前半の掘立柱建物址群が発見されている。

北区**淡河・中村遺跡**では、12世紀後半～13世紀前半の遺構が確認され、中国・朝鮮産の磁器や国産陶器が多数出土しており、遺跡の性格が注目される。

# 平成３年度　埋蔵文化財発掘調査一覧表　(1)

| No. | 遺跡名 | 所在地 | 調査主体 | 調査担当者 | 調査面積 | 調査期間 | 調査内容等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 神出・東遺跡 | 西区神出町東 | 神戸市教育委員会 | 菅本宏明 | 220㎡ | 3,10, 1,～3,10,25, | 11～12世紀の掘立柱建物、溝、土坑 |
| 2 | 神出・東遺跡 | 西区神出町東 | 神戸市教育委員会 | 東喜代秀 | 170㎡ | 4, 3, 6,～4, 3,17, | 平安時代後半の溝 |
| 3 | 神出・吉生地区 | 西区神出町吉生 | 神戸市教育委員会 | 山口英正 | 64㎡ | 3, 4, 8, | 試掘調査、文化財なし |
| 4 | 西神ニュータウン内第36号地点遺跡 | 西区平野町堅田字白師谷 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 前田佳久 | 130㎡ | 3, 7, 30,<br>～3, 8, 7, | 平安時代末～鎌倉時代の土坑 |
| 5 | 西神ニュータウン内第65号地点遺跡－Ｄ | 西区樫野台１丁目 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 安田滋 | 5,000㎡ | 3, 11, 22,<br>～次年度に継続 | 弥生時代中期の住居、土坑 |
| 6 | 木津遺跡 | 西区押部谷町木津 | 神戸市教育委員会 | 佐伯二郎<br>内藤俊哉 | 88㎡ | 3, 11, 1,<br>～3, 11, 7, | 試掘調査<br>文化財なし |
| 7 | 和田遺跡 | 西区押部谷町和田 | 神戸市教育委員会 | 山口英正<br>東喜代秀 | 450㎡ | 3, 4, 2,～3, 4, 7,<br>3, 5, 7,～3, 5,20, | 試掘調査、中世の遺物包含層<br>中世の土坑、ピット |
| 8 | 堅田遺跡 | 西区平野町堅田 | 神戸市教育委員会 | 佐伯二郎 | 350㎡ | 3, 5,21,～3, 6,19, | 遺構なし、古墳～中世の遺物 |
| 9 | 印路遺跡 | 西区平野町中津 | 神戸市教育委員会 | 黒田恭正<br>佐伯二郎 | 190㎡ | 3, 4, 1,～3, 5, 2,<br>3, 9,12,～3,10,21, | 弥生時代、古墳時代以降、中世以降の水田 |
| 10 | 玉津田中遺跡（平野地区）　第５次 | 西区平野町福中、芝崎ほか | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 山口、池田<br>浅谷 | 2,600㎡ | 3, 4, 9,<br>～3, 10,30, | 弥生中期前半の土坑、弥生～中世の水田、後期～古墳前期の流路 |
| 11 | 居住遺跡 | 西区玉津町居住 | 神戸市教育委員会 | 東喜代秀 | 10㎡ | 3, 9, 10, | 中世・近世の水田 |
| 12 | 出合遺跡　第27次 | 西区玉津町中津 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 丹治・谷<br>富山 | 2,050㎡ | 前年度より継続<br>～3, 8, 2, | 中世の水田<br>弥生時代中期の方形周溝墓 |
| 13 | 出合遺跡　第28次 | 西区玉津町出合字中ノ田 | 神戸市教育委員会 | 佐伯二郎 | 127㎡ | 3, 10, 9,<br>～3, 10, 31, | 古墳時代の溝、土坑 |
| 14 | 二ツ屋遺跡 | 西区玉津町二ツ屋 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 前田佳久 | 4,000㎡ | 3, 1, 6,<br>～次年度に継続 | 平安時代の集落址<br>弥生～平安時代の遺物包含層 |
| 15 | 二ツ屋東遺跡 | 西区玉津町二ツ屋 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 丸山潔<br>井尻格 | 848㎡ | 3, 12, 6,<br>～4, 2, 7, | 弥生時代前期の土坑、後期の溝、平安時代中期の溝 |
| 16 | 櫨谷中学校内遺跡 | 西区櫨谷町池谷字苗代ノ内 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 斎木巌 | 150㎡ | 4, 1, 13,<br>～4, 1, 23, | 13～14世紀の遺物包含層 |
| 17 | 栃木遺跡　第７次 | 西区櫨谷町谷口 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 安田、内藤<br>藤井 | 570㎡ | 3, 5, 8,～3, 7,19,<br>3,11,11,～3,11,19, | 弥生時代中期の土坑、溝、ピット |
| 18 | 栃木遺跡 | 西区櫨谷町栃木 | 神戸市教育委員会 | 山口英正 | 16㎡ | 3, 7, 20, | 試掘調査、弥生、中世の遺構面 |
| 19 | 松本遺跡 | 西区櫨谷町松本 | 神戸市教育委員会 | 川上厚志 | 108㎡ | 4, 2, 4,～4, 2, 6, | 試掘調査、江戸時代の土坑 |
| 20 | 松本遺跡 | 西区櫨谷町松本 | 神戸市教育委員会 | 川上厚志 | 40㎡ | 4, 2, 7, | 試掘調査、文化財なし |
| 21 | 青谷遺跡 | 西区玉津町水谷字セリ合ほか | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 西岡巧次<br>西岡誠司 | 76㎡ | 3, 8, 22,<br>～3, 8, 29, | 試掘調査<br>文化財なし |
| 22 | 水谷遺跡 | 西区玉津町水谷 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 西岡、西岡<br>佐伯、井尻 | 1,264㎡<br>64㎡ | 3, 6,25,～3, 8,21,<br>3,11,11,～3,11,13, | 平安～鎌倉時代の掘立柱建物群<br>試掘調査、弥生土器 |
| 23 | 高津橋・岡遺跡第３次 | 西区玉津町高津橋字岡 | 神戸市教育委員会 | 阿部敬生 | 47㎡ | 3, 2, 3,<br>～3, 2, 20, | ７～８世紀の遺構 |
| 24 | 白水遺跡 | 西区伊川谷町潤和 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 山本雅和 | 100㎡ | 3, 11, 11,<br>～3, 11, 12, | 試掘調査<br>奈良後期～平安前期の遺物包含層 |
| 25 | 潤和遺跡 | 西区伊川谷町潤和字平田 | 神戸市教育委員会 | 口野博史 | 80㎡ | 3, 4, 2,<br>～3, 4, 10, | 弥生時代の遺物包含層、古墳時代の土坑、中世の溝、ピット |
| 26 | 新方遺跡大日地点第２次 | 西区伊川谷町潤和 | 神戸市教育委員会 | 東喜代秀 | 130㎡ | 3, 10, 12,<br>～3, 12, 28, | 弥生時代中期の溝、古墳時代後期の掘立柱建物 |
| 27 | 狩口台きつね塚古墳 | 垂水区狩口台７丁目 | 神戸市教育委員会 | 山本雅和 | 125㎡ | 4, 2, 29,<br>～次年度に継続 | 古墳時代後期後葉の両袖式横穴式石室、家形石棺、金銅装の馬具 |
| 28 | 高塚山古墳群第１次 | 垂水区多聞町字小東山 | 神戸市教育委員会 | 橋詰、藤井<br>川上ほか | 3,000㎡ | 前年度より継続<br>～3, 9, 4, | 2～6号墳の調査（６世紀後半～末）、馬の線刻壁画（２号墳） |
| | 第２次 | | | 丹治康明<br>橋詰清孝 | 2,500㎡ | 3, 12, 3,<br>～次年度に継続 | 古墳４基の調査（横穴式石室）<br>Ｔ字形複室墳、火葬墳を含む |
| 29 | 垂水日向遺跡第５次 | 垂水区日向１丁目 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 斎木巌<br>内藤俊哉 | 240㎡ | 3, 4, 1,<br>～3, 6, 27, | 縄文後期の流路、飛鳥時代の竪穴住居、平安～鎌倉時代の掘立柱建物群 |
| 30 | 垂水日向遺跡第６次 | 垂水区日向１丁目 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 斎木巌 | 40㎡ | 3, 5, 7,<br>～3, 5, 18, | 文化財なし |
| 31 | 垂水日向遺跡第７次 | 垂水区日向１丁目 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 丸山、安田<br>井尻、藤井 | 1,100㎡ | 4, 2, 12,<br>～次年度に継続 | 平安時代後期～末の掘立柱建物群、井戸 |
| 32 | 垂水日向遺跡天ノ下地区　第２次 | 垂水区天ノ下町 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 前田佳久 | 650㎡ | 3, 7, 10,<br>～3, 7, 30, | 時期不明の溝 |

# 平成３年度　埋蔵文化財発掘調査一覧表　(2)

| No. | 遺跡名 | 所在地 | 調査主体 | 調査担当者 | 調査面積 | 調査期間 | 調査内容等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 33 | 衣掛遺跡 | 須磨区衣掛町４丁目 | 神戸市教育委員会 | 東喜代秀 | 500㎡ | 3，6，17，～3，7，25， | 中世の耕作痕<br>近世の溝 |
| 34 | 大田町遺跡 | 須磨区大田町６丁目 | 神戸市教育委員会 | 口野博史<br>川上厚志 | 425㎡ | 3，5，20，～3，9，12， | 古墳時代後期の土坑、奈良～平安時代の掘立柱建物 |
| 35 | 神楽遺跡　第７次 | 長田区神楽町１丁目 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 前田佳久<br>川上厚志 | 1,040㎡ | 3，9，3，～3，12，12， | 弥生時代後期の流路<br>古墳～平安時代の集落 |
| 36 | 神楽遺跡　第８次 | 長田区川西通３丁目 | 神戸市教育委員会 | 川上厚志 | 64㎡ | 4，3，2，～4，3，13， | 13世紀の井戸、溝、ピット |
| 37 | 長田神社境内遺跡<br>第５次 | 長田区大塚町３丁目 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 西岡巧次<br>西岡誠司 | 506㎡ | 3，8，30，～4，1，17， | 弥生後期～古墳初頭・古墳前期の竪穴住居、古墳中期の掘立柱建物、 |
| 38 | 五番町遺跡 | 長田区六番町５丁目 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 内藤俊哉 | 450㎡ | 3，12，3，～3，3，31， | 縄文時代の流路、奈良時代の掘立柱建物、中世の掘立柱建物 |
| 39 | 兵庫津遺跡 | 兵庫区西宮内町 | 神戸市教育委員会 | 東喜代秀 | 20㎡ | 3,10，7,～3,10，8， | 遺構なし、中世の遺物 |
| 40 | 兵庫津遺跡<br>（阿弥陀寺） | 兵庫区中之島２丁目 | 神戸市教育委員会 | 東喜代秀 | 40㎡ | 4，3，19，～4，3，30， | 近世の遺構・遺物 |
| 41 | 大開遺跡　第２次 | 兵庫区大開通９丁目 | 神戸市教育委員会 | 黒田恭正 | 650㎡ | 3，11，8，～3，12，27， | 中世の耕作面 |
| 42 | 東川崎町遺跡 | 中央区東川崎町 | 神戸市教育委員会 | 黒田恭正 | 70㎡ | 3,10,22，～3，11，5， | 近世の耕作面 |
| 43 | 旧三宮駅構内遺跡<br>第２次　Ⅴ・Ⅵ区 | 中央区北長狭通４丁目 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 菅本宏明<br>富山直人 | 1,000㎡ | 3，7，1,～3，7,11，3，8,15,～3,10，7， | 弥生～近世の土坑、溝、ピット<br>奈良時代の掘立柱建物 |
| | 第２次　Ⅶ区 | | | 山口英正 | 1,050㎡ | 3，2，4，～次年度に継続 | 弥生～近世の土坑、溝、ピット<br>奈良時代の掘立柱建物 |
| 44 | 下山手遺跡 | 中央区下山手通８丁目 | 神戸市教育委員会 | 池田毅 | 63㎡ | 3，4，2，～3，4，9， | 中世の土坑、溝、ピット |
| 45 | 雲井遺跡　第３次 | 中央区旭通５丁目 | 神戸市教育委員会 | 丹治康明 | 80㎡ | 3，4，1～3，4，9， | 縄文時代早期の土器 |
| 46 | 雲井遺跡　第４次 | 中央区旭通５丁目 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 安田滋<br>藤井太郎 | 240㎡ | 3，7，22～3，11,27， | 縄文時代早期の土坑、集石土坑<br>弥生時代前期の土坑、溝 |
| 47 | 日暮遺跡　第４次 | 中央区東雲通１丁目 | 神戸市教育委員会 | 山本雅和 | 350㎡ | 3，11，20，～4，1，27， | 弥生時代末～古墳時代中期の竪穴住居、土坑、平安時代のピット |
| 48 | 八幡遺跡 | 灘区八幡町２丁目 | 神戸市教育委員会 | 東喜代秀 | 300㎡ | 3，7，31，～3，9，5， | 中世の掘立柱建物 |
| 49 | 赤松町遺跡　第２次 | 灘区赤松町 | 神戸市教育委員会 | 須藤宏 | 570㎡ | 3，7,11,～3，8,12， | 古墳前期の土坑、弥生～中世の土器 |
| 50 | 滝ノ奥遺跡 | 灘区高羽字滝ノ奥 | 神戸市教育委員会 | 黒田恭正<br>阿部敬生 | 3,000㎡ | 前年度より継続～3，9，13， | 旧石器、押型文土器、撚糸文土器、弥生時代中期後半の竪穴住居 |
| 51 | 篠原南町遺跡 | 灘区篠原南町６丁目 | 神戸市教育委員会 | 山本雅和 | 560㎡ | 4，1，27，～4，2，27， | 古墳時代前期の竪穴住居<br>縄文時代晩期以降の流路 |
| 52 | 郡家遺跡<br>篠ノ坪地区　第２次 | 東灘区御影町御影字篠ノ坪 | 神戸市教育委員会 | 谷、東、阿部 | 320㎡ | 3，4，2，～3，6，7， | 弥生時代後期の流路、古墳時代初頭の竪穴住居、前期のピット、溝 |
| 53 | 郡家遺跡<br>篠ノ坪地区　第３次 | 東灘区御影町御影字篠ノ坪 | 神戸市教育委員会 | 谷正俊<br>前田佳久 | 84㎡ | 3，4，27，～3，5，2， | 弥生時代後期の流路<br>鎌倉時代の土坑 |
| 54 | 郡家遺跡<br>篠ノ坪地区　第４次 | 東灘区御影町御影字篠ノ坪 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 富山直人 | 60㎡ | 3，11，5～3，11,15， | 弥生時代後期の溝 |
| 55 | 郡家遺跡<br>篠ノ坪地区　第５次 | 東灘区御影町御影字篠ノ坪 | 神戸市教育委員会 | 西岡誠司 | 210㎡ | 3，2，4，～次年度に継続 | 弥生時代後期の土坑、古墳時代中期の竪穴住居、後期の流路 |
| 56 | 郡家遺跡<br>篠ノ坪地区　第６次 | 東灘区御影町御影字篠ノ坪 | 神戸市教育委員会 | 西岡巧次 | 120㎡ | 4，2，4，～次年度に継続 | 弥生時代後期の流路、古墳時代中期～後期の竪穴住居、中世のピット |
| 57 | 郡家遺跡<br>御影中町地区第５次 | 東灘区御影町御影中町２丁目 | 神戸市教育委員会 | 佐伯二郎<br>川上厚志 | 256㎡ | 3，6，28，～3，9，27， | 古墳時代後期の竪穴住居、流路、土坑、奈良～平安時代の土坑、溝 |
| 58 | 本山遺跡　第13次 | 東灘区本山中町４丁目 | 神戸市教育委員会 | 佐伯二郎 | 190㎡ | 3，11，19，～3，12，14， | 中世の溝、土坑、ピット<br>近世のピット |
| 59 | 青木遺跡 | 東灘区青木４丁目 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 丸山潔<br>井尻格 | 1,700㎡ | 3，11，12，～3，11，28， | 中世の土坑<br>近世の水田 |
| 60 | 北神ニュータウン内<br>第４地点遺跡 | 北区長尾町宅原字上瀧ケ谷 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 斎木巌 | 1,030㎡ | 3，12，2，～次年度に継続 | 弥生時代中期の土坑 |
| 61 | 北神ニュータウン内<br>第２・３地点古墳 | 北区道場町日下部 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 菅本、安田<br>藤井 | 250㎡ | 3，4，1,～3，5，2，4，1,14,～4，3,23， | 古墳時代後期前方後円墳と円墳、横穴式石室、「○」印線刻 |
| 62 | 日下部北遺跡 | 北区道場町日下部字蟹床 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 富山直人<br>斎木巌 | 380㎡ | 3，4，2,～3，4,26，3，8，6,～3，8，9， | 12世紀のピット（柵列）、土坑、溝 |

# 平成３年度　埋蔵文化財発掘調査一覧表　(3)

| No. | 遺跡名 | 所在地 | 調査主体 | 調査担当者 | 調査面積 | 調査期間 | 調査内容等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 63 | 松原城址 | 北区道場町日下部 | 神戸市教育委員会 | 川上厚志 | 106㎡ | 4，2，10，～4，2，29， | 試掘調査、土塁、15～16世紀の遺物 |
| 64 | 西宮北ゴルフ場内遺跡群 | 北区道場町塩田平田、生野 | 神戸市教育委員会 | 阿部敬生 | 1,000㎡ | 3，12，2，～3，12，17， | 試掘調査<br>弥生？中世の墓、落ち込み、溝 |
| 65 | 宅原遺跡宮ノ元地区 | 北区長尾町宅原 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 西岡巧次<br>井尻格 | 1,270㎡ | 3，4，2，～3，6，24， | 13～14世紀の掘立柱建物、火葬墓 |
| 66 | 宅原遺跡 | 北区長尾町宅原字定塚 | 神戸市教育委員会 | 阿部敬生 | 365㎡ | 3，6，19，～3，7，31， | 奈良～中世の溝、土坑、ピット<br>近代の井戸 |
| 67 | 宅原遺跡<br>（北神第２地区） | 北区長尾町上津字上垣内 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 斎木巌 | 430㎡<br>250㎡ | 3，11，5，～3，11，28， | 土坑<br>試掘調査　文化財なし |
| 68 | 宅原遺跡内垣地区 | 北区長尾町宅原 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 前田佳久<br>浅谷誠吾 | | | 遺物整理作業 |
| 69 | 天皇山古墳群 | 北区長尾町宅原字炭焼 | 神戸市教育委員会 | 口野博史<br>須藤宏 | 330㎡ | 4，15，～25，5，15～17，8，21，～9，12， | 試掘調査、弥生時代後期・中世の土器、近世の埋め墓 |
| 70 | | 北区長尾町上津八多町中 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 内藤俊哉 | 135㎡ | 3，11，20，～3，11，30， | 試掘調査、文化財なし |
| 71 | 上津遺跡 | 北区長尾町上津 | 神戸市教育委員会 | 菅本宏明<br>浅谷誠吾 | 810㎡ | 3，11，5，～4，1，16， | 12世紀の掘立柱建物、ピット、溝<br>中世の木棺墓、溝、柵 |
| 72 | 上上津遺跡 | 北区長尾町上津 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 内藤俊哉 | 500㎡ | 3，6，20，～3，7，30， | 中世の遺物包含層 |
| 73 | 龍ケ坪遺跡　第２次 | 北区長尾町上津字龍ケ坪 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 前田佳久 | 815㎡ | 3，6，4，～3，7，9，<br>3，8，9，～3，8，29， | 鎌倉時代の掘立柱建物<br>平安時代前半の掘立柱建物 |
| 74 | 上津遺跡 | 北区長尾町上津 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 丹治康明<br>斎木巌 | 5㎡<br>175㎡ | 3，11，14，～3，11，15，<br>3，10，21，～3，11，1， | 試掘調査　文化財なし<br>試掘調査　奈良時代の土坑墓 |
| 75 | 上津遺跡 | 北区長尾町上津字美谷垣内 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 丹治、斎木<br>川上 | 4,640㎡ | 3，7，1，～3，11，20， | 縄文時代中期末の土坑、13世紀の掘立柱建物、土坑、溝、中世水田 |
| 76 | 屏風遺跡　第１次 | 北区八多町屏風 | 神戸市教育委員会 | 須藤・阿部 | 308㎡ | 3，4，2，～3，4，12， | 試掘調査、中・近世遺物包含層 |
| | 第２次 | | | 須藤宏 | 140㎡ | 3，5，27，～3，7，10， | 江戸時代以降の土坑、溝 |
| | 第３次 | | | 池田毅 | 360㎡ | 3，10，24，～3，11，13， | 試掘調査、中世・近世の遺構 |
| | 第４次 | | | 川上厚志 | 455㎡ | 4，3，23，～4，3，31， | 江戸時代以降の溝 |
| 77 | 西畑深谷遺跡 | 北区八多町西畑 | 神戸市教育委員会 | 西岡巧、須藤、東 | 368㎡ | 3，4，22，～3，4，30，<br>4，1，13，～4，1，22， | 試掘調査<br>中世のピット、遺物包含層 |
| 79 | 奥蔵寺廃寺遺跡 | 北区八多町附物字手運谷 | 神戸市教育委員会 | 西岡誠司 | 210㎡ | 4，1，20，～4，1，31， | 試掘調査<br>文化財なし |
| 80 | 淡河地区 | 北区淡河町中山萩原、淡河本町 | 神戸市教育委員会 | 池田毅 | 1,080㎡ | 3，4，15，～3，5，18，<br>3，11，14，～3，12，26， | 弥生時代後期の土器、古墳時代の遺物包含層、中世の遺構・遺物包含層 |
| 81 | 淡河・中村遺跡 | 北区淡河町小池 | 神戸市教育委員会 | 丹治康明<br>阿部敬生 | 2,590㎡ | 3，8，1，～3，10，11， | 中世の柵列、溝、ピット、土坑 |
| 82 | 萩原遺跡 | 北区淡河町萩原 | 神戸市教育委員会 | 佐伯二郎 | 212㎡ | 3，5，7，～3，5，15， | 試掘調査<br>中世の遺構・遺物包含層 |
| 83 | 行原遺跡　第２次 | 北区淡河町行原 | 神戸市教育委員会 | 須藤、池田<br>藤井 | 200㎡ | 3，4，15，～3，5，23， | 13～14世紀の掘立柱建物、溝、ピット、火葬土坑 |
| | 第４次 | | | 内藤俊哉 | 150㎡ | 3，8，1，～3，8，21， | 火葬土坑 |
| 84 | 神田遺跡 | 北区淡河町神田 | 神戸市教育委員会 | 東喜代秀 | 160㎡ | 3，4，8，～3，4，19， | 中世の溝、土坑、ピット |
| | | | | 浅谷誠吾 | 310㎡ | 3，4，2，～3，4，19， | 試掘調査、中世の遺物包含層 |
| 85 | 淡河中山遺跡 | 北区淡河町中山 | 神戸市教育委員会 | 池田毅 | 110㎡ | 4，3，24，～4，3，30， | 試掘調査、中世の遺構・遺物包含層 |
| 86 | 六甲国際ゴルフ場内遺跡 | 北区山田町字衝原 | 神戸市教育委員会 | 橋詰清孝 | 4,500㎡ | 3，9，5，～3，12，11， | 縄文時代の石器、弥生土器、中世の土器、時期不明の焼土坑 |
| 87 | 印路遺跡 | 西区平野町印路 | 兵庫県教育委員会 | 久保弘幸<br>鐵英記 | 355㎡ | 3，6，10，～3，7，12， | ６世紀初めの古墳（Ｂ－１号墳） |
| 88 | 玉津田中遺跡 | 西区玉津町田中 | 兵庫県教育委員会 | 中川渉<br>廣野誠<br>多賀茂治<br>鈴木敬二<br>深江英憲 | 6,217㎡ | 3，5，13，～3，10，18， | 弥生時代中期～中世の水田、<br>弥生時代後期～古墳時代前期の竪穴住居、環濠 |
| 89 | 吉田南遺跡 | 西区森友３丁目 | 兵庫県教育委員会 | 種定淳介<br>西口圭介<br>長濱誠司 | 4,639㎡ | 3，4，25，～4，3，25， | 弥生後期、古墳～奈良時代の水田、９世紀の柱穴<br>14世紀代の方形館址の一部 |
| 90 | 長坂遺跡 | 西区伊川谷町長坂 | 兵庫県教育委員会 | 吉田昇<br>岸本一宏 | 169㎡ | 3，8，5，～3，8，7， | 確認調査、平安時代後期～鎌倉時代の柱穴 |

# 平成３年度　埋蔵文化財発掘調査一覧表　(4)

| No. | 遺跡名 | 所在地 | 調査主体 | 調査担当者 | 調査面積 | 調査期間 | 調査内容等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 91 | 大田町遺跡 | 須磨区大田町７丁目 | 兵庫県教育委員会 | 森内秀造<br>山上雅弘 | 423㎡ | 3，7，23，<br>～3，9，24， | 奈良～平安時代の掘立柱建物、井戸 |
| 92 | 神戸大学附属病院内遺跡 | 中央区楠町７丁目 | 兵庫県教育委員会 | 山上雅弘 | 9㎡ | 3，7，11， | 確認調査<br>遺構・遺物なし |
| 93 | 北青木遺跡 | 東灘区深江本町４丁目 | 兵庫県教育委員会 | 中川渉<br>鈴木敬二 | 12㎡ | 3，11，28， | 確認調査<br>遺構・遺物なし |
| 94 | 押取池 | 北区淡河町野瀬 | 兵庫県教育委員会 | 森内秀造<br>山上雅弘 | 36㎡ | 4，1，22，<br>～4，1，27， | 確認調査<br>遺構・遺物なし |
| 95 | 奥遺跡 | 北区淡河町淡河 | 兵庫県教育委員会 | 井守徳男<br>高瀬一嘉<br>三原慎吾 | 2,825㎡ | 3，12，12，<br>～4，2，28， | 溝、土坑<br>奈良～鎌倉時代の遺物 |
| 96 | 淡河・上中遺跡 | 北区淡河町行原 | 兵庫県教育委員会 | 村上泰樹<br>西原雄大 | 1,747㎡ | 3，6，4，<br>～3，9，10， | 鎌倉時代前半の池、溝、土坑、柱穴 |
| 97 | 龍ケ坪Ⅱ遺跡 | 北区長尾町上津 | 兵庫県教育委員会 | 水口富夫<br>山本誠 | 222㎡ | 3，9，7，<br>～3，9，12， | 奈良～平安時代の掘立柱建物、溝 |
| 98 | 西神ニュータウン内第65号地点遺跡－Ｆ | 西区樫野台１丁目 | 神戸女子大学遺跡調査会 | 藤井利章 | 5,000㎡ | 3，10，1，<br>～次年度に継続 | 弥生時代中期の竪穴住居、銅鐸鋳型未製品、現地説明会（３／29） |
| 99 | 栄・木幡遺跡 | 西区押部谷町栄 | 妙見山麓遺跡調査会 | 神崎恵子 | 5,000㎡ | 3，4，26，<br>～4，3，5， | 弥生後期の環濠、竪穴住居、中世の掘立柱建物、土坑 |
| 100 | 玉津田中遺跡<br>平野地区 | 西区平野町中津下村 | 玉津田中遺跡調査団 | 阿部嗣治 | 1,510㎡ | 3，5，1，<br>～3，7，20， | 弥生中期の竪穴住居、溝、土坑、古墳～古代の溝、土坑、ピット |
| 101 | 栃木遺跡 | 西区櫨谷町栃木 | 神戸女子大学栃木遺跡調査会 | 藤井利章 | 520㎡ | 3，6，25，<br>～3，7，25， | 弥生時代後期の溝、土坑 |
| 102 | 舞子浜遺跡 | 垂水区東舞子町 | 高山正久 | 高山正久 | 600㎡ | 3，3，30，<br>～次年度に継続 | ピット<br>縄文土器、埴輪、中世の土器 |
| 103 | 垂水・日向遺跡<br>天ノ下地区 | 垂水区天ノ下町 | 妙見山麓遺跡調査会 | 神崎恵子 | 845㎡ | 3，10,29，<br>～4，1，15， | 古墳後期の竪穴住居、掘立柱建物、平安の掘立柱建物、流路 |
| 104 | 楠・荒田町遺跡<br>第10次 | 兵庫区西上橘通１丁目 | 神戸女子大学楠・荒田町遺跡調査会 | 藤井利章 | 160㎡ | 3，5，13，<br>～3，6，14， | 中世の井戸、土坑、ピット |
| 105 | 磯上遺跡 | 中央区磯上通７丁目 | 吉川義彦 | 吉川義彦 | 2,500㎡ | 3，7，1，<br>～4，1，25， | 縄文時代の土坑、弥生前期の溝<br>中世の掘立柱建物、土坑 |
| 106 | 日暮遺跡　第３次 | 中央区東雲通１丁目 | 日暮遺跡調査団 | 阿部嗣治 | 536㎡ | 3，7，23，<br>～3，9，20， | 古墳時代前期の竪穴住居<br>平安～中世の遺物包含層 |
| 107 | 岩屋北町遺跡 | 灘区岩屋北町７丁目 | 六甲山麓遺跡調査会 | 古川久雄 | 488㎡ | 3，6，1，<br>～3，9，30， | 縄文～平安時代の流路<br>13世紀の墓 |
| 108 | 八幡遺跡 | 灘区八幡町１丁目 | 妙見山麓遺跡調査会 | 神崎勝 | 270㎡ | 3，5，29，<br>～3，6，25， | 中世の掘立柱建物、溝、土坑、ピット |
| 109 | 郡家遺跡城の前地区 | 東灘区御影町字城の前 | 妙見山麓遺跡調査会 | 神崎勝 | 565㎡ | 前年度より継続<br>～3，4，15， | 弥生後期の掘立柱建物、土坑、ピット、弥生後期～古墳前期の溝 |
| 110 | 本山北町遺跡 | 東灘区本山北町 | 六甲山麓遺跡調査会 | 古川久雄 | 286㎡ | 4，3，16，<br>～次年度に継続 | 古墳時代の竪穴住居 |
| 111 | 小部・北ノ谷遺跡 | 北区山田町小部 | 高山正久 | 高山正久 | 3,527㎡ | 3，4，22，<br>～4，1，17， | 中世の流路 |
| 112 | 下小名田遺跡 | 北区八多町下小名田 | 下小名田遺跡調査団 | 村尾政人 | 1,150㎡ | 3，4，25，<br>～3，6，15， | 弥生後期の溝、古墳後期の竪穴住居<br>奈良～鎌倉の掘立柱建物 |
| | 下小名田遺跡　Ⅳ区 | | | 村尾政人 | 900㎡ | 3，8，19，<br>～3，11，18， | 古墳前期の土坑、奈良～平安の溝、平安時代の掘立柱建物、井戸 |
| | 下小名田遺跡　Ⅴ区 | | | 村尾政人 | 3,070㎡ | 3,11,20,～4,3,31, | 古墳～奈良の流路、土坑 |
| 113 | 下小名田遺跡 | 北区八多町下小名田 | 妙見山麓遺跡調査会 | 神崎勝 | 6,000㎡ | 3，6，25，<br>～3，10，24， | 古墳後期の竪穴住居、溝、掘立柱建物、平安～鎌倉の掘立柱建物 |
| 114 | 上津遺跡 | 北区長尾町上津 | 妙見山麓遺跡調査会 | 神崎勝 | 4,827㎡ | 3，11，1，<br>～次年度に継続 | 中世の掘立柱建物、土坑、溝、ピット |
| 115 | 萩原遺跡 | 北区淡河町萩原 | 萩原遺跡調査団 | 村尾政人 | 1,560㎡ | 3，6，17，<br>～3，8，17， | 平安～鎌倉の溝、ピット、杭列 |
| 116 | 淡河中山遺跡 | 北区淡河町中山 | 淡河中山遺跡調査団 | 阿部嗣治 | 1,936㎡ | 3，11，11，<br>～4，2，27， | 平安～鎌倉の溝、土坑、集石遺構、ピット |

# 平成３年度　埋蔵文化財発掘調査事業別一覧表　(1)

| No. | 事業名 | 遺　跡　名 | 所　在　地 | 調査主体 | 調査面積 | 調査期間 | 調　査　内　容 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 文化庁補助 | | | | | | | |
| 1 | 個人住宅 | 神出・吉生地区 | 西区神出町吉生 | 神戸市教育委員会 | 64㎡ | 3，4，8， | 試掘調査、文化財なし |
| 2 | 個人住宅 | 神出・東遺跡 | 西区神出町東 | 神戸市教育委員会 | 170㎡ | 4，3，6，～4，3，17， | 平安時代後半の溝 |
| 3 | 和田地区土地改良 | 和田遺跡 | 西区押部谷町和田 | 神戸市教育委員会 | 60㎡ | 3，5，7，<br>～3，5，20， | 中世の遺物包含層 |
| 4 | 平野地区土地改良 | 玉津田中遺跡（平野地区）　第５次 | 西区平野町芝崎 | 神戸市教育委員会 | 950㎡ | 3，5，20，<br>～3，10，22， | 縄文時代後期の土器、弥生～中世の水田、中世の柱穴 |
| 5 | 宅地造成（私道部分） | 出合遺跡　第28次 | 西区玉津町出合字中ノ田 | 神戸市教育委員会 | 127㎡ | 3，10，9，<br>～3，10，31， | 古墳時代の溝、土坑 |
| 6 | 古墳復元整備 | 狩口台きつね塚古墳 | 垂水区狩口台７丁目 | 神戸市教育委員会 | 125㎡ | 4，2，29，<br>～次年度に継続 | 古墳時代後期後葉の両袖式横穴式石室、石棺、金銅装の馬具 |
| 7 | 本堂建設 | 兵庫津遺跡（阿弥陀寺） | 兵庫区中之島２丁目 | 神戸市教育委員会 | 40㎡ | 4，3，19，<br>～4，3，30， | 近世の遺構・遺物 |
| 8 | 個人住宅含む共同住宅建設 | 赤松町遺跡　第２次 | 灘区赤松町 | 神戸市教育委員会 | 570㎡ | 3，7，11，<br>～3，8，12， | 古墳時代前期の土坑<br>弥生～中世の土器 |
| 9 | 個人住宅建設 | 郡家遺跡<br>篠ノ坪地区　第３次 | 東灘区御影町御影字篠ノ坪 | 神戸市教育委員会 | 84㎡ | 3，4，27，<br>～3，5，2， | 弥生時代後期の流路<br>鎌倉時代の土坑 |
| 10 | 事務所・個人住宅建設 | 郡家遺跡<br>篠ノ坪地区　第６次 | 東灘区御影町御影字篠ノ坪 | 神戸市教育委員会 | 120㎡ | 4，3，2，<br>～次年度に継続 | 弥生時代後期の流路、古墳時代中期～後期の竪穴住居、中世のピット |
| 11 | 共同住宅兼個人住宅建設 | 郡家遺跡<br>御影中町地区第５次 | 東灘区御影町御影中町２丁目 | 神戸市教育委員会 | 256㎡ | 3，6，28，<br>～3，9，27， | 古墳時代後期の竪穴住居、流路、土坑、奈良～平安時代の土坑、溝 |
| 12 | 上津地区土地改良 | 上津遺跡 | 北区長尾町上津 | 神戸市教育委員会 | 810㎡ | 3，11，5，<br>～4，11，30， | 12～14世紀の土坑、ピット、溝 |
| 13 | 屏風地区土地改良 | 屏風遺跡　第２次 | 北区八多町屏風 | 神戸市教育委員会 | 140㎡ | 3，5，27，～3，7，10， | 江戸時代以降の土坑、溝 |
| | | 第３次 | | | 360㎡ | 3，10，24，～3，11，13， | 試掘、中・近世の遺構・遺物包含層 |
| | | 第４次 | | | 97㎡ | 4，3，17，～4，3，20， | 江戸時代以降の溝 |
| 14 | 西畑深谷地区土地改良 | 西畑遺跡 | 北区八多町西畑 | 神戸市教育委員会 | 92㎡ | 3，4，22，～3，4，25，<br>4，1，13，～4，1，22， | 試掘調査<br>文化財なし |
| 15 | 淡河地区土地改良 | 淡河地区 | 北区淡河町中山萩原、淡河本町 | 神戸市教育委員会 | 1,080㎡ | 3，4，15，～3，5，18，<br>3，11，14，～3，12，26， | 弥生時代後期の土器、古墳時代の遺物包含層、中世の遺構・遺物包含層 |
| 16 | 中村地区土地改良 | 淡河・中村遺跡 | 北区淡河町小池 | 神戸市教育委員会 | 1,180㎡ | 3，8，1，<br>～3，8，31， | 中世の柵列、溝、ピット、土坑 |
| 17 | 萩原地区土地改良 | 萩原遺跡 | 北区淡河町萩原 | 神戸市教育委員会 | 76㎡ | 3，5，7，<br>～3，5，9， | 試掘調査<br>中世の遺構・遺物包含層 |
| 18 | 行原地区土地改良 | 行原遺跡　第２次 | 北区淡河町行原 | 神戸市教育委員会 | 200㎡ | 3，4，15，<br>～3，5，23， | 13～14世紀の掘立柱建物、溝、ピット、火葬土坑 |
| | | 第４次 | | | 150㎡ | 3，8，1，～3，8，21， | 火葬土坑 |
| 19 | 神田地区土地改良 | 神田遺跡 | 北区淡河町神田 | 神戸市教育委員会 | 160㎡ | 3，4，8，<br>～3，4，19， | 中世の溝、土坑、ピット |
| 民生局 | | | | | | | |
| 20 | 櫨谷児童館建設 | 櫨谷中学校内遺跡 | 西区櫨谷町池谷字苗代ノ内 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 150㎡ | 4，1，13，<br>～4，1，23， | 13～14世紀の遺物包含層 |
| 21 | 玉津福祉ゾーン建設 | 青谷遺跡 | 西区玉津町水谷字セリ合ほか | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 76㎡ | 3，8，22，<br>～3，8，29， | 試掘調査<br>文化財なし |
| 農政局 | | | | | | | |
| 22 | 和田地区土地改良 | 和田遺跡 | 西区押部谷町和田 | 神戸市教育委員会 | 150㎡<br>240㎡ | 3，4，2，～3，4，7，<br>3，5，7，～3，5，20， | 試掘調査、中世の遺物包含層<br>中世の土坑、ピット |
| 23 | 平野地区土地改良 | 玉津田中遺跡（平野地区）　第５次 | 西区平野町福中、芝崎 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 1,650㎡ | 3，4，9，<br>～3，10，30， | 弥生中期前半の土坑、後期以前の水田、後期～古墳前期の流路 |

# 平成３年度　埋蔵文化財発掘調査事業別一覧表　(2)

| No. | 事業名 | 遺跡名 | 所在地 | 調査主体 | 調査面積 | 調査期間 | 調査内容 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 24 | 栃木地区土地改良 | 栃木遺跡 | 西区櫨谷町栃木 | 神戸市教育委員会 | 16㎡ | 3，7，20, | 試掘調査<br>弥生、中世の遺構面 |
| 25 | 松本地区土地改良 | 松本遺跡 | 西区櫨谷町松本 | 神戸市教育委員会 | 108㎡ | 4，2，4，<br>～4，2，6， | 試掘調査<br>江戸時代の土坑 |
| 26 | 上津地区土地改良 | 上津遺跡 | 北区長尾町上津 | 神戸市教育委員会 | 1,400㎡ | 3，11，5，<br>～4，1，16, | 12世紀の掘立柱建物<br>中世の木棺墓、溝、柵 |
| 27 | 屏風地区土地改良 | 屏風遺跡　第１次 | 北区八多町屏風 | 神戸市教育委員会 | 308㎡ | 3，4，2，～3，4，12, | 試掘調査、中・近世の遺物包含層 |
| | | 第４次 | | | 358㎡ | 4，3，23，～4，3，31, | 近世以降の溝 |
| 28 | 西畑深谷地区土地改良 | 西畑深谷遺跡 | 北区八多町西畑深谷 | 神戸市教育委員会 | 276㎡ | 3，4，22，<br>～3，4，30, | 試掘調査<br>中世の遺物包含層、ピット |
| 29 | 中村地区土地改良 | 淡河・中村遺跡 | 北区淡河町小池 | 神戸市教育委員会 | 1,410㎡ | 3，8，12，<br>～3，10，11, | 中世の土坑、ピット |
| 30 | 淡河地区土地改良 | 淡河中山遺跡 | 北区淡河町中山 | 神戸市教育委員会 | 110㎡ | 4，3，24，<br>～4，3，30, | 試掘調査<br>中世の遺構・遺物包含層 |
| 31 | 淡河地区土地改良 | 萩原遺跡 | 北区淡河町萩原 | 神戸市教育委員会 | 136㎡ | 3，5，10，<br>～3，5，15, | 試掘調査<br>中世の遺構・遺物包含層 |
| 32 | 行原地区土地改良 | 行原遺跡　第２次 | 北区淡河町行原 | 神戸市教育委員会 | (200㎡) | 3，4，15，<br>～3，5，23, | 13～14世紀の掘立柱建物、溝、ピット、火葬土坑 |
| | | 第４次 | | | (150㎡) | 3，8，1，～3，8，21, | 火葬土坑 |
| 33 | 神田地区土地改良 | 神田遺跡 | 北区淡河町神田 | 神戸市教育委員会 | 310㎡ | 3，4，2，<br>～3，4，19, | 試掘調査<br>中世の遺物包含層 |
| 土木局 | | | | | | | |
| 34 | 西神22号線自歩道設置 | 堅田遺跡 | 西区平野町堅田字栗町 | 神戸市教育委員会 | 350㎡ | 3，5，21，<br>～3，6，19, | 遺構なし<br>古墳～中世の遺物 |
| 35 | 県道野村明石線改良 | 印路遺跡 | 西区平野町中津 | 神戸市教育委員会 | 190㎡ | 3，4，1，～3，5，2，<br>3，9，12，～3，10，21, | 弥生時代、古墳時代以降、中世以降の水田 |
| 36 | 明石国包線建設 | 出合遺跡　第27次 | 西区玉津町中津 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 2,050㎡ | 前年度より継続<br>～3，8，2, | 中世の水田<br>弥生時代中期の方形周溝墓 |
| 37 | 小部明石線道路改良 | 松本遺跡 | 西区櫨谷町松本 | 神戸市教育委員会 | 40㎡ | 4，2，7, | 試掘調査<br>文化財なし |
| 38 | 小部明石線道路改良 | 二ツ屋東遺跡 | 西区玉津町二ツ屋 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 848㎡ | 3，12，6，<br>～4，2，7, | 弥生時代前期の土坑、後期の溝、平安時代中期の溝 |
| 39 | 三木三田線自歩道設置 | 日下部北遺跡 | 北区道場町日下部字蟹床 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 380㎡ | 3，4，2，～3，4，26，<br>3，8，6，～3，8，9, | 12世紀のピット（柵列）、土坑、溝 |
| 40 | 北神戸三地区建設 | 北神ニュータウン内第４地点遺跡 | 北区長尾町宅原字上瀧ケ谷 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 1,030㎡ | 3，12，2，<br>～次年度に継続 | 弥生時代中期の土坑 |
| 41 | 北神第一地区緑地整備 | 北神ニュータウン内第２・３地点古墳 | 北区道場町日下部 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 250㎡ | 3，4，1，～3，5，2，<br>4，1，14，～4，3，23, | 古墳時代後期前方後円墳と円墳、横穴式石室、「○」印線刻 |
| 42 | 北神戸一・三地区開発 | | 北区長尾町上津八多町中 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 135㎡ | 3，11，20，<br>～3，11，30, | 試掘調査、文化財なし |
| 43 | 北神戸三地区建設 | 宅原遺跡<br>（北神第２地区） | 北区長尾町上津字上垣内 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 430㎡<br>250㎡ | 3，11，5，<br>～3，11，28, | 土坑<br>試掘調査　文化財なし |
| 44 | 北神中央線建設 | 宅原遺跡内垣地区 | 北区長尾町宅原 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | | | 遺物整理作業 |
| 45 | 市道長尾線道路改良 | 宅原遺跡宮ノ元地区 | 北区長尾町宅原 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 1,270㎡ | 3，4，2，<br>～3，6，24, | 13～14世紀の掘立柱建物、火葬墓 |
| 46 | 北18号線自歩道改良 | 上上津遺跡 | 北区長尾町上津 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 500㎡ | 3，6，20，<br>～3，7，30, | 中世の遺物包含層 |
| 47 | 市道長尾線道路改良 | 龍ケ坪遺跡　第２次 | 北区長尾町上津字龍ケ坪 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 815㎡ | 3，6，4，～3，7，9，<br>3，8，9，～3，8，29, | 鎌倉時代の掘立柱建物<br>平安時代前半の掘立柱建物 |
| 48 | 市道長尾線道路改良 | 上津遺跡 | 北区長尾町上津 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 5㎡<br>175㎡ | 3，11，14，～3，11，15，<br>3，10，21，～3，11，1, | 試掘調査　文化財なし<br>試掘調査　奈良時代の土坑墓 |

# 平成３年度　埋蔵文化財発掘調査事業別一覧表　(3)

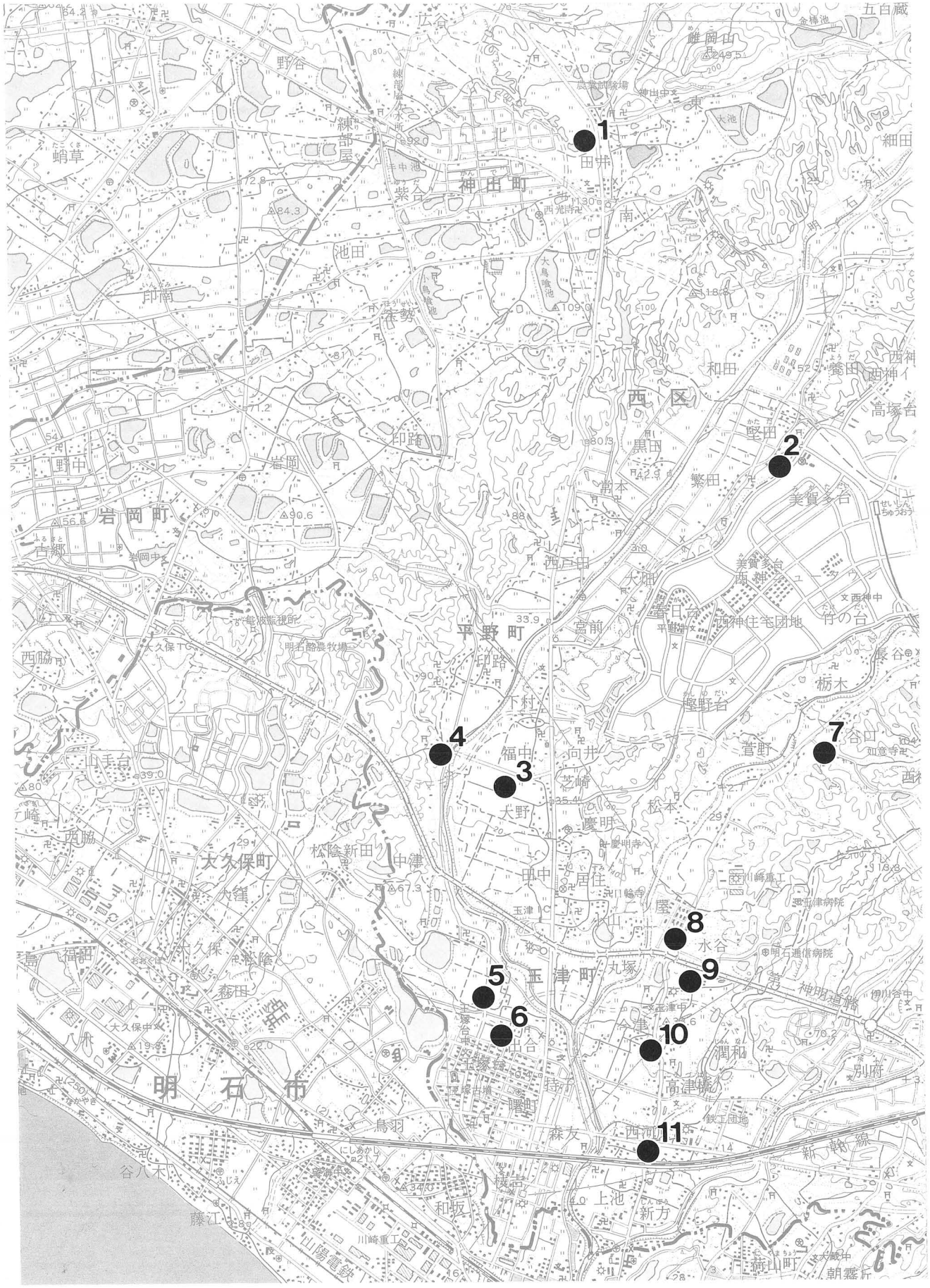
| No. | 事業名 | 遺跡名 | 所在地 | 調査主体 | 調査面積 | 調査期間 | 調査内容 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 49 | 山田三田線道路改良 | 上津遺跡 | 北区長尾町上津字美谷垣内 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 4,640㎡ | 3，7，1，～3，11,20, | 縄文時代中期末の土坑、13世紀の掘立柱建物、土坑、溝、中世水田 |
| 都市計画局 | | | | | | | |
| 50 | 区画整理 | 二ツ屋遺跡 | 西区玉津町二ツ屋 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 4,000㎡ | 4，1，6，～次年度に継続 | 平安時代の集落址<br>弥生～平安時代の遺物包含層 |
| 51 | 水谷第一土地区画整理 | 水谷遺跡 | 西区玉津町水谷 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 1,264㎡<br>64㎡ | 3，6,25,～3，8,21,<br>3,11,11,～3,11,13, | 平安～鎌倉時代の掘立柱建物群<br>試掘調査、弥生土器 |
| 52 | 土地区画整理 | 白水遺跡 | 西区伊川谷町潤和 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 100㎡ | 3，11，11，～3，11，12, | 試掘調査<br>奈良後期～平安前期の遺物包含層 |
| 53 | 明石木見線拡幅 | 新方遺跡大日地点第２次 | 西区伊川谷町潤和 | 神戸市教育委員会 | 130㎡ | 3，10，12，～3，12，28, | 弥生時代中期の溝、古墳時代後期の掘立柱建物 |
| 54 | 垂水駅前再開発 | 垂水日向遺跡第５次 | 垂水区日向１丁目 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 240㎡ | 3，4，1，～3，6，27, | 縄文後期の流路、飛鳥時代の竪穴住居、平安～鎌倉時代の掘立柱建物群 |
| 55 | 垂水駅前再開発 | 垂水日向遺跡第６次 | 垂水区日向１丁目 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 40㎡ | 3，5，7，～3，5，18, | 文化財なし |
| 56 | 垂水駅前再開発 | 垂水日向遺跡第７次 | 垂水区日向１丁目 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 1,100㎡ | 4，2，12，～次年度に継続 | 平安時代後期～末の掘立柱建物群、井戸 |
| 57 | 商大線拡幅 | 垂水日向遺跡天ノ下地区第２次 | 垂水区天ノ下町 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 650㎡ | 3，7，10，～3，7，30, | 時期不明の溝 |
| 58 | 都計道路長田線街路築造 | 長田神社境内遺跡第５次 | 長田区大塚町３丁目 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 506㎡ | 3，8，30，～4，1，17, | 弥生後期～古墳初頭・古墳前期の竪穴住居、古墳中期の掘立柱建物、 |
| 59 | 三宮東地区都市改造 | 雲井遺跡　第３次 | 中央区旭通５丁目 | 神戸市教育委員会 | 80㎡ | 3，4，1　～3，4，9, | 縄文時代早期の土器 |
| 60 | 三宮東地区都市改造 | 雲井遺跡　第４次 | 中央区旭通５丁目 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 240㎡ | 3，7，22　～3，11,27, | 縄文時代早期の土坑、集石土坑<br>弥生時代前期の土坑、溝 |
| 61 | 東灘山手土地区画整理 | 郡家遺跡篠ノ坪地区　第４次 | 東灘区御影町御影字篠ノ坪 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 60㎡ | 3，11，5　～3，11,15, | 弥生時代後期の溝 |
| 住宅局 | | | | | | | |
| 62 | 番町住宅地区改良 | 五番町遺跡 | 長田区六番町５丁目 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 450㎡ | 3，12，3，～3，3，31, | 縄文時代の流路、奈良時代の掘立柱建物、中世の掘立柱建物 |
| 63 | 市営青木住宅建設 | 青木遺跡 | 東灘区青木４丁目 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 1,700㎡ | 3，11，12，～3，11，28, | 中世の土坑<br>近世の水田 |
| 開発局 | | | | | | | |
| 64 | 神戸三木バイパス準用 | 木津遺跡 | 西区押部谷町木津 | 神戸市教育委員会 | 88㎡ | 3，11，1，～3，11，7, | 試掘調査<br>文化財なし |
| 65 | 西神地区開発自歩道設置 | 西神ニュータウン内第36号地点遺跡 | 西区平野町堅田字白師谷 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 130㎡ | 3，7，30，～3，8，7, | 平安時代末～鎌倉時代の土坑 |
| 66 | 西神地区開発 | 西神ニュータウン内第65号地点遺跡－Ｄ | 西区樫野台１丁目 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 5,000㎡ | 3，11，22，～次年度に継続 | 弥生時代中期の住居、土坑 |
| 67 | 西神地区開発 | 栃木遺跡　第７次 | 西区櫨谷町谷口 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 570㎡ | 3，5，8，～3，7,19,<br>3,11,11,～3,11,19, | 弥生時代中期の土坑、溝、ピット |
| 教育委員会 | | | | | | | |
| 68 | 小学校改築 | 神楽遺跡　第７次 | 長田区神楽町１丁目 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 1,040㎡ | 3，9，3，～3，12，12, | 弥生時代後期の流路<br>古墳～平安時代の集落 |
| 69 | 神戸生田中学校建設 | 旧三宮駅構内遺跡第２次　Ⅴ・Ⅵ区 | 中央区北長狭通４丁目 | (財)神戸市スポーツ教育公社 | 1,000㎡ | 3，7，1，～3，7,11,<br>3，8,15，～3,10，7, | 弥生～近世の土坑、溝、ピット<br>奈良時代の掘立柱建物 |
| | | 第２次　Ⅶ区 | | | 1,050㎡ | 3，2，4，～次年度に継続 | 弥生～近世の土坑、溝、ピット<br>奈良時代の掘立柱建物 |
| 民間 | | | | | | | |
| 70 | レストラン建設 | 神出・東遺跡 | 西区神出町東 | 神戸市教育委員会 | 220㎡ | 3，10，1，～3，10，25, | 11～12世紀の掘立柱建物、溝、土坑 |

# 平成３年度　埋蔵文化財発掘調査事業別一覧表　(4)

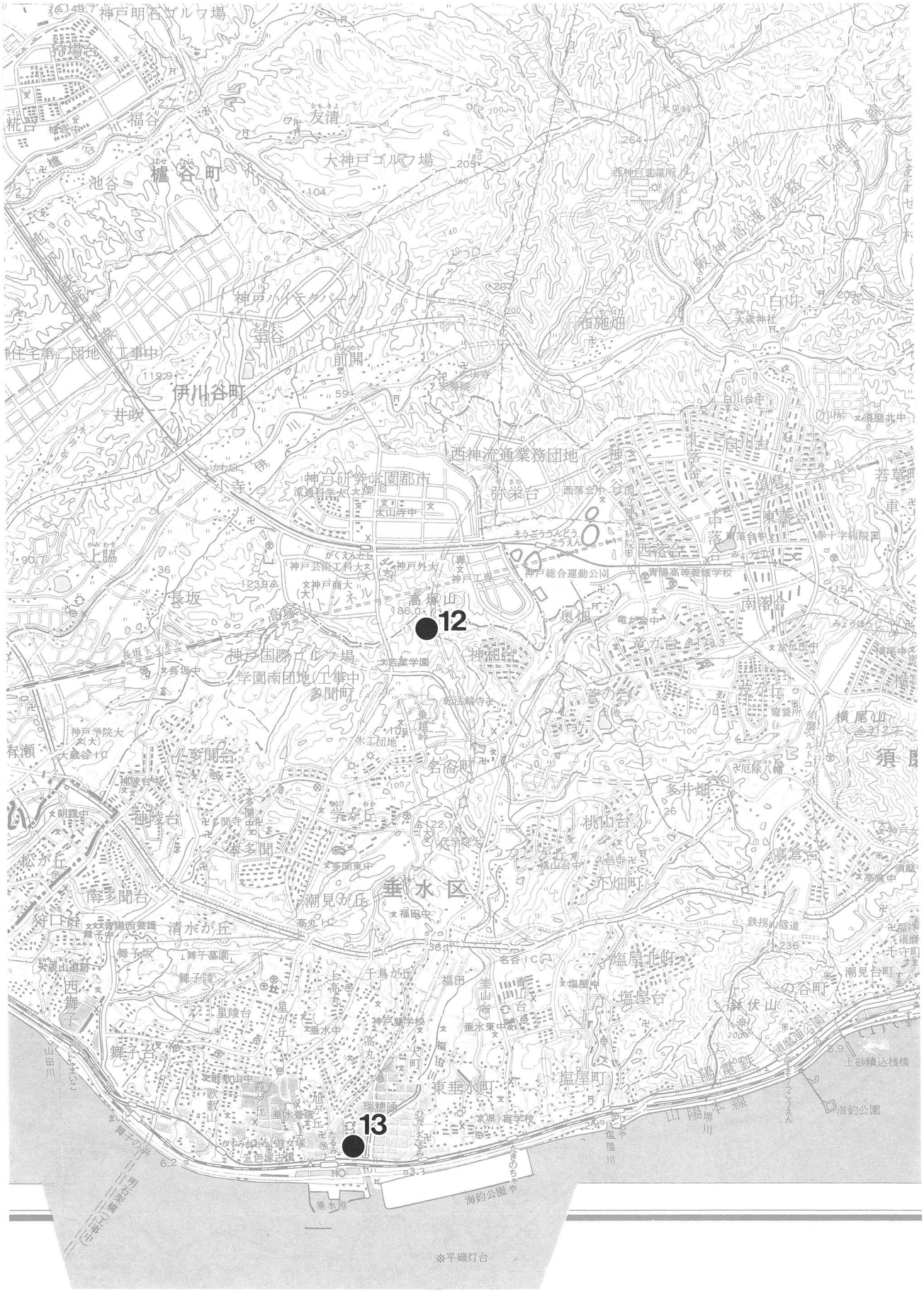
| No. | 事業名 | 遺　跡　名 | 所　在　地 | 調査主体 | 調査面積 | 調査期間 | 調　査　内　容 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 71 | 駐車場増設 | 居住遺跡 | 西区玉津町居住 | 神戸市教育委員会 | 10㎡ | 3，9，10, | 中世・近世の水田 |
| 72 | 共同住宅・会社事務所 | 高津橋・岡遺跡 第３次 | 西区玉津町高津橋字岡 | 神戸市教育委員会 | 47㎡ | 3，2，3，～3，2，20, | ７～８世紀の遺構 |
| 73 | 店舗建設 | 潤和遺跡 | 西区伊川谷町潤和字平田 | 神戸市教育委員会 | 80㎡ | 3，4，2，～3，4，10, | 弥生時代の遺物包含層、古墳時代の土坑、中世の溝、ピット |
| 74 | 資材置場造成 | 高塚山古墳群 第１次 | 垂水区多聞町字小東山 | 神戸市教育委員会 | 3,000㎡ | 前年度より継続～3，9，4, | ２～６号墳の調査(6世紀後半～末)、馬の線刻壁画（２号墳） |
| 75 | 資材置場造成 | 高塚山古墳群 第２次 | 垂水区多聞町字小東山 | 神戸市教育委員会 | 2,500㎡ | 3，12，3，～次年度に継続 | 古墳４基の調査（横穴式石室）Ｔ字形複室墳、火葬墳を含む |
| 76 | 共同住宅建設 | 衣掛遺跡 | 須磨区衣掛町４丁目 | 神戸市教育委員会 | 500㎡ | 3，6，17，～3，7，25, | 中世の耕作痕 近世の溝 |
| 77 | 共同住宅建設 | 大田町遺跡 | 須磨区大田町６丁目 | 神戸市教育委員会 | 425㎡ | 3，5，20，～3，9，12, | 古墳時代後期の土坑、奈良～平安時代の掘立柱建物 |
| 78 | テナントビル、駐車場建設 | 神楽遺跡　第８次 | 長田区川西通３丁目 | 神戸市教育委員会 | 64㎡ | 4，3，2，～4，3，13, | 13世紀の井戸、溝、ピット |
| 79 | 給油所建設 | 兵庫津遺跡 | 兵庫区西宮内町 | 神戸市教育委員会 | 20㎡ | 3,10，7,～3,10，8, | 遺構なし、中世の遺物 |
| 80 | 病院建設 | 大開遺跡　第２次 | 兵庫区大開通９丁目 | 神戸市教育委員会 | 650㎡ | 3，11，8，～3，12，27, | 中世の耕作面 |
| 81 | 立体駐車場建設 | 東川崎町遺跡 | 中央区東川崎町 | 神戸市教育委員会 | 70㎡ | 3，10，22，～3，11，5, | 近世の耕作面 |
| 82 | 立体駐車場建設 | 下山手遺跡 | 中央区下山手通８丁目 | 神戸市教育委員会 | 63㎡ | 3，4，2，～3，4，9, | 中世の土坑、溝、ピット |
| 83 | 共同住宅建設 | 日暮遺跡　第４次 | 中央区東雲通１丁目 | 神戸市教育委員会 | 350㎡ | 3，11，20，～4，1，27, | 弥生時代末～古墳時代中期の竪穴住居、土坑、平安時代のピット |
| 84 | 共同住宅建設 | 八幡遺跡 | 灘区八幡町２丁目 | 神戸市教育委員会 | 300㎡ | 3，7，31，～3，9，5, | 中世の掘立柱建物 |
| 85 | 共同住宅建設 | 滝ノ奥遺跡 | 灘区高羽字滝ノ奥 | 神戸市教育委員会 | 3,000㎡ | 前年度より継続～3，9，13, | 旧石器、押型文土器、撚糸文土器、弥生時代中期後半の竪穴住居 |
| 86 | 共同住宅建設 | 篠原南町遺跡 | 灘区篠原南町６丁目 | 神戸市教育委員会 | 560㎡ | 4，1，27，～4，2，27, | 古墳時代前期の竪穴住居 縄文時代晩期以降の流路 |
| 87 | マンション建設 | 郡家遺跡 篠ノ坪地区　第２次 | 東灘区御影町御影字篠ノ坪 | 神戸市教育委員会 | 320㎡ | 3，4，2，～3，6，7, | 弥生時代後期の流路、古墳時代初頭の竪穴住居、前期のピット、溝 |
| 88 | 共同住宅建設 | 郡家遺跡 篠ノ坪地区　第５次 | 東灘区御影町御影字篠ノ坪 | 神戸市教育委員会 | 210㎡ | 3，2，4，～次年度に継続 | 弥生時代後期の土坑、古墳時代中期の竪穴住居、後期の流路 |
| 89 | 共同住宅建設 | 本山遺跡　第13次 | 東灘区本山中町４丁目 | 神戸市教育委員会 | 190㎡ | 3，11，19，～3，12，14, | 中世の溝、土坑、ピット 近世のピット |
| 90 | ゴルフ場造成 | 六甲国際ゴルフ場内遺跡 | 北区山田町字衝原 | 神戸市教育委員会 | 4,500㎡ | 3，9，5，～3，12，11, | 縄文時代の石器、弥生土器、中世の土器、時期不明の焼土坑 |
| 91 | ゴルフ場建設 | 西宮北ゴルフ場内遺跡群 | 北区道場町塩田平田、生野 | 神戸市教育委員会 | 1,000㎡ | 3，12，2，～3，12，17, | 試掘調査 弥生？中世の墓、落ち込み、溝 |
| 92 | 宅地造成予定 | 松原城址 | 北区道場町日下部 | 神戸市教育委員会 | 106㎡ | 4，2，10，～4，2，29, | 試掘調査 土塁確認、15～16世紀の遺物 |
| 93 | 給油所建設 | 宅原遺跡 | 北区長尾町宅原字定塚 | 神戸市教育委員会 | 365㎡ | 3，6，19，～3，7，31, | 奈良～中世の溝、土坑、ピット 近代の井戸 |
| 94 | 資材置場建設 | 天皇山古墳群 | 北区長尾町宅原字炭焼 | 神戸市教育委員会 | 330㎡ | 4,15,～25，5,15～17，8,21,～9,12, | 試掘調査、弥生時代後期・中世の土器、近世の埋め墓 |
| 95 | 裏六甲カントリークラブ | 奥蔵寺廃寺遺跡 | 北区八多町附物字手運谷 | 神戸市教育委員会 | 210㎡ | 4，1，20，～4，1，31, | 試掘調査 文化財なし |

# 平成３年度 神戸市埋蔵文化財調査地位置図

（各遺跡の番号は掲載遺跡と一致）



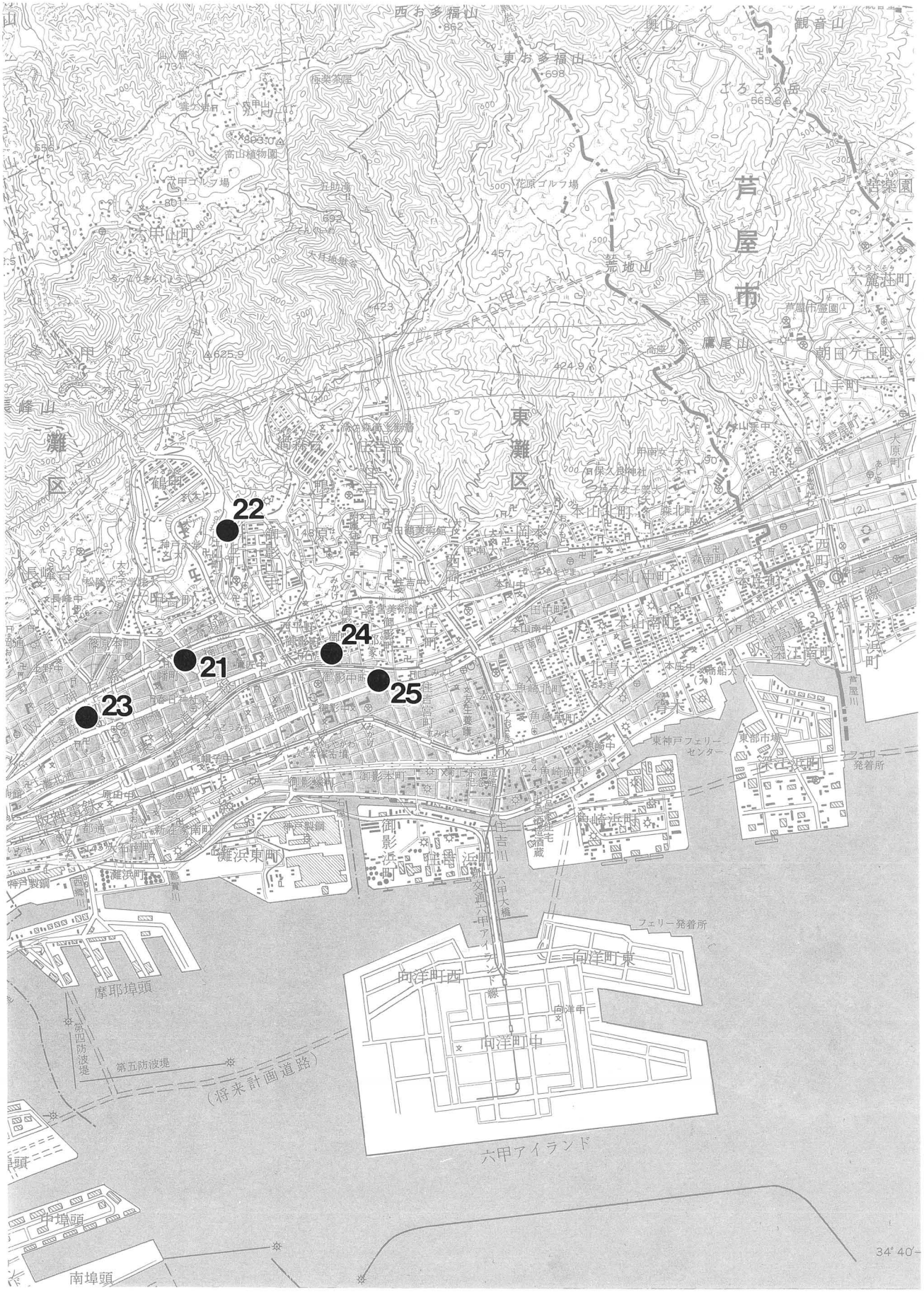

調査地点位置図１


12
13
神戸研究学園都市
高塚山
垂水区
神戸国際ゴルフ場
学園南団地(工事中)
多聞町
名谷町
西神流通業務団地
弥栄台
須磨
塩屋町
東垂水町
山陽電鉄
山陽本線
海釣公園
垂水港
平磯灯台

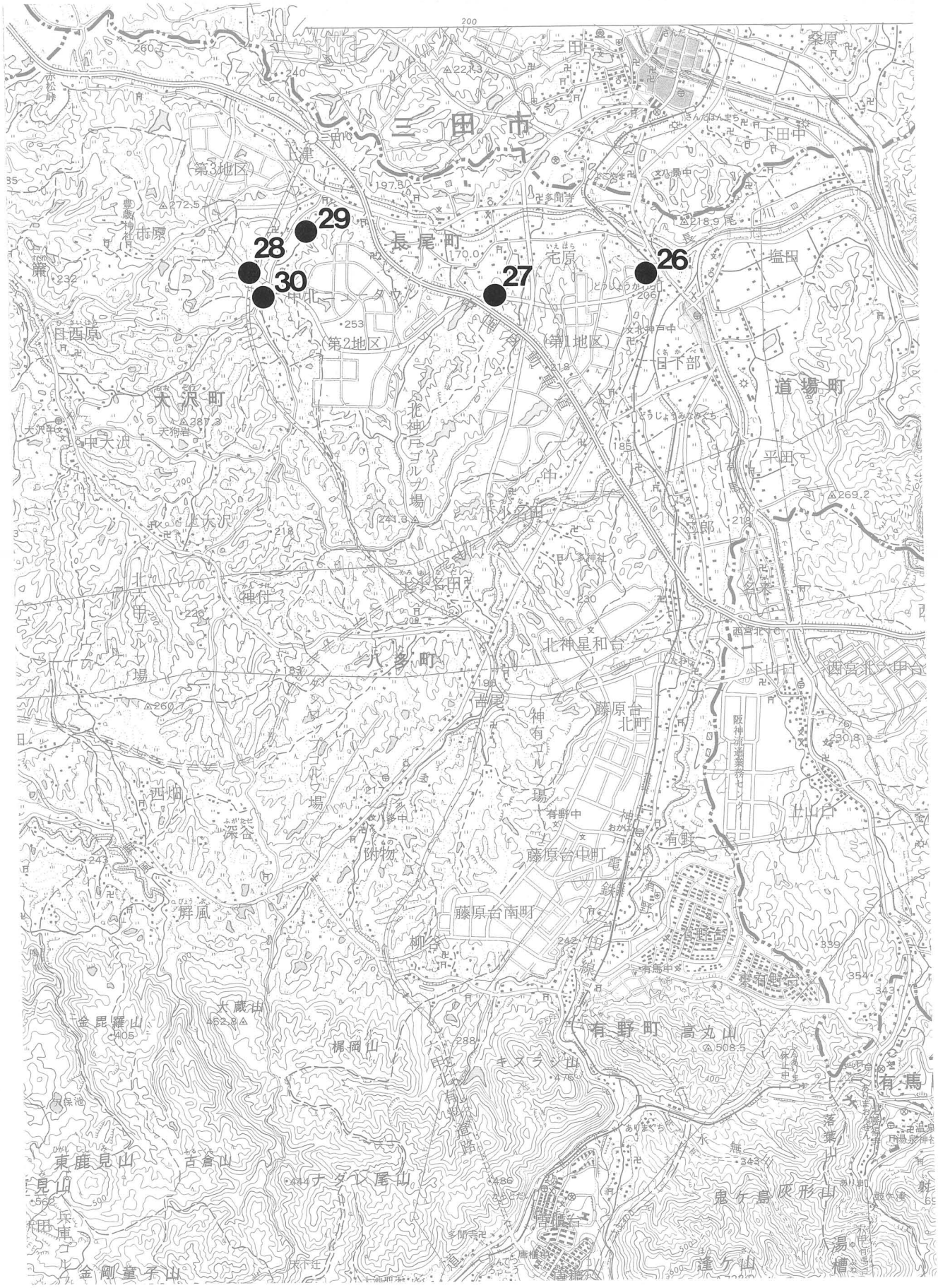
調査地点位置図 2

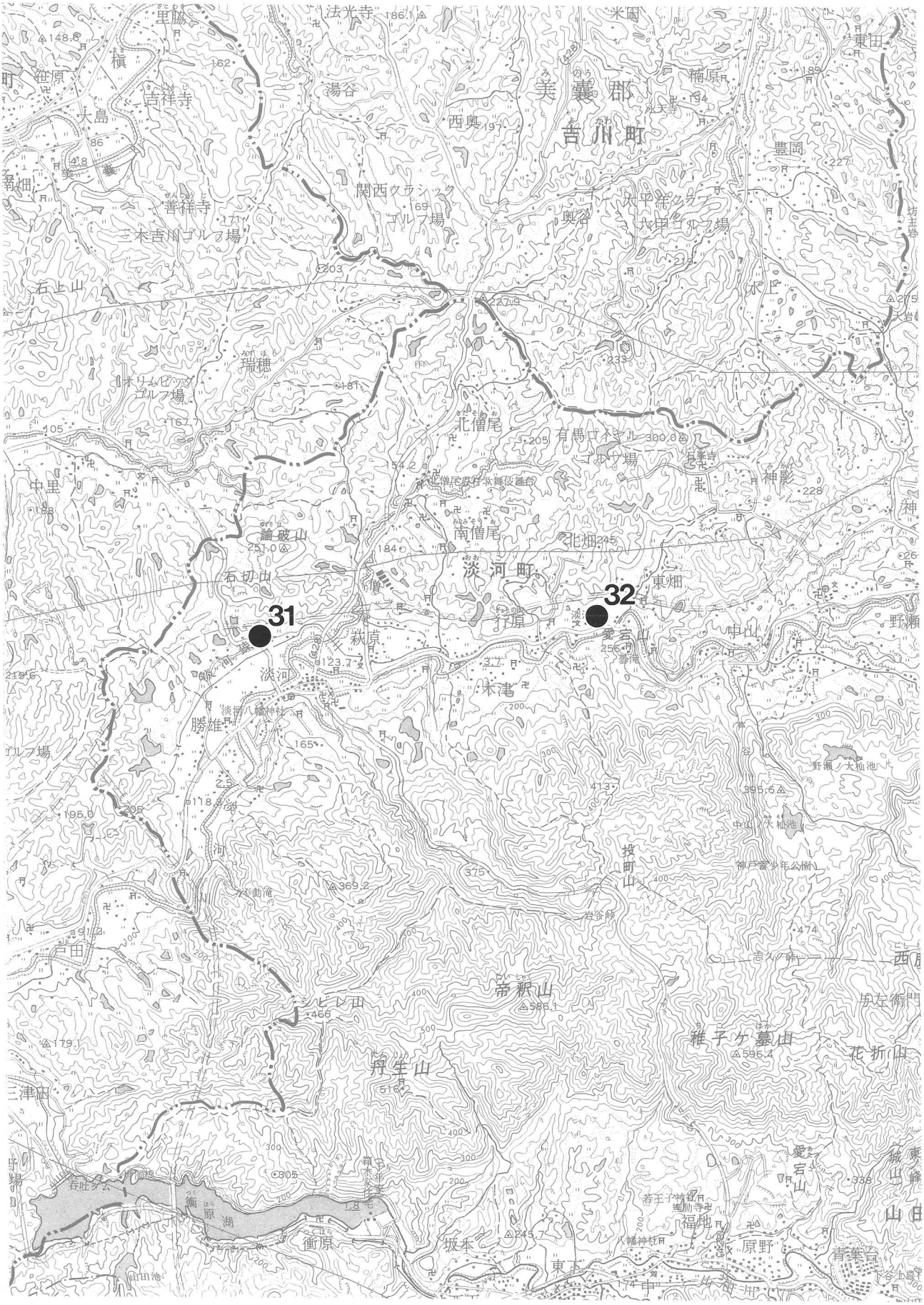
14
15
16
17
18
19
20
神戸港
中央区
兵庫区
長田区
摩耶山
高雄山
再度公園
鍋蓋山
菊水山
諏訪山
高尾山
高取山
港島
南公園
小野浜町
新港町
和田岬
浮ドック
神戸検疫所
神戸ヘリポート
神戸ポートアイランドホール
ポートアイランドスポーツセンター
中央市民病院
国際交流会館
第四突堤
第一防波堤
メリケンパーク
ポートタワー
中突堤
波止場
兵庫突堤
兵庫港
長田港
須磨港
外浜町
発着場
新湊川
南駒栄町
駒ケ林南町
駒ケ林中
大橋
御崎町
兵庫町
兵庫中北分校
西野分校
西代中
高取山
高速道路
萩乃町
鵯越町
鵯越道路
有料道路
鉄道
山陽
JR
阪急
阪神
地下鉄
ポートライナー
新幹線
神戸大橋
北公園
港島中町
新交通
小部
物田町
北五葉
南五葉
君影町
鈴蘭台
鈴蘭台西町
鈴蘭台北町
鈴蘭台南町
鈴蘭台東町
数育植物園
再度公園
修法ケ原
摩耶山
摩耶山史跡公園
高雄山
鍋蓋山
菊水山
高尾山
下谷上
墓園
神戸
兵庫
長田
須磨
灘
中央
住吉
東灘
北野町
山本通
生田川
生田神社
湊川
湊川公園
湊川神社
楠公
新開地
兵庫駅
神戸駅
高速道路
阪神高速
名神高速
中国自動車道
山陽自動車道
神戸電鉄
神戸市営地下鉄
神戸高速鉄道
阪急神戸線
JR神戸線
JR山陽本線
JR東海道本線
神戸市営地下鉄西神・山手線
神戸高速鉄道東西線
神戸高速鉄道南北線
神戸市営地下鉄海岸線
神戸電鉄有馬線
神戸電鉄粟生線
神戸電鉄三田線
神戸電鉄公園都市線
阪急神戸本線
阪急神戸三宮駅
JR三ノ宮駅
JR新神戸駅
JR兵庫駅
JR長田駅
JR須磨駅
JR鷹取駅
JR灘駅
JR東灘駅
JR住吉駅
JR摂津本山駅
JR芦屋駅
JR甲子園口駅
JR西宮駅
JR尼崎駅
JR大阪駅
JR新大阪駅
JR京都駅
JR新宮駅
JR和歌山駅
JR紀伊田辺駅
JR白浜駅
JR串本駅
JR新大阪駅
JR東京駅
JR横浜駅
JR新横浜駅
JR小田原駅
JR熱海駅
JR静岡駅
JR浜松駅
JR名古屋駅
JR岐阜駅
JR大垣駅
JR米原駅
JR彦根駅
JR長浜駅
JR敦賀駅
JR福井駅
JR金沢駅
JR高岡駅
JR富山駅
JR新潟駅
JR長岡駅
JR上越妙高駅
JR糸魚川駅
JR直江津駅
JR高田駅
JR柏崎駅
JR新潟駅
JR新潟港
JR新潟港駅
JR新潟港線
JR新潟港駅
JR新潟港線
JR新潟港駅
JR新潟港線

調査地点位置図 3


22
21
24
25
23
西お多福山
東お多福山
観音山
ごろごろ岳
芦屋市
荒地山
鷹尾山
六甲山
摩耶埠頭
向洋町西
向洋町東
向洋町中
六甲アイランド
フェリー発着所
東神戸フェリーセンター
東部市場
深江浜町
御影浜町
魚崎浜町
灘浜東町
灘区
東灘区
阪神電鉄
阪急神戸線
JR
第四防波堤
第五防波堤
(将来計画道路)
中埠頭
南埠頭
34° 40′

調査地点位置図 4


26
27
28
29
30
三田市
長尾町
大沢町
道場町
有野町
有馬
(第3地区)
(第2地区)
(第1地区)
北神ゴルフ場
北神星和台
藤原台北町
藤原台中町
藤原台南町
有野中
有馬中
高丸山
キスラジ山
鬼ケ島灰形山
落葉山
湯槽
達ケ山
楫岡山
大蔵山
金毘羅山
東鹿見山
古倉山
見山
金剛童子山
ナダ仁尾山
唐櫃
唐櫃中
唐櫃台
唐櫃台中
唐櫃台南
唐櫃台北
有野台
有野台北
有野台南
有野台中
有野台東
有野台西
有野台南東
有野台南西
有野台北東
有野台北西
有野台中東
有野台中西
有野台南中
有野台北中
有野台南北
有野台北南
有野台中南
有野台中北
有野台南中北
有野台北中南
有野台南中北南
有野台北中南北
有野台南中北南北
有野台北中南北南
有野台南中北南北南
有野台北中南北南北
有野台南中北南北南北
有野台北中南北南北南
有野台南中北南北南北南
有野台北中南北南北南北
有野台南中北南北南北南北
有野台北中南北南北南北南
有野台南中北南北南北南北南
有野台北中南北南北南北南北
有野台南中北南北南北南北南北
有野台北中南北南北南北南北南
有野台南中北南北南北南北南北南
有野台北中南北南北南北南北南北
有野台南中北南北南北南北南北南北
有野台北中南北南北南北南北南北南
有野台南中北南北南北南北南北南北南
有野台北中南北南北南北南北南北南北
有野台南中北南北南北南北南北南北南北
有野台北中南北南北南北南北南北南北南
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北
有野台北中南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南
有野台南中北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南北南


31
32
吉川町
美囊郡
淡河町
関西クラシック
ゴルフ場
三木吉川ゴルフ場
六甲ゴルフ場
有馬ロイヤル
ゴルフ場
ホリムビッグ
ゴルフ場
瑞穂
北僧尾
南僧尾
論破山
石切山
淡河
勝雄
秋原
行原
愛宕山
中山
来渕
帝釈山
雌子ケ墓山
舟生山
花折山
衝原
坂本
福地
原野
青葉台
東畑
北畑
神影
豊岡
奥谷
西奥
湯谷
法光寺
吉祥寺
善祥寺
大島
里脇
笹原
槇
石上山
中里
投町山
神戸富士公園
野瀬ノ大池
中山ノ大池
衝原湖
淡河八幡神社
愛宕山

調査地点位置図 6

# Ⅱ．平成３年度の発掘調査

## １．神出（かんで）・東（ひがし）遺跡

**１．はじめに**　神出町一帯は、神出古窯址群として知られる平安時代後半から鎌倉時代にかけての須恵器生産地である。当該地周辺においても、これまでの調査で窯址・粘土採掘坑や生産に関係すると考えられる建物址が発見されている。

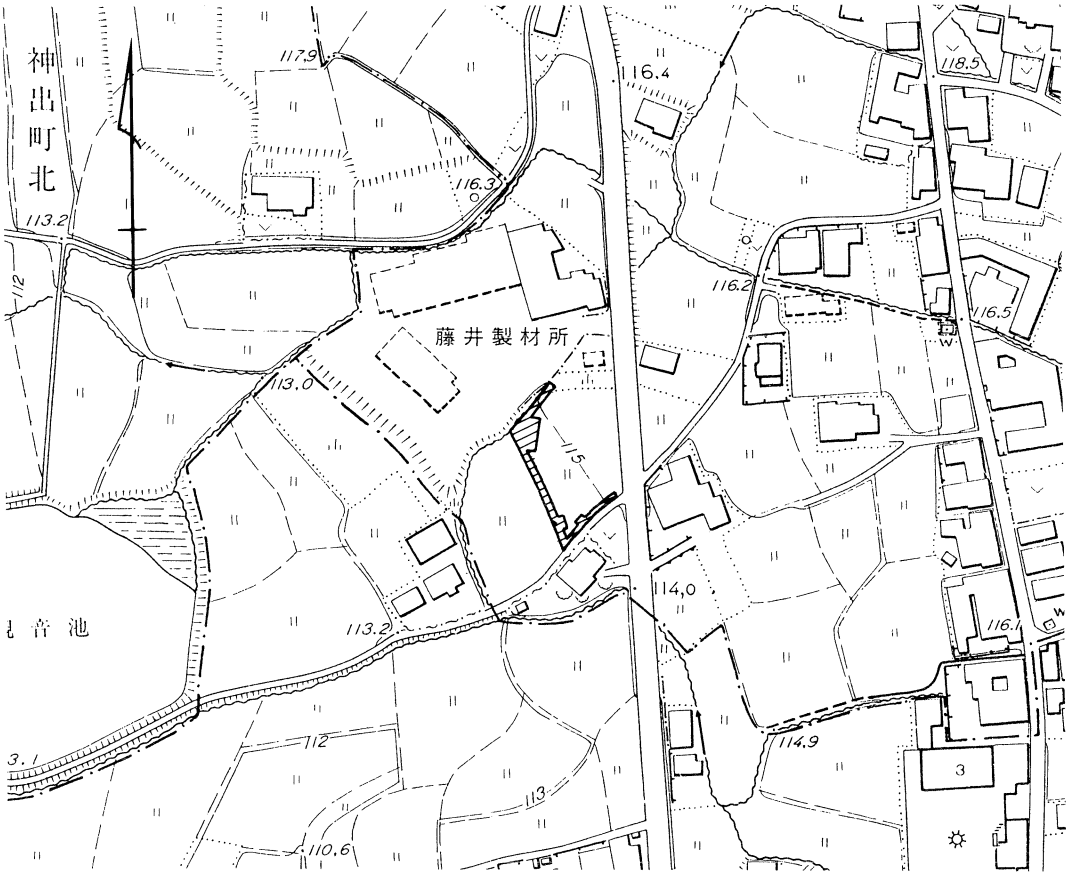



fig. 3
調査地点の位置
1：2500

**２．調査の概要**　今回の調査は店舗建築に伴い、建築予定地内の遺跡に影響する擁壁および浄化槽部分に関して行った。調査の結果、調査地全面に遺物包含層が存在し、溝、土坑、ピットなどが検出された。

**溝**　溝は２条が平行するように検出され、ＳＤ01は幅0.9～1.3m、深さ約10cm、ＳＤ02は幅30～50cm、深さ約８cmで、いずれも浅いものである。

**土坑**　ＳＸ01は、２基の土坑が連続したものとみられるが、埋土上層での切り合いはなく、前後関係は不明である。幅1.3～2.2m、長さ６m以上、深さは20cmである。粘土採掘坑の可能性もあるが明らかでない。

ＳＸ02は不整形の落ち込みで、東側へ深く落ち、深さ10cm以上である。

**ピット**　柱穴と考えられるピットは、調査地の南半部で検出された。調査範囲の制約から、掘立柱建物の規模は確認できなかったが、ＳＢ01は４間以上であり、他に数棟が存在するものと考えられる。Ｐ-12からは須恵器壺の底部が出土した。

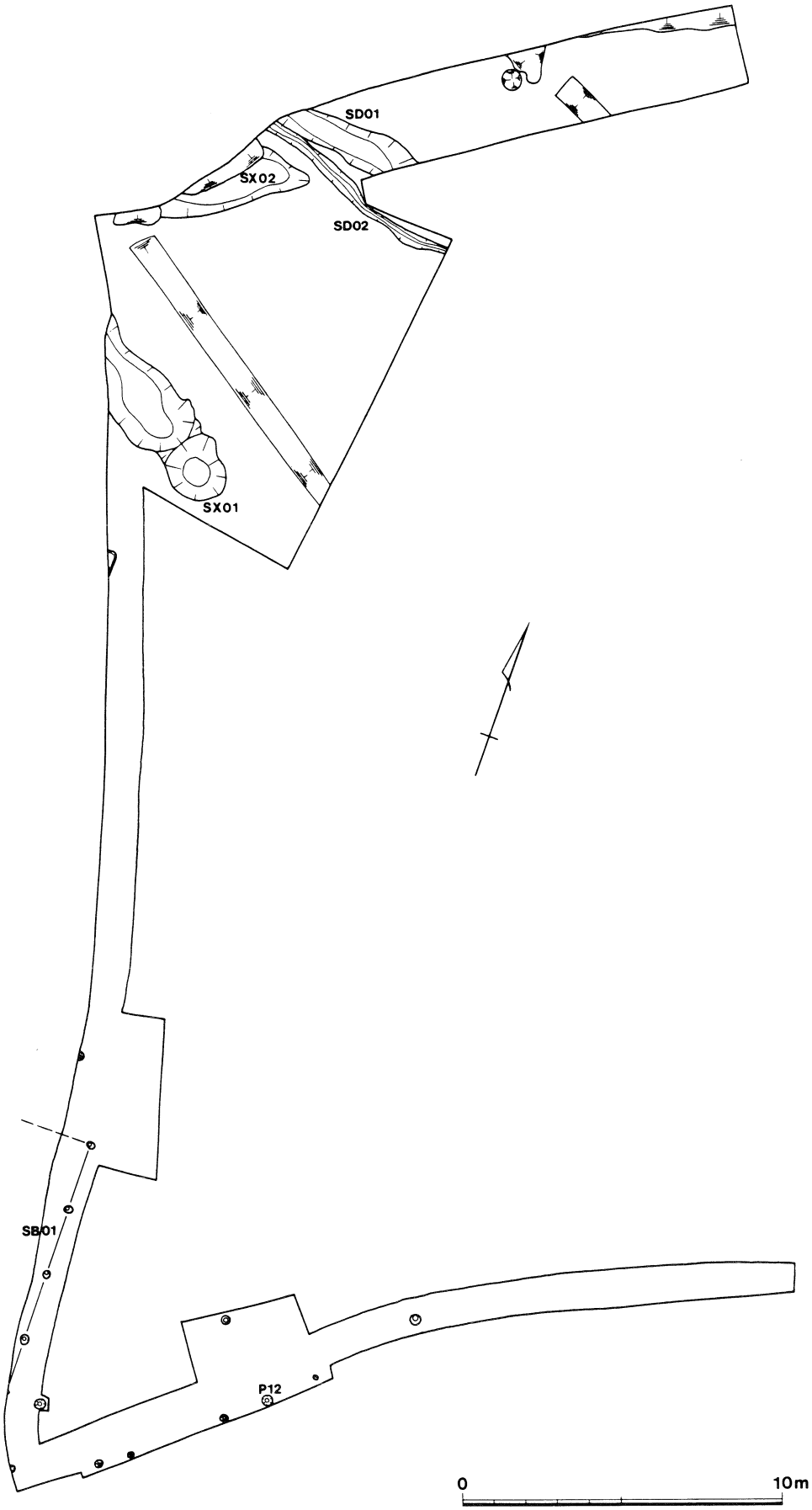



fig. 4
調査地区平面図

fig. 5　調査地区全景（南から）

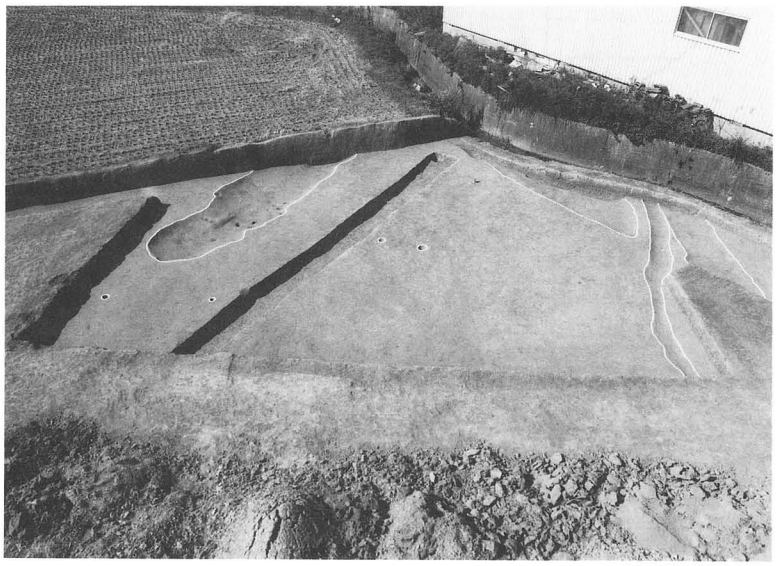


fig. 6　ＳＸ01・02，ＳＤ01・02
（東から）

fig. 7　ＳＢ01柱穴列（北から）

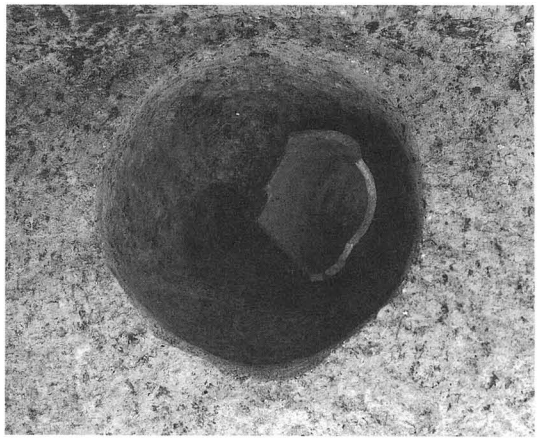


fig. 8　P 12遺物出土状況

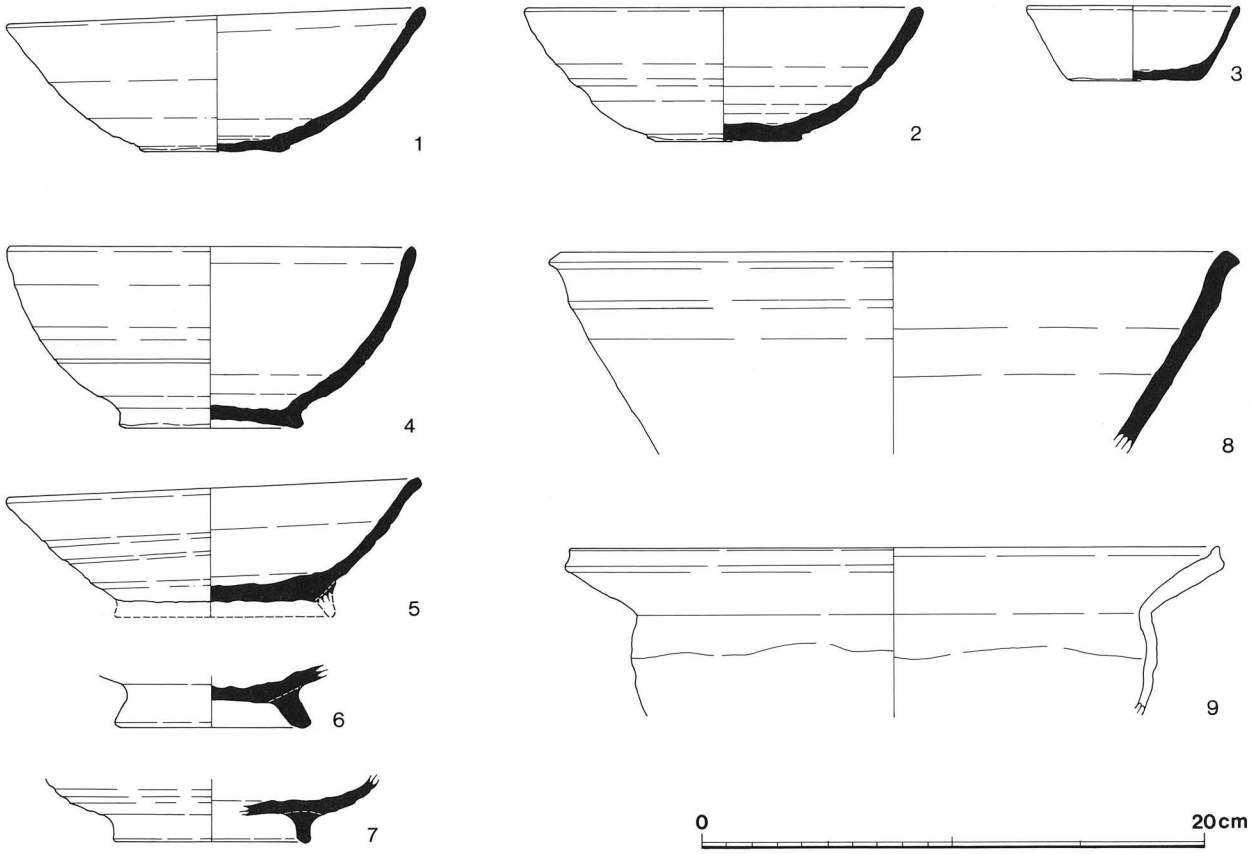



fig. 9　出土遺物実測図　　1～3　包含層　　4～9　ＳＸ01

**出土遺物**　　遺物包含層中からは、須恵器、土師器が出土し、12世紀前半を中心とする時期の遺物が多くみられる。

遺構内からは、ＳＸ01で比較的多くの土器が出土している。須恵器からは11世紀中頃の時期が考えられ、神出遺跡群のなかでは最も古い時期に属すると考えられる。

## 3．まとめ

今回の調査で、調査地の南半に掘立柱建物が検出され、この付近に集落址が拡がっていることが確認された。また、これまでの神出遺跡群内の調査では、須恵器生産に関わったであろう集落について、良好な資料が得られておらず、当該地周辺の今後の調査でこの付近にひとつの集落址が確認される可能性が高くなった。

## 2．西神（せいしん）ニュータウン内第36号地点遺跡

**1．調査の経過**　今回の調査地点は、これまでの西神ニュータウン内の発掘調査・試掘調査などから第36号地点遺跡としてマークされてきた遺跡である。遺跡の一部が、すでにニュータウンの外周道路の法面になっているために、遺跡から流出する遺物が法面に散乱しているような状況であった。

この地点で堅田地区との連絡道路の完成に伴い、自歩道を設置することになった。そこで、法面となっていたところが最大約４ｍ新たにカットされることになったため、このカット部分について発掘調査を実施することになった。

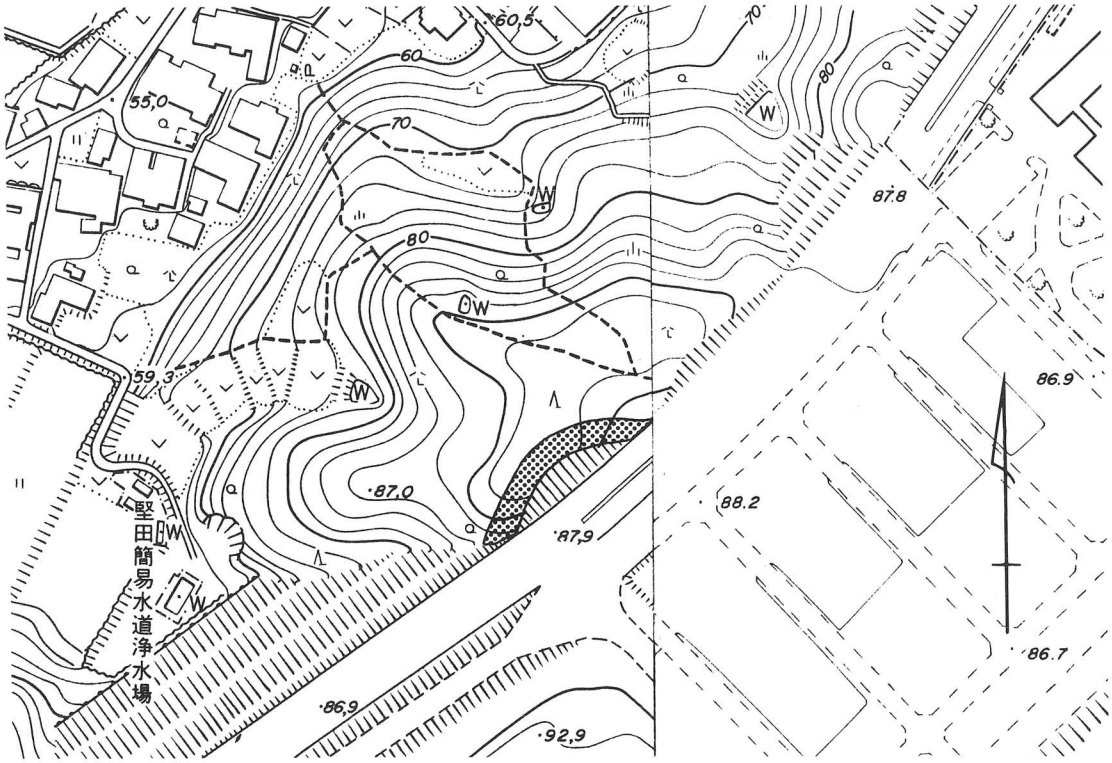



fig. 10
調査地点の
位置1：2500

**2．調査の概要**　基本層序は第１層が表土層、第２層が黄色系の流出土層、第３層が砂質の一部岩を含む地山である。

**基本層序**

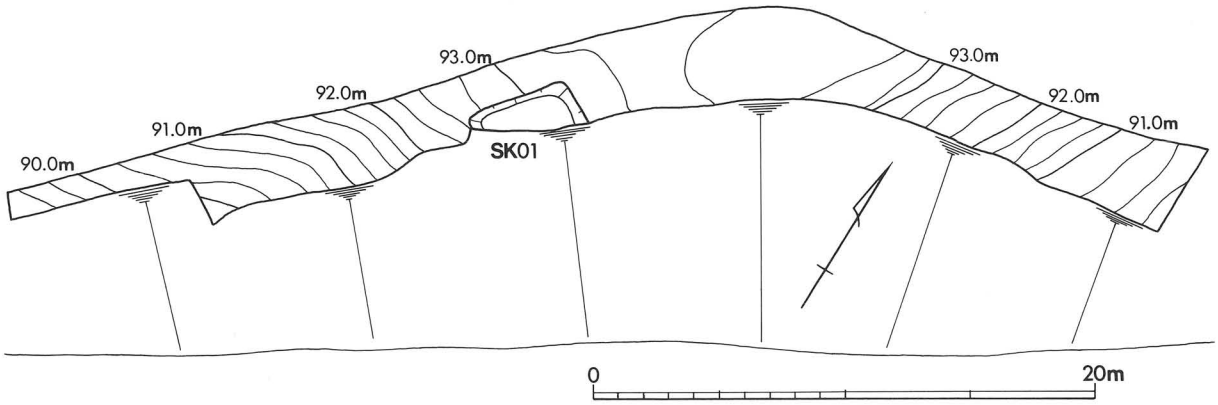



fig. 11　調査地区平面図

**遺構**　遺構は調査地内の丘陵頂部のやや南側で、一部をすでに法面としてカットされた状況で土坑が１基確認された（ＳＫ01）。

**ＳＫ01**　この土坑は長辺４ｍ以上、短辺2.2ｍ以上、深さ30cmの長方形のものである。遺構内からは、土師器の小皿が10数個体分出土している。これらは直径10cm程度で、すべて糸切り底のものである。時期的には、平安時代末～鎌倉時代前半のものと考えられる。

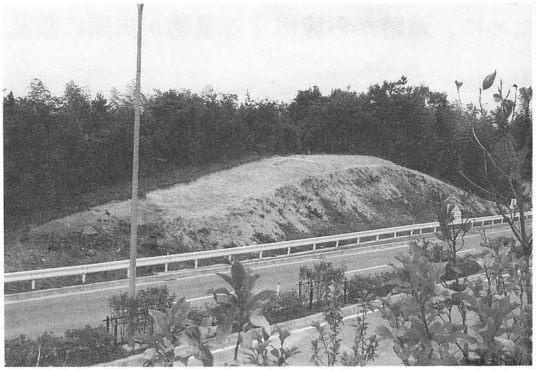


fig. 12　調査地区全景（南から）

fig. 13　ＳＫ01全景（西から）

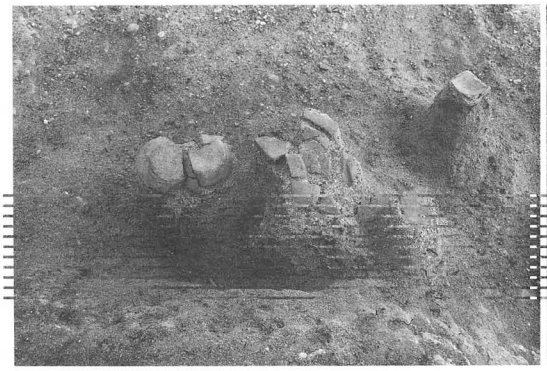


fig. 14　ＳＫ01土器出土状況（西から）

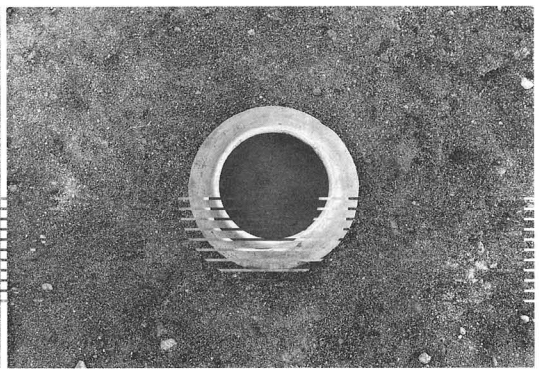


fig. 15　須恵器坏身出土状況

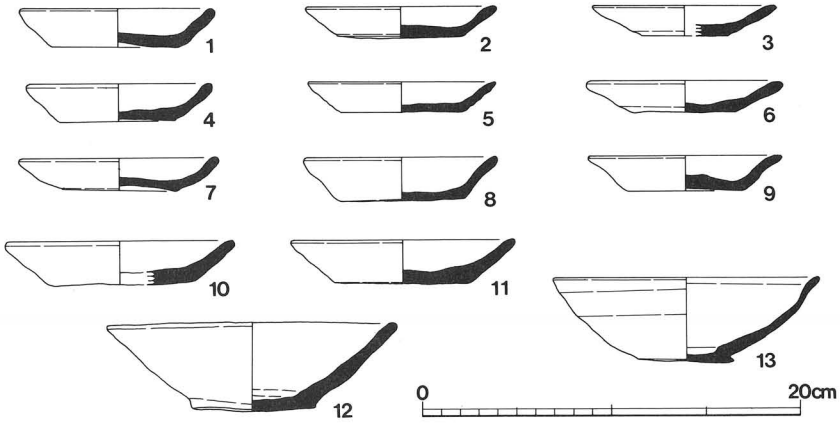



fig. 16　出土遺物実測図
1～12　ＳＫ01　土師器
13　流土須恵器

**３．まとめ**　今回の調査では、面積が狭小であったため遺構も少なく、遺物量も少なかった。しかし、丘陵頂部付近の地山面直上からは、古墳時代後期の須恵器・坏身が完形で１点出土していたり、流土からも古墳時代後期前半の須恵器が比較的まとまって出土していることから、この付近にも古墳が存在していた可能性が考えられる。この丘陵の西側には古墳時代後期の古墳が保存されており、それに関連するような古墳が存在していたかもしれない。また、このような平野部からは相当奥まった地点においても、中世の遺物を伴う遺構が存在することは、当時の生活を考える上で注目される。

# 3．玉津田中遺跡（平野地区）第５次調査

**1．はじめに**　玉津田中遺跡は明石川中流域の左岸の河岸段丘および沖積地に位置し、兵庫県教育委員会の数回にわたる大規模な発掘調査において、縄文時代～中世の複合遺跡であると同時に、大規模な弥生時代の集落址であることが確認された。

平野地区では、平成元年度より土地改良事業に伴って発掘調査が継続して実施され、弥生時代前期～中世の遺構、縄文時代後期～中世の遺物が確認されている。

**2．調査の概要**　今回の調査は、先年度の調査区域の南側に連続する排水路設置計画部分（７～10トレンチ）について行い、弥生時代前期末～中世の遺構、縄文時代後期～中世の遺物が確認されている。

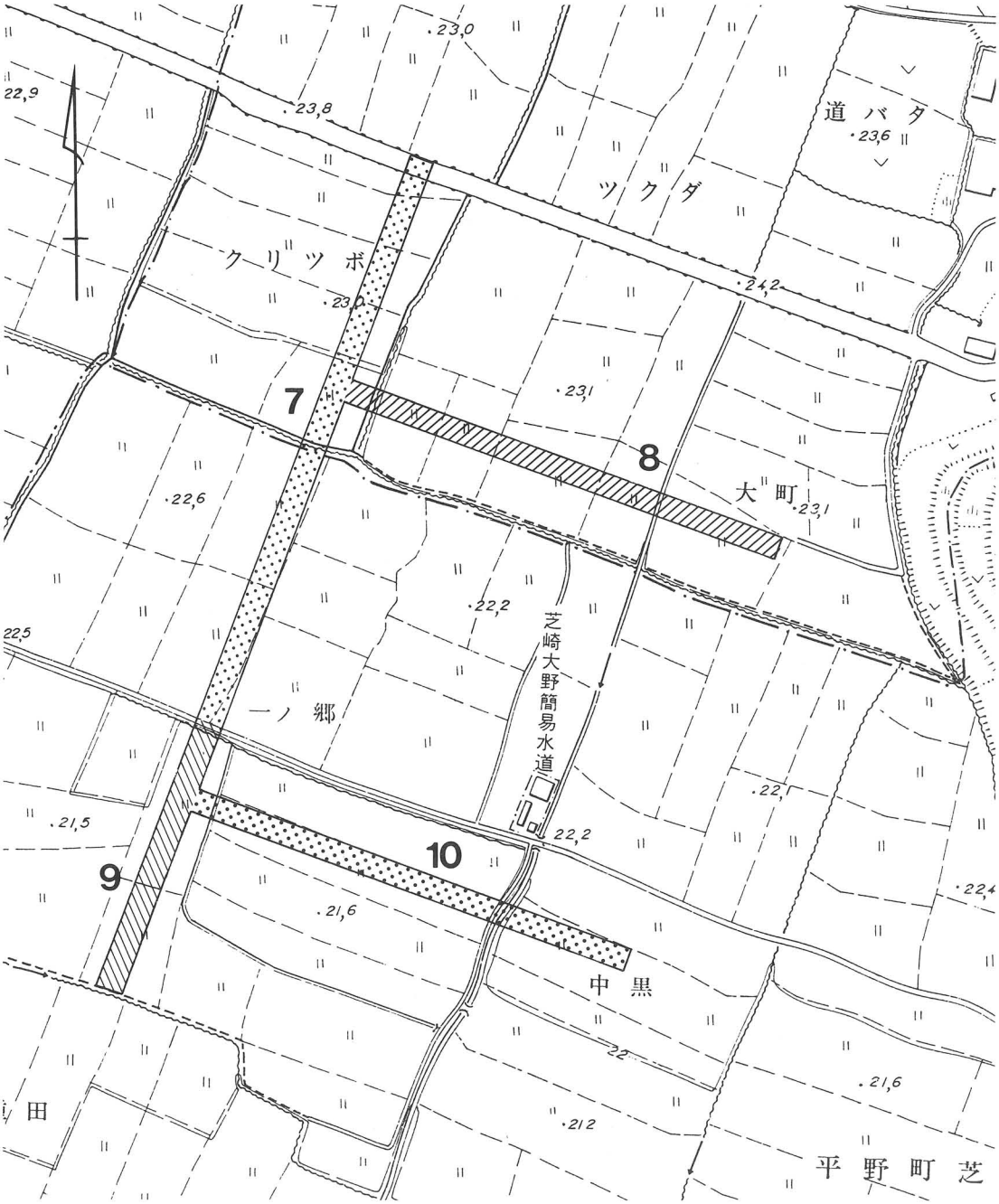



fig. 17
調査地点の
位置　1：2500

### (1) 7・8トレンチの調査

**基本層序**　現耕作土下に弥生時代から近代に至る1～4枚の耕作土壌が堆積している。耕作土壌の間層には数次の洪水による粗砂や砂礫の堆積が見られる。最下層の耕作土層の下は砂礫または、精良粘土層が堆積している。これらの層からは、縄文時代から弥生時代の遺物が出土したが、2次堆積したものである。しかし、8トレンチ東端には弥生時代中期前半の遺構面が残されている。

**第1遺構面**　7トレンチ北側を除く調査区の全域において11～13世紀の水田が検出された。8トレンチで遺存状況が良好な箇所では、畦畔や足跡が検出された。畦畔の方向は現在の圃場の畦畔とは一致せず、先年度までに確認された同時期の水田の畦畔の方向と一致する。

fig. 18　8トレンチ中世の水田面全景（東から）

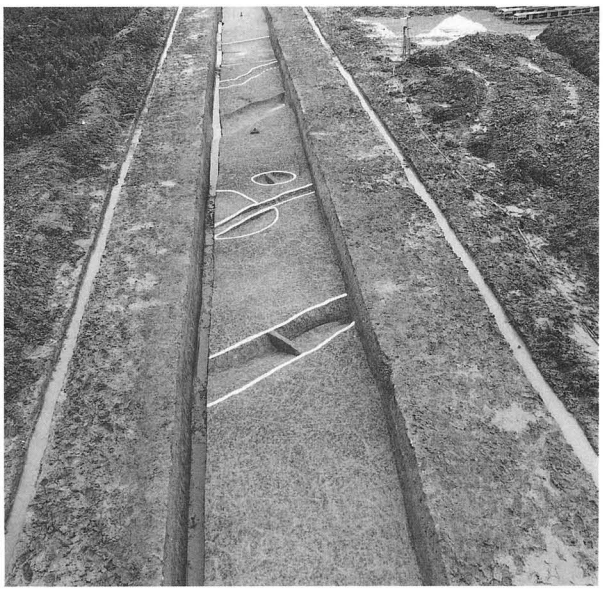


fig. 19　8トレンチ中世の遺構面全景（西から）

**第2遺構面**　7トレンチ北側付近では、現地表下約40cmで古墳時代前期の遺構面となる。この付近は微高地に当たり、現在の圃場開墾時に大きく削平されているため、当時期以降の遺構面は失われている。当時期の遺構面は、上層面および下層面に分けられる。

**上層面**　流路が4条検出された。SD707～710は南西から北東へ流下する。切り合い関係からSD710→SD709→SD708の順に形成されていることが判る。

**下層面**　流路が1条、土坑、不整形の落ち込みが検出された。

**SD702**　弧を描いて流れる可能性がある流路である。SD702の肩の痕跡と考えられる高まりが検出されたが、上層面で検出された流路の影響を受けており、断定はできない。埋土や土器の堆積状況からも確証は得られなかった。

**SK701**　調査区北端で検出された浅い方形の土坑で、性格は不明である。

**SK751**　不整形の落ち込み（SK751）も、ほぼ同時期の遺構である。後述するSD754の直上にあたる。埋土の状況から流水によるものではなく、滞水箇所に緩やかに堆積した状況がうかがえ、SD754はこの時期までに流路としての機能を終えている。

**第3遺構面**　弥生時代後期の遺構面で、流路が多数検出された。各流路の検出レベルに若干の相違があるが、切り合い状況からSD752→SD753→SD754→SD755の順に形成されていることが判る。

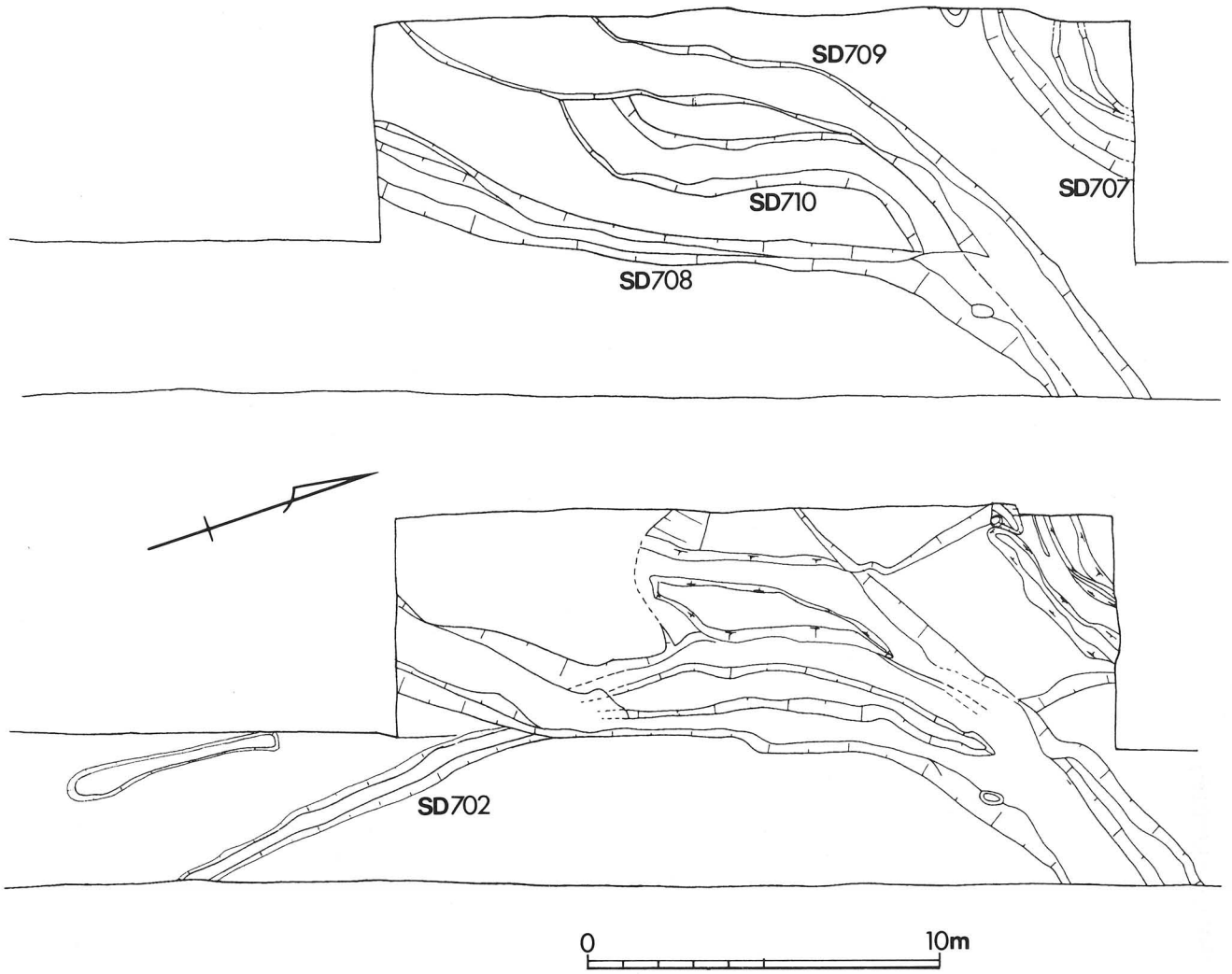



fig. 20　7 トレンチ古墳時代前期の遺構平面図（上:上層　下:下層）

fig. 21　7 トレンチ古墳時代前期の流路（上層）（東から）

fig. 22　7 トレンチ古墳時代前期の流路（下層）（東から）

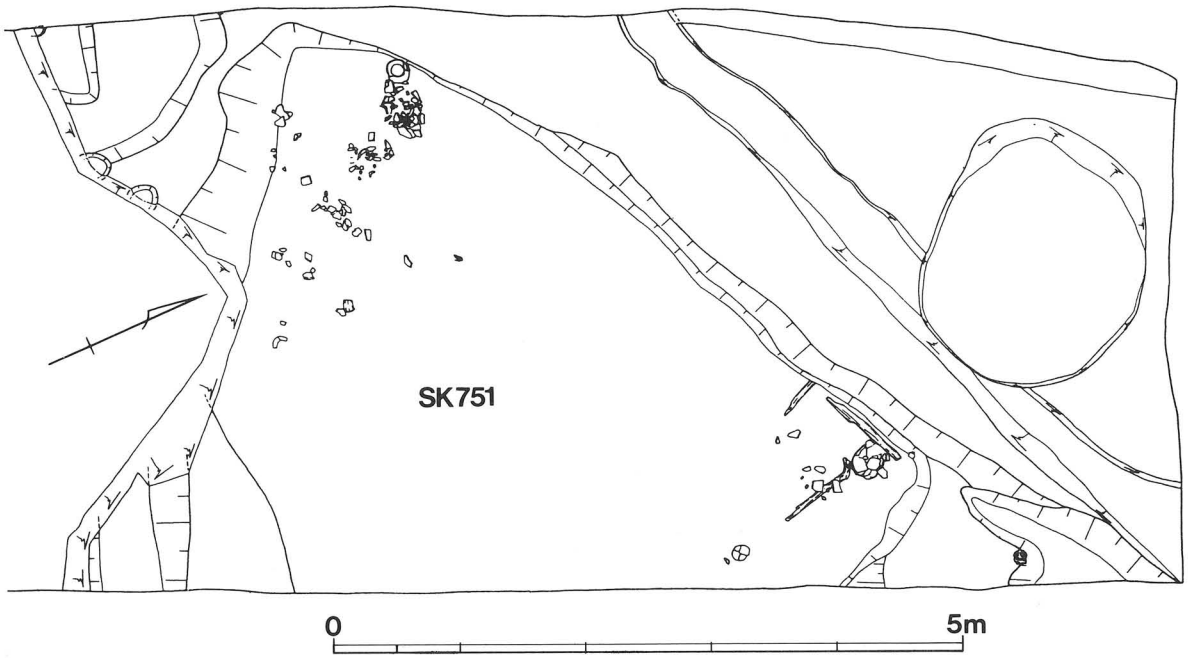



fig. 23　7トレンチ北端古墳時代の流路平面図

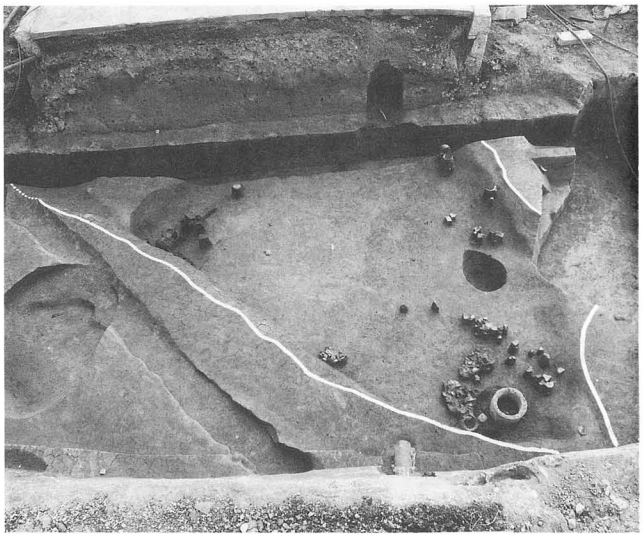


fig. 24　ＳＫ751全景（西から）

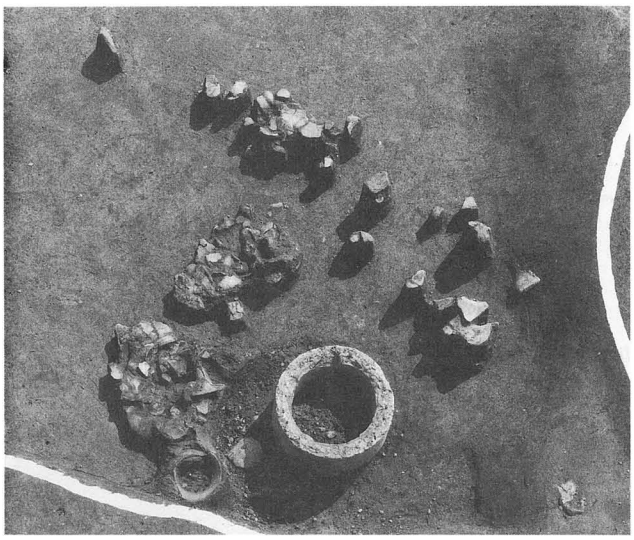


fig. 25　ＳＫ751土器出土状況（西から）

**ＳＤ752**　北東から南西に流れ、先年度調査のＳＤ602と同一の流路である。東肩部分で杭が３本、ほぼ等間隔で検出された。

**ＳＤ753**　先年度調査時に検出されたＳＤ603と同一の流路である。

**ＳＤ754**　東から西へ流れる流路で、土器と木製遺物をはじめとする植物遺体が残されていた。

**堰**　ＳＤ752とＳＤ754の合流部で、堰状の木組が検出された。杭を斜めに打ち込み、横木を渡して組んでいる。杭は直径約５㎝、長さ50～60㎝で、杭の間に、枝打ちした自然木、板、加工木などを横に渡している。

堰の周辺からは、鋤や織機などの木製品を初め、多くの植物遺体が検出された。木製品のうち、厚さ４㎜の板を台形に加工した製品は、先年度出土した鳥形木製品の胴部から約４ｍ離れた地点で出土した。同一の流路からの出土ではないが、中央部の穿孔が胴部の穿孔と一致し、鳥形木製品の羽の部分である可能性が高い。

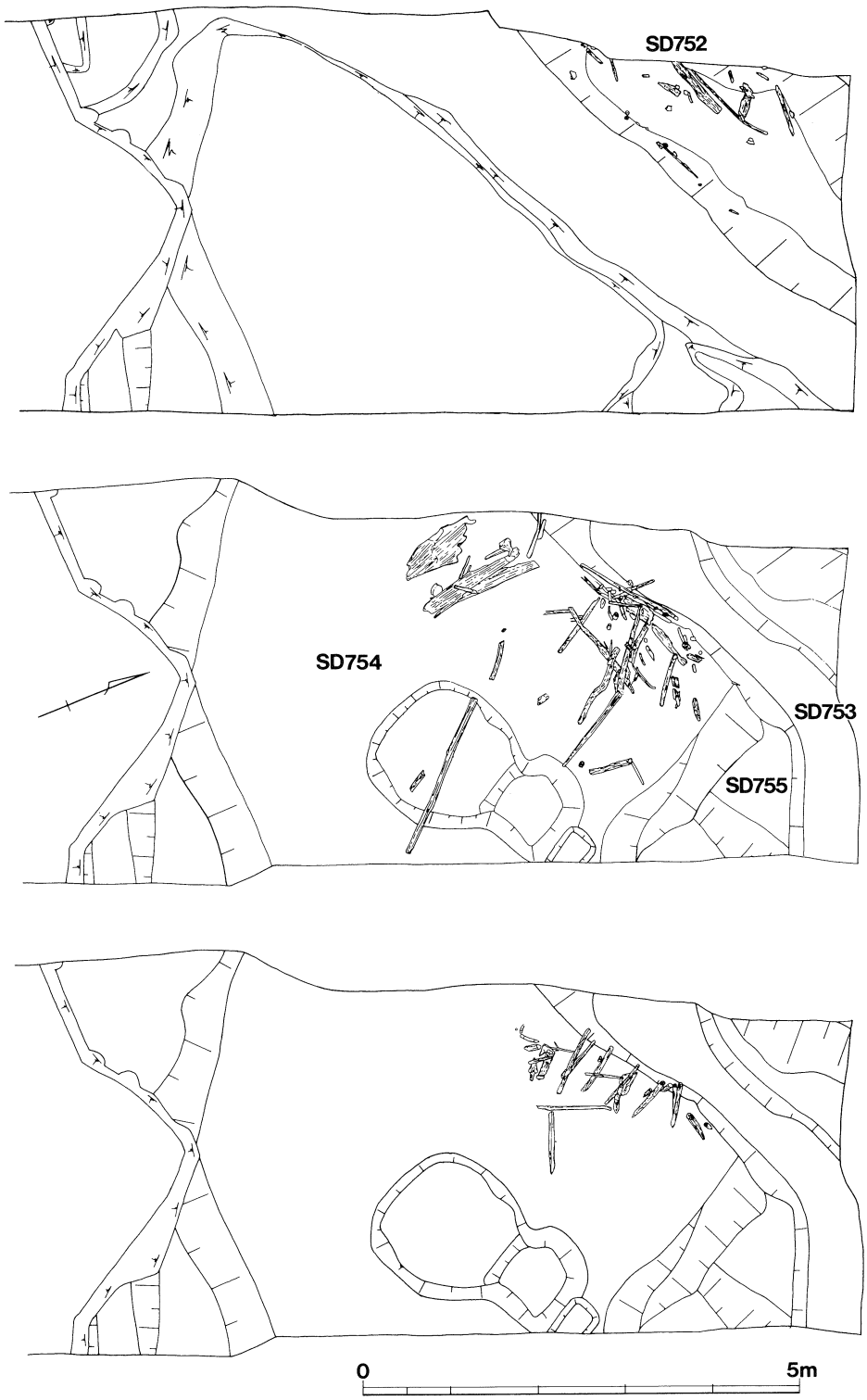



fig. 26　７トレンチ北端
弥生時代後期の
流路平面図

**第４遺構面**　７トレンチ北側部分の微高地および流路の影響を受けている箇所を除き、今年度の調査区ほぼ全域で弥生時代後期以前の水田が確認された。

７トレンチ北半部分は遺存状況が悪く、畦畔の痕跡が検出されただけの箇所もあるが、良好に遺存している南側部分では、圃場面が洪水砂で覆われており、畦畔、足跡、水口が良好に検出された。また、８トレンチでは、調査区の約３／４が洪水の影響を受けており、東端部分で比較的良好な水田面を検出した。

fig. 27　ＳＤ752近景（東から）

fig. 28　ＳＤ753～755全景（西から）

fig. 29　堰近景（南から）

fig. 30　一木鋤出土状況

**水田**　北半部分の水田の形状や並びには規則性は見られないが、南半部分では水田35と水田36の間に流れる流路の方向に平行して大畦が築かれており、水田の形状や並びに規則性が見られる。なお、水田20は、畦の遺存状況が悪く水田の区分が明確ではない。２つの水田に分かれる可能性がある。

水田37と水田39の間では、緩やかな斜面と自然流路が確認された。緩斜面は水田の可能性があるが、畦が検出されず明らかにしがたい。

**水配り**　水口が確認された水田37以外は、流水方向が特定できない。水口には斜め方向に板を差し込んであり、水位を調整していたと考えられる。

**足跡**　多数の足跡が検出されたが、歩行状態は不明である。指の痕跡を残すものが数例あった。

**耕起痕**　平行して２条、耕起痕が検出された。幅約10㎝、深さ５㎝程度である。

**時期**　畦畔や耕土中からの遺物の出土は少なく、これらから時期を確定することはできない。層位的には弥生時代後期以前の時期と考えられる。なお、９トレンチで検出された弥生時代の下層水田は存在しなかった。

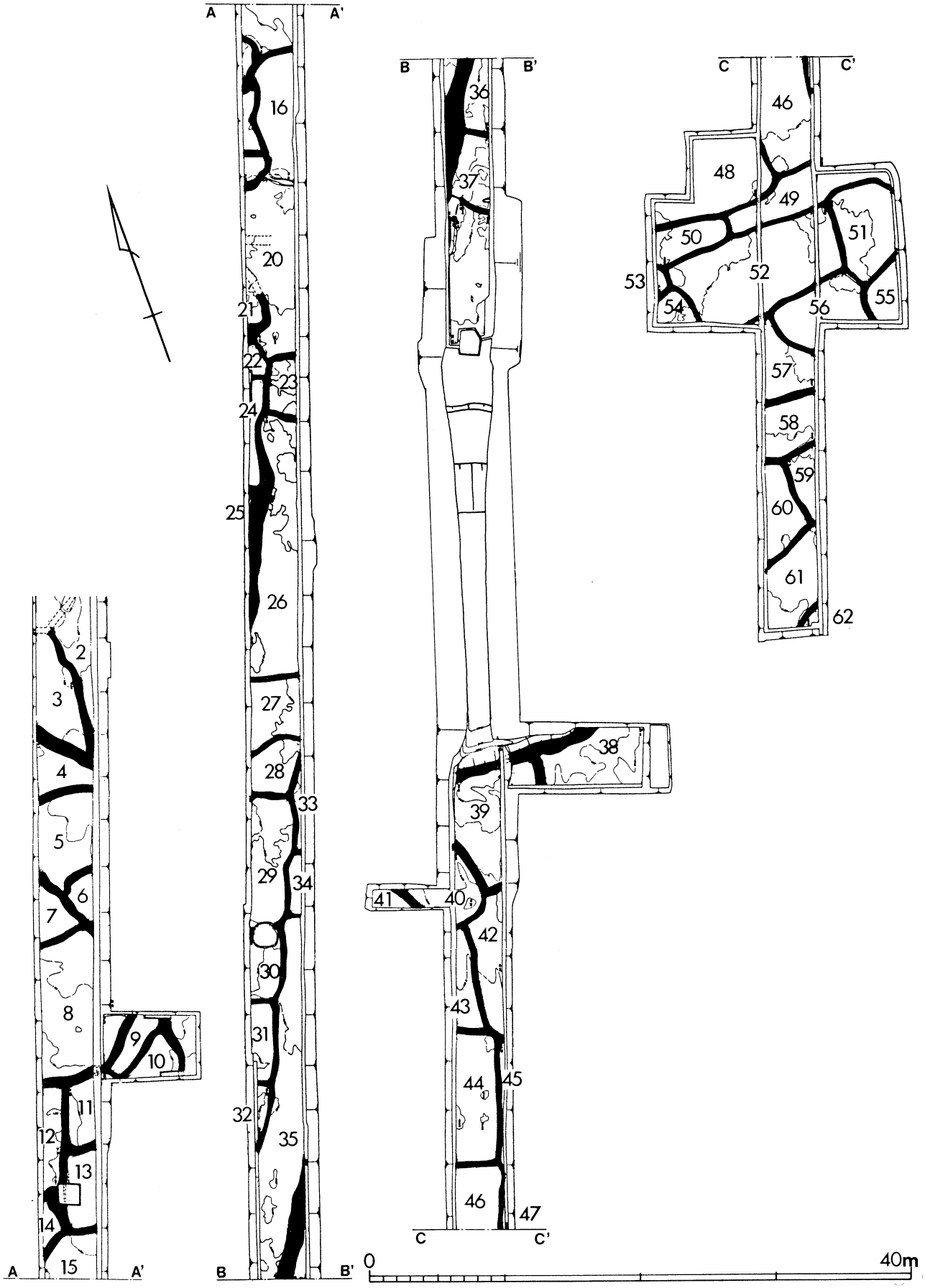



fig.31　7・9トレンチ弥生時代の上層水田平面図

fig. 32　7トレンチ弥生時代の上層水田近景（南から）

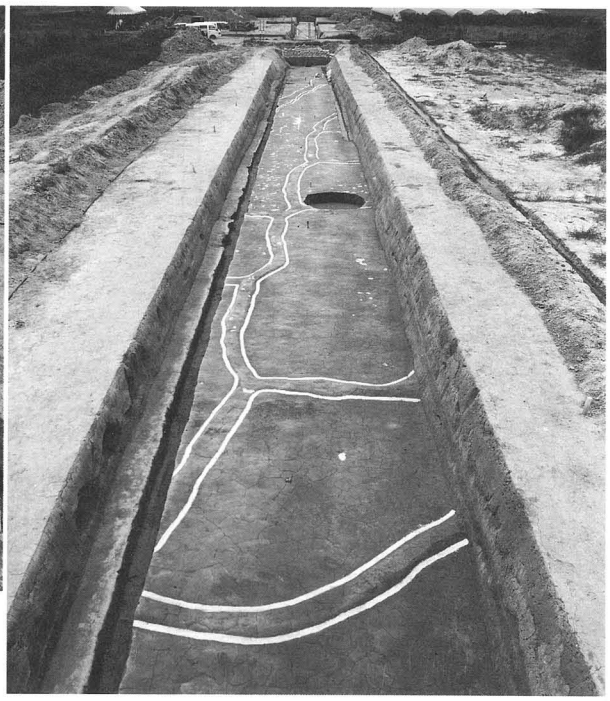


fig. 33　7トレンチ弥生時代の上層水田全景（北から）

**第5遺構面**　水田面下で、黒灰色シルトをベースとする面が検出され、南北方向に延び、東へ落ちる遺構の肩が約70m検出された。形状から自然流路と考えられる。埋土からは縄文時代から弥生時代中期の遺物が少量出土した。

**第6遺構面**　8トレンチ東端で検出された弥生時代中期前半の遺構面では、土坑、溝が検出された。

**SK801**　不整形土坑で、甕と焼木・炭が出土した。遺構の壁面に火を受けた痕跡は認められない。

**SK802**　甕が2個体検出された。

**SK803**　規模は不明で、遺物の出土はない。

**SB801**　遺構の一部を検出したにとどまるが、弧を描く形状と周囲に溝を巡らすことから竪穴住居址である可能性が高い。

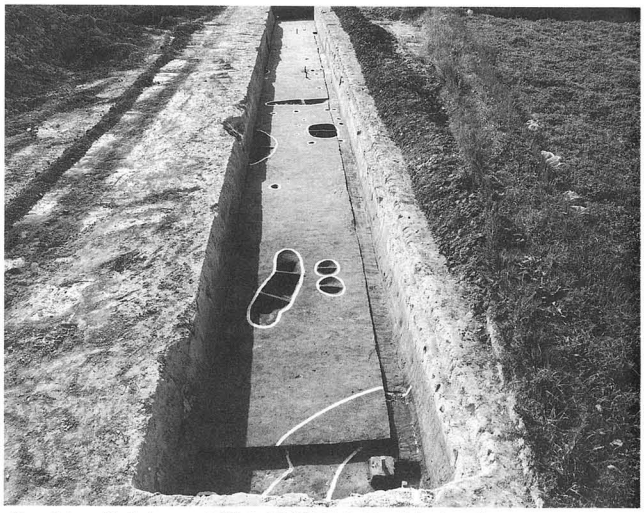


fig. 34　8トレンチ第6遺構面全景（東より）

fig. 35　SK801近景（北より）

### (2) 9トレンチの調査

**基本層序**　9・10トレンチともに、耕土、床土の下層に２～５層の旧耕土層が存在し、旧耕土層の下層上面が中世の遺構面となる。その下層は洪水砂層と水田層が互層となっており、最下層水田層のさらに下層は、水分を多く含むシルト層である。６面の遺構面が確認された。

**第１遺構面**　旧耕土層の下層上面で検出された遺構面である。時期の詳細な推定は難しいが、中世の遺構面と考えられる。拡張区も含めて、柱穴19基、杭列状遺構１箇所、溝１条（ＳＤ101）が確認されている。

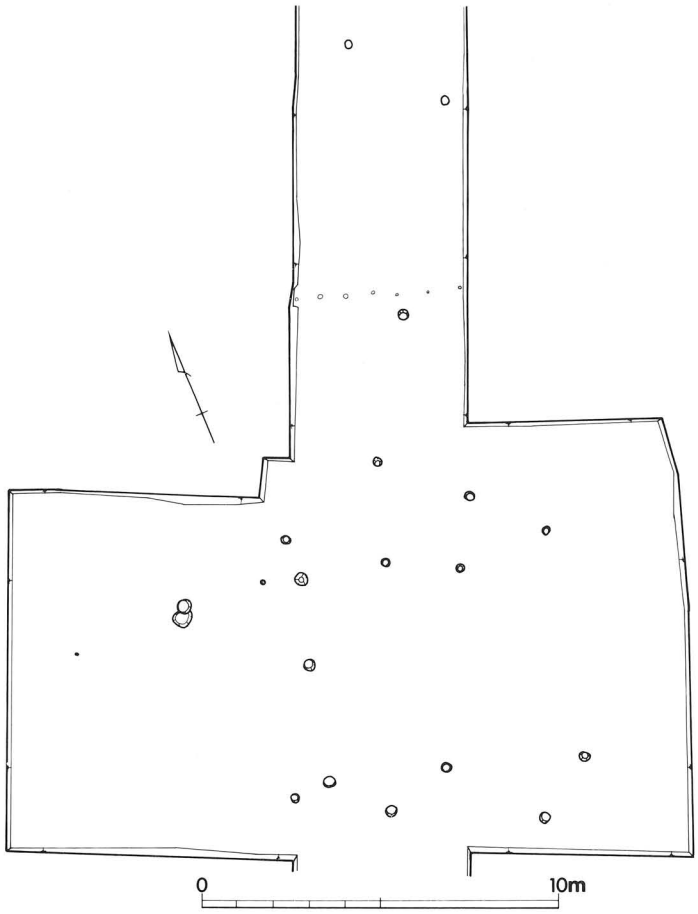



fig. 36　9トレンチ第１遺構面平面図

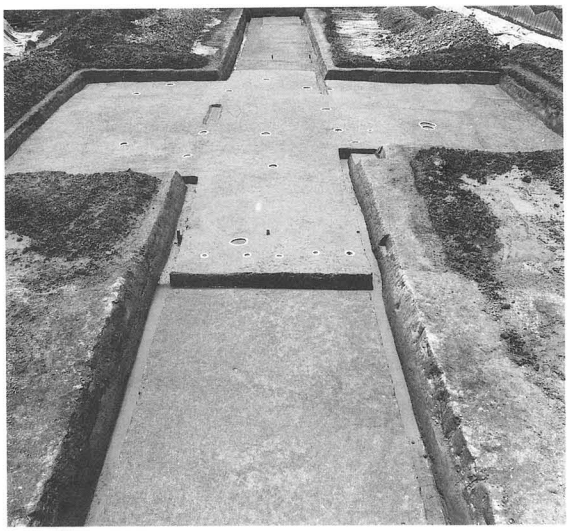


fig. 37　9トレンチ第１遺構面近景（北から）

**第２遺構面**　第１遺構面下層の厚く堆積した洪水砂層の下層で検出された水田面である。水田層とそれを覆う洪水砂層からの遺物の出土がないため、その時期は不明である。

**第３遺構面**　第２遺構面の水田層の下層の洪水砂層を除去した段階で検出された水田面である。水田層の遺存度がかなり悪く、トレンチの南端あたりの一部で確認された程度である。第２遺構面と同様に、水田層とそれを覆う洪水砂層からの遺物の出土がないため、その時期は不明である。

**第４遺構面**　７トレンチから連続して検出された水田面である。９トレンチでの遺物の出土はほとんどみられないが、７トレンチでは弥生時代中期～後期の遺物が、水田層とそれを覆う洪水砂層から若干出土しており、水田の時期を推定する指標になるものと考えられる。

**第５遺構面**　第４遺構面の水田層下層の洪水砂層上面で検出された遺構面で、トレンチの南端あたりで、溝が１条（ＳＤ102）確認されたのみである。遺物の出土はない。

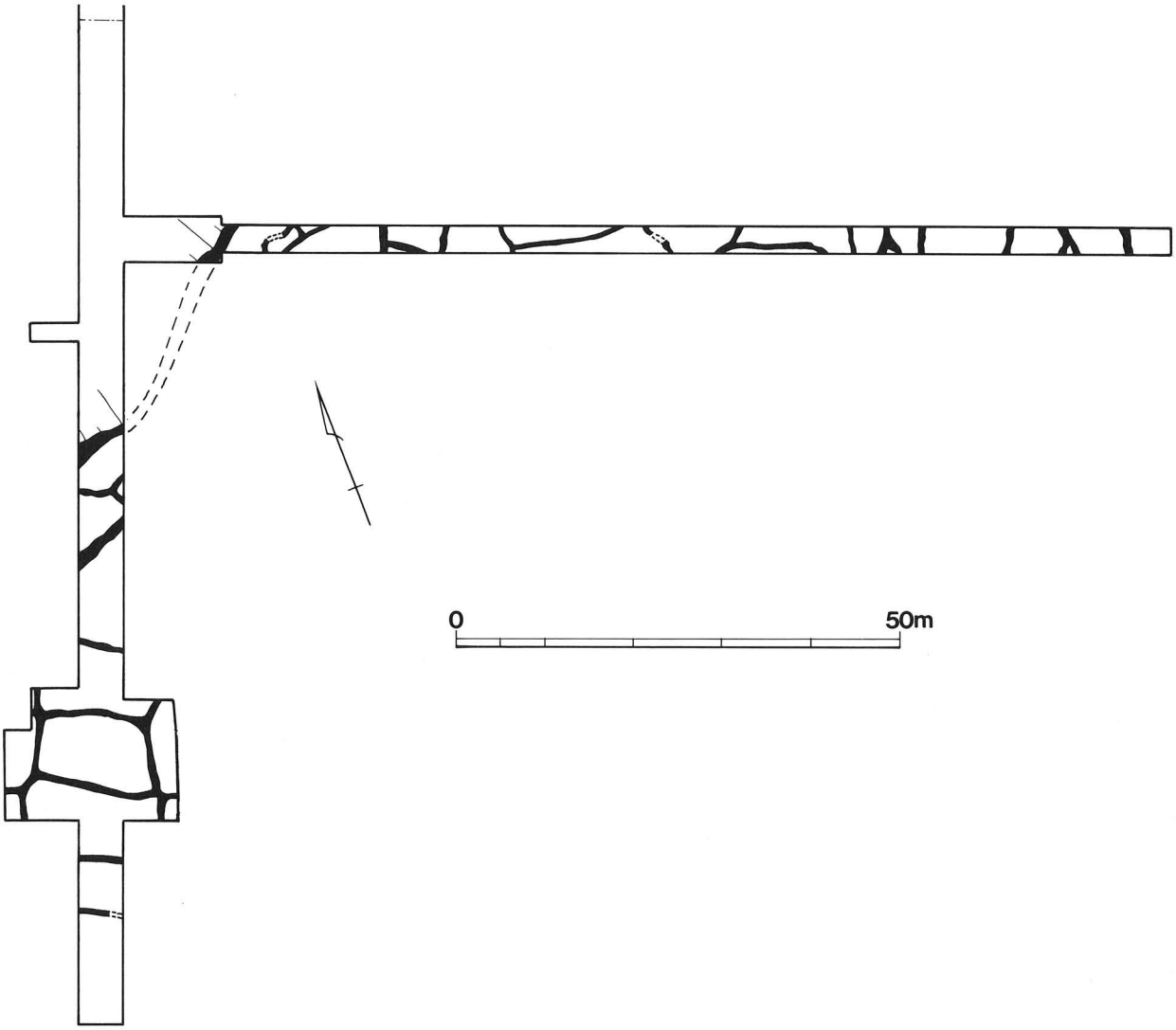



fig. 38　9・10トレンチ第2遺構面平面図

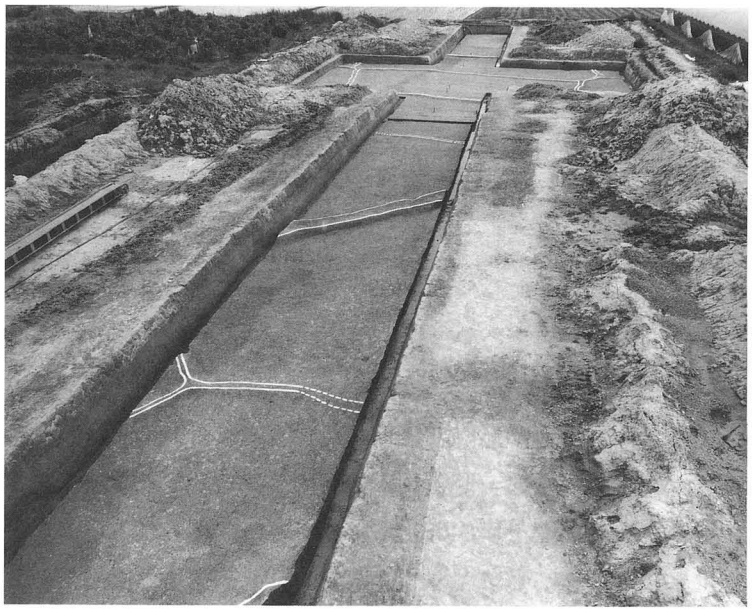


fig. 39　9トレンチ第2遺構面近景（北から）

fig. 40　10トレンチ第2遺構面全景（西から）

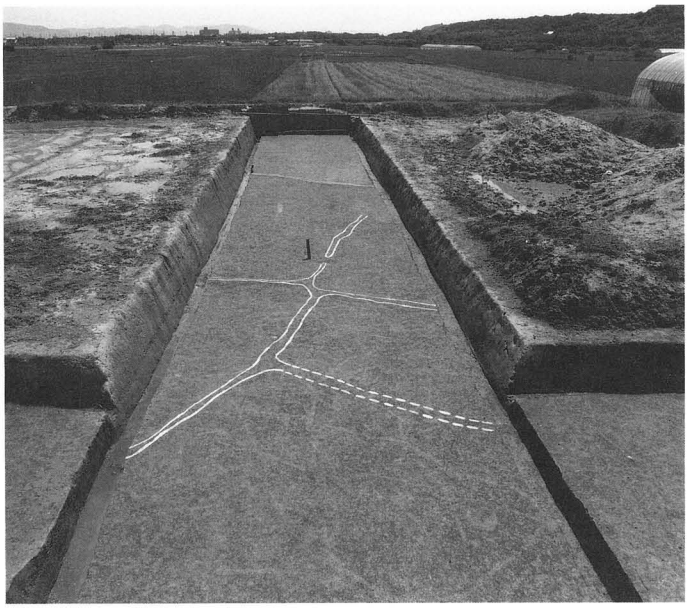


fig.41　9トレンチ第3遺構面近景（北から）

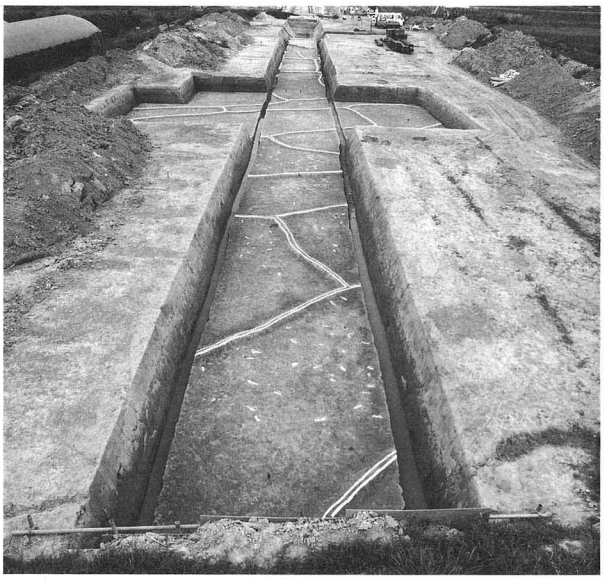


fig.42　9トレンチ第4遺構面全景（南から）

fig.43　9トレンチ第4遺構面近景（南から）

**第6遺構面**　9トレンチにおいて検出された最下層の水田面である。上層の水田面とはその様相がかなり異なり、1区画の平均面積が7～8㎡程度の小規模な区画である。また、南北方向の畦畔がほぼ等間隔で、その間を東西方向の畦畔が任意に区画するような形状を呈し、整然とした水田配置となっている。

この水田面の時期は、水田層とそれを覆う洪水砂層から弥生時代前期末～中期初頭の遺物が認められるものの、特定するには至っていない。

**流路**　7トレンチと9トレンチの境界あたりに、北東方向から南西方向に流れる大規模な流路が走っており、かなり長期間にわたって機能していたと考えられる。この流路の創世期は不明であるが、第1遺構面下層の洪水砂層によって、完全に埋没し、廃絶に至っている。

流路内からは縄文時代後期～古墳時代の遺物が確認されているほか、加工木の破片も確認されている。

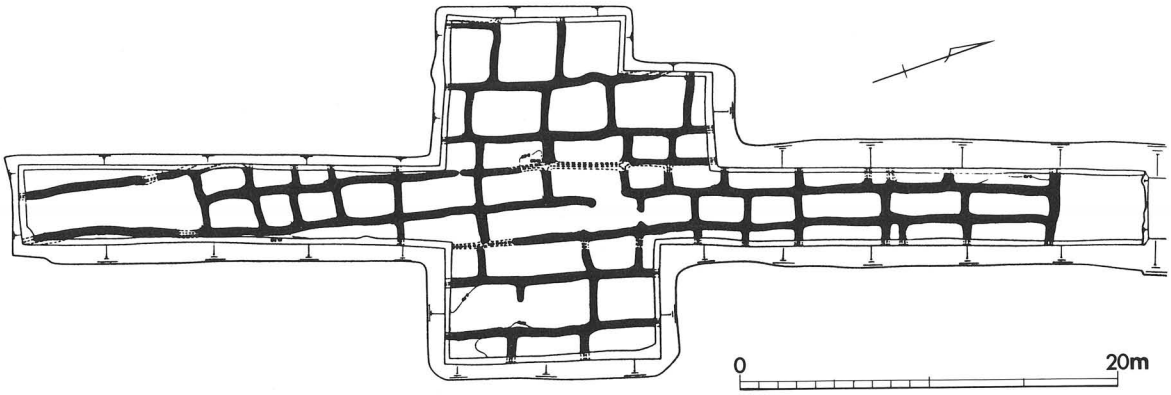



fig. 44　9 トレンチ弥生時代の下層水田平面図

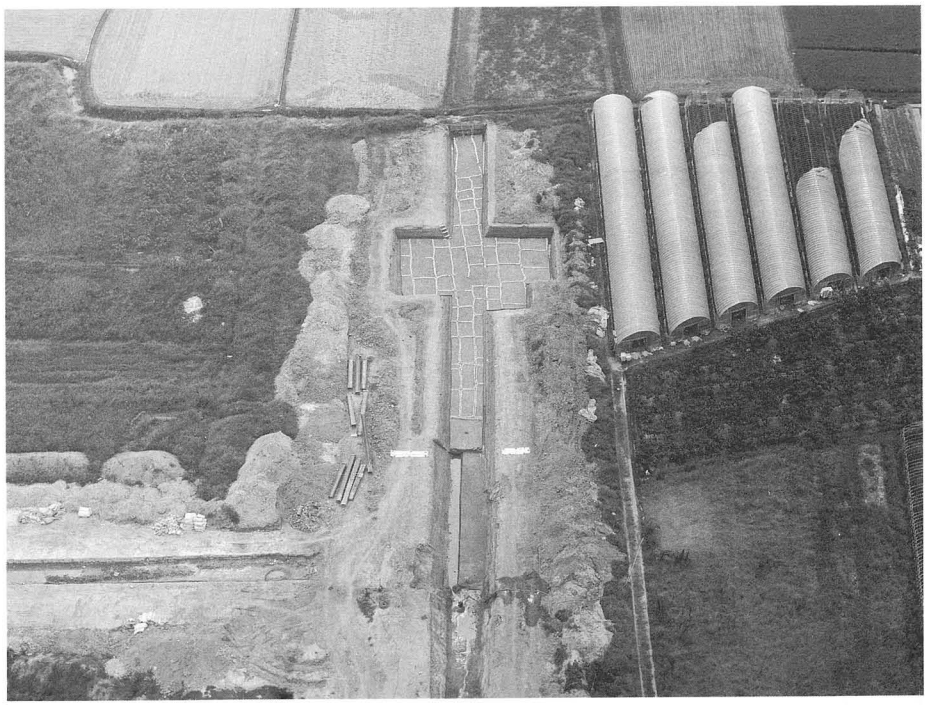


fig. 45　9 トレンチ弥生時代
の下層水田全景（北から）

fig. 46　9 トレンチ下層水田近景（西より）

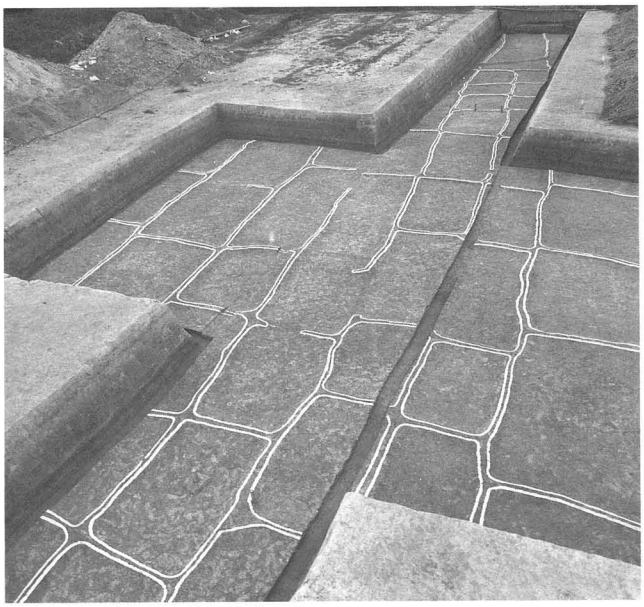


fig. 47　9 トレンチ下層水田近景（南より）

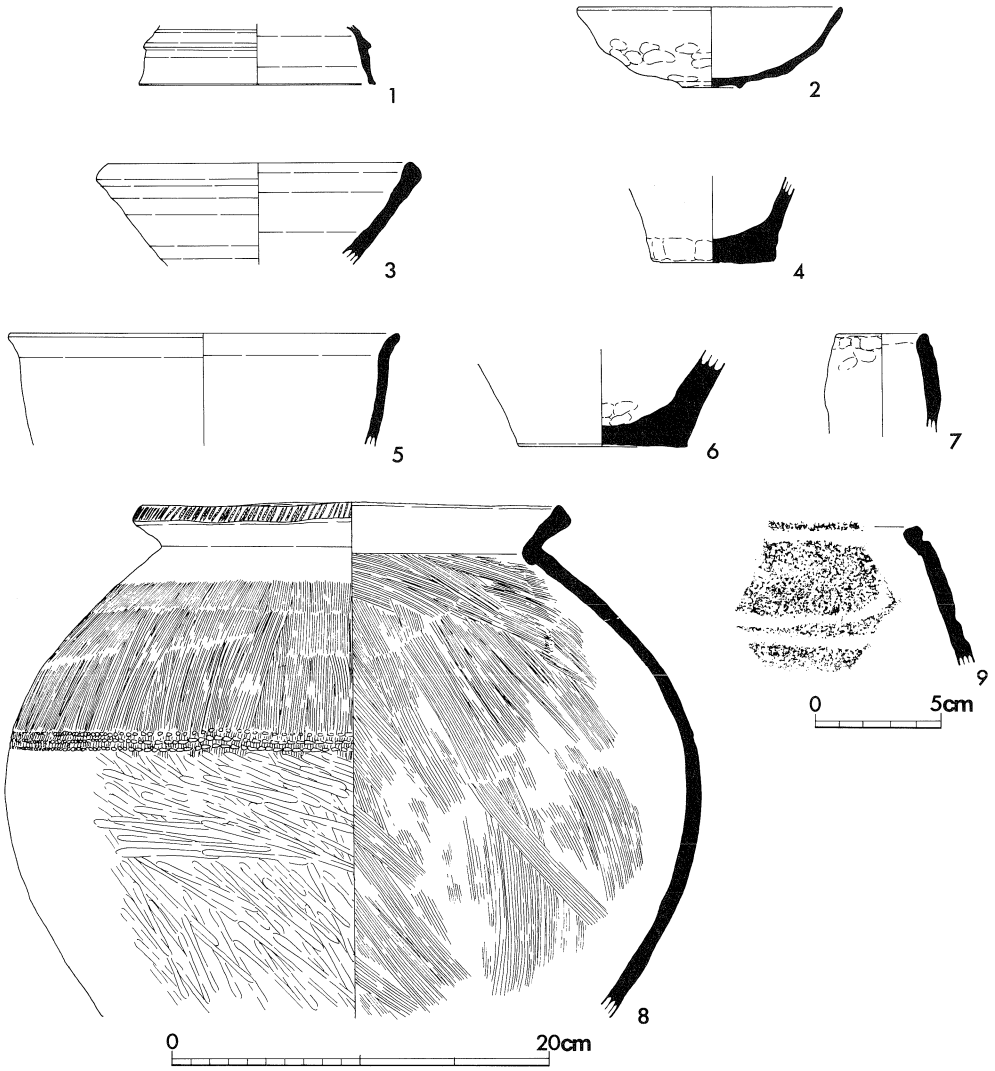



fig.48　9トレンチの出土遺物実測図

1～3　旧耕土
4　上層水田
5～9　流路内

(3)　10トレンチの調査

今年度の調査は、事情により、工事の影響深度までは至らなかったが、２面の遺構面が確認されており（東端部は１面のみ）、それぞれ９トレンチの第１遺構面、第２遺構面にあたる遺構面である。

**第１遺構面**　旧耕土層の下層上面で検出された遺構面である。東端部で６条の溝状遺構（ＳＤ201～206）が確認されただけで、詳細な時期も不明である。

**第２遺構面**　９トレンチ第２遺構面の水田面に相当する遺構面であると考えられる。畦畔が数箇所において確認されたが、トレンチの幅が３ｍと小さいため、水田区画の規模は不明である。また、９トレンチと同様に水田層とそれを覆う洪水砂層からの遺物の出土がないため、時期の推定も難しい。

## ３．まとめ

今回の調査地は、明石川東岸の沖積地に位置しており、氾濫の影響を受けやすい地域である。今回の調査地も含めて、過去の調査においても、幾層もの洪水砂層が確認されており、かなり以前から、水利は良いものの、水による被害も多かったように思われる。

今回の調査においては、特に、９トレンチで４面にわたる条里制施行以前の水田面が確認されており、大規模な水田運営の一端を垣間見た感がある。確認された４面の水田面は、水田区画や畦畔の規模、あるいは畦畔の方向性などがそれぞれ異なり、中には、遺存が悪

いため、その実態がよくわからなかった水田面もあるが、足跡や水口が比較的明確に認められ、水田資料としては良好である。これは度重なる洪水による微地形の変化が、その立地や水利に影響を及ぼしていることが、要因であると考えられる。

それぞれの水田面の詳細な時期は不明であるが、弥生時代前～中期頃からそれ以降の水田面であり、水田形状の変遷などがある程度理解することができた。また、先年度調査の6トレンチでは水田層が確認されておらず、ＳＤ601およびＳＤ603が生産域を画したものと考えられる。さらに、当地域の東側丘陵上からその裾部にかけて存在する集落との関連が、今後の課題のひとつとして挙げられる。

7トレンチ北端では弥生時代後期の溝が多く検出されており、古墳時代前期まで流れを変えながら継続して流れている。今回堰状の遺構が検出されたことで、先年度調査のＳＤ603は、人為的な用水管理を行っていたことが追認できた。

弥生中期前半の遺構は、平野地区では丘陵上での遺構が確認されているが、沖積地での検出は初めてである。8トレンチ東端で検出された遺構は住居址の可能性もあり、この時期の集落の立地を知る資料となる。また、今年度の試掘調査において、弥生時代中期前半の良好な包含層が検出されており、集落が丘陵裾付近にも立地していたと推定される。

# 4．印路（いんじ）遺跡

**1．はじめに**　当該地は、明石川右岸の氾濫原上に位置しており、印路遺跡の南端に位置する。周辺には、玉津田中遺跡、中村古墳群、印路群集墳などが存在する。印路遺跡は、昭和63年度からの調査で、旧石器時代から近世に至るまでの遺構・遺物が確認され、長期間にわたる複合遺跡であることが明らかになっている。

この度、県道野村明石線の道路拡幅計画に伴い、試掘調査を平成２年11月16日に実施した。その結果、７箇所設定した試掘坑のうち１箇所より、遺物包含層と下層に水田土壌が確認されたため、当該地において、埋蔵文化財に影響を及ぼす擁壁部分について発掘調査を行うこととなった。

fig. 49
調査地点の
位置　1:2500

**2．調査の概要**　調査は、遺物包含層上面まで機械で掘削し、以下を人力により掘削・精査を行った。

**第１遺構面**　淡灰褐色粘性砂質土層掘削後、淡灰色砂質土層上面で検出した。１トレンチでは、耕作痕と思われる細い溝状遺構を検出した。３トレンチ西端では、南北方向の幅約１ｍの溝（ＳＤ01）、２・４トレンチでも、南北方向の幅約１ｍの溝を検出した。覆土中からは、須恵器・土師器の小片が出土している。

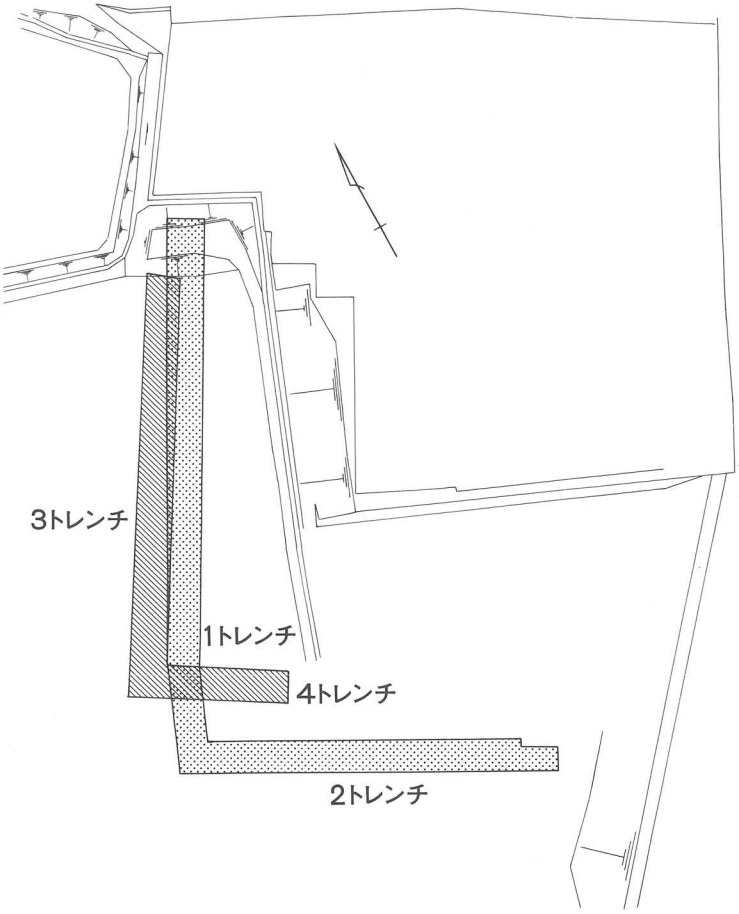



fig. 50　調査区設定図　1:500

fig. 51　1トレンチ第1遺構面全景（北から）

fig. 52　2トレンチ第3遺構面全景（東から）

**第2遺構面**　上層の水田面である。畦畔は1・3トレンチ南半、および2トレンチ中央部で確認した。畦畔の高さは約10～15cmである。水田耕土と思われる土壌の上面には、足跡状のくぼみが存在した。覆土には時期不明の須恵器の小片を含んでいた。

**第3遺構面**　青灰色シルトの無遺物層を挟んで検出した下層の水田面である。調査区の南西部は、顕著に洪水砂が覆う。畦畔は、1トレンチ南半、2トレンチ、3トレンチの中央、そして4トレンチの西半で検出した。

水田区画は、等高線に沿うように、北東から南西の方向に長い畦畔をつくり、その間を直交する短い畦畔で区切っていたようである。

畦畔どうしは十字に交わる箇所はなく、すべてT字形に交わる。

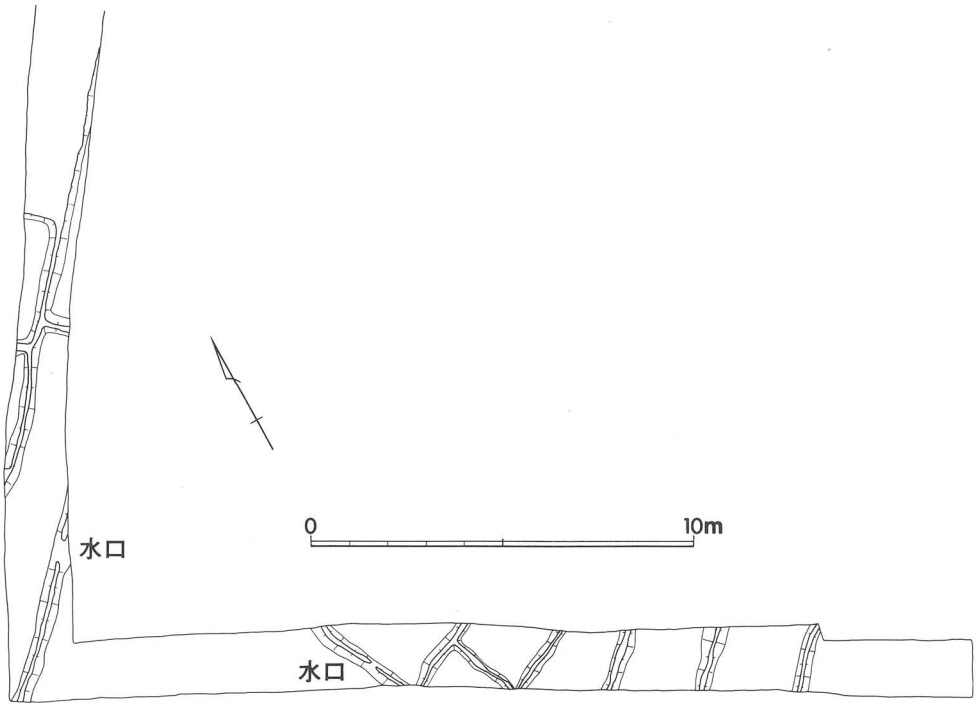



fig.53　1・2トレンチ
第3遺構面平面図

fig.54　1トレンチ南半第3遺構面近景（北から）

fig.55　2トレンチ畦畔の断面

畦畔の大きさは、高低差の少ないところでは幅約30cm、高さ約10cm、高低差のあるところでは、幅約50cm、高さ15cm程度である。

水口は、1トレンチの南端と、2トレンチの西端の2箇所で検出した。

1・3トレンチの北半は、微高地になる。また、2トレンチの西端部分が、一番低くなっている。ここは、断面観察では洪水砂直下が黒色粘土となり、耕土と考えられる暗灰色粘土が存在しない。水田ではなく、湿地状になっていた可能性もある。

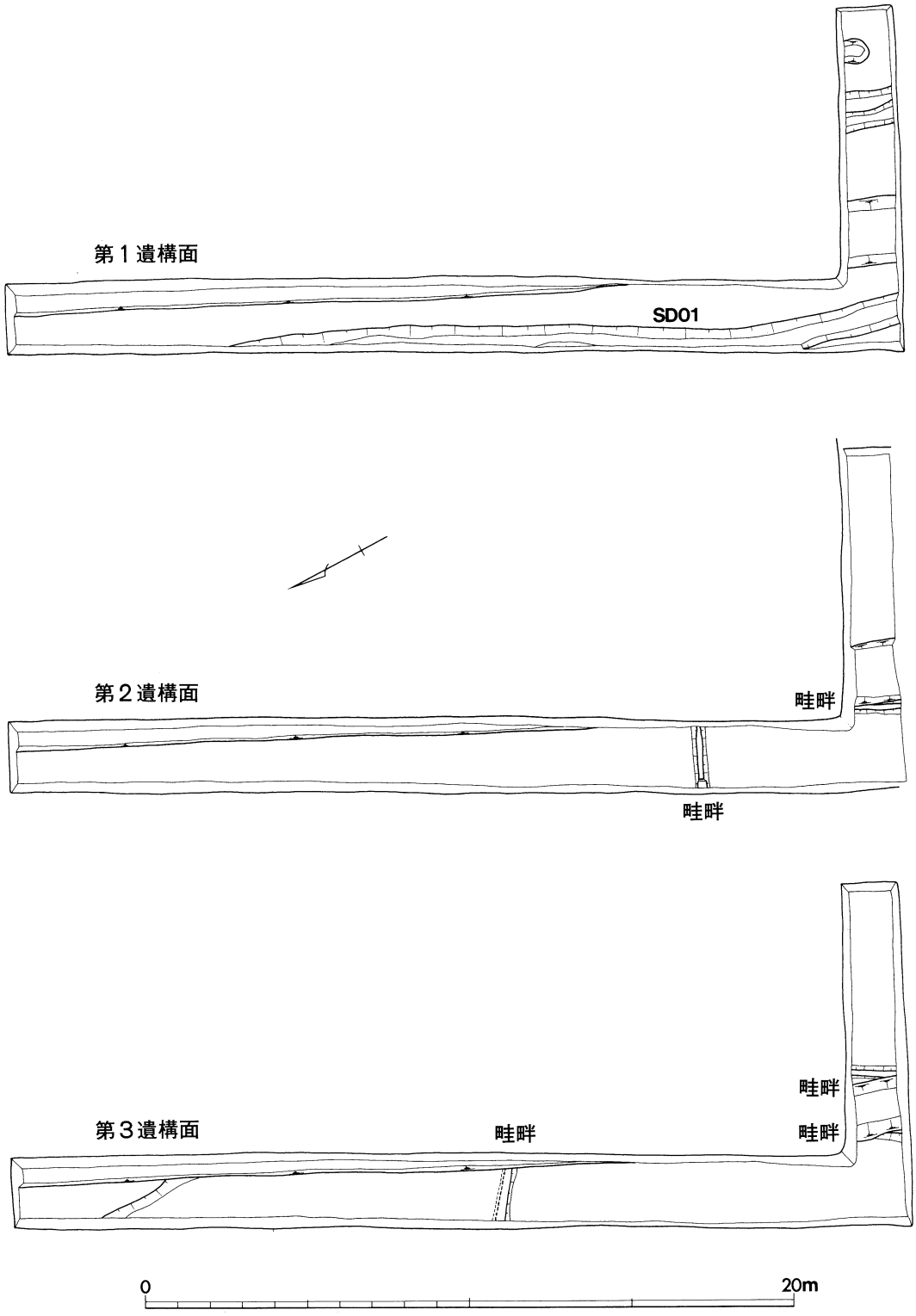



fig. 56
3・4トレンチ平面図

fig. 57　3 トレンチ第 1 遺構面（南から）

fig. 58　3 トレンチ南半第 2 遺構面近景
（南から）

fig. 59　4 トレンチ第 3 遺構面近景
（東から）

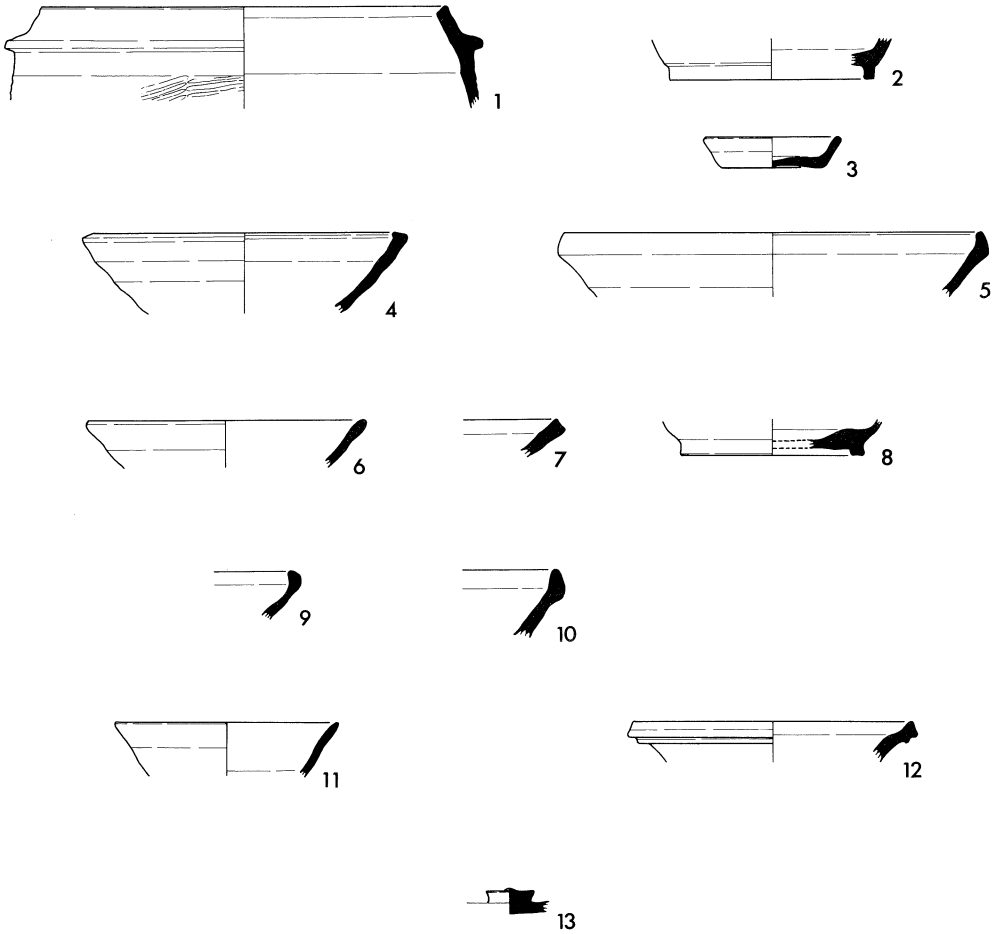
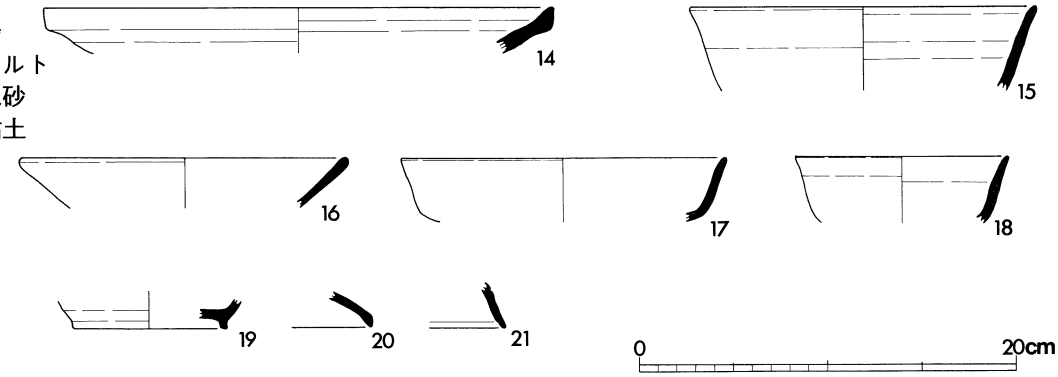



fig. 60
出土遺物実測図
1～5　暗灰色砂
6～10　淡灰色シルト
11・12　淡青灰色砂
13　黄灰色粘土
14～21　ＳＤ01




遺物は、耕作土の直上で出土した小片で、時期は弥生時代のものと考えられる。

## 3．まとめ

今回の調査では、３面の遺構面が確認された。各面とも水田あるいは畑であり、住居などの遺構は、西側の段丘上に存在したと考えられる。

第１遺構面は中世以降、第２遺構面は古墳時代以降、第３遺構面は弥生時代と考えられる。特に、下層の水田面では明瞭な畦畔が検出できた。この地域の弥生時代の生産基盤を考えるうえで、重要な資料である。

また、下層水田層の下に存在する黒色粘土層から、縄文時代晩期の土器（滋賀里Ⅳ式）が出土しており、平成元年度調査で出土した縄文土器と共に、貴重な資料といえる。

# 5．出合（であい）遺跡　第27次調査

**1．はじめに**

出合遺跡は日本道路公団が計画した「出合ふれあいの街」の造成に伴って、昭和52～59年にかけて行われた19次におよぶ調査によって、その内容が具体的に知られるようになった遺跡である。

主な遺構には、古墳時代中期～後期の竪穴住居址群、円墳３基・方墳１基、帆立貝形古墳（亀塚）、８世紀後半の掘立柱建物址、８世紀～10世紀の井戸、平安時代後半～鎌倉時代の掘立柱建物址群、平安時代の窯跡、そしてそれ以降の水田跡などがある。

また、都市計画道路明石国包線建設に先立って、昭和60年から平成３年にかけて４次５回にわたって実施した調査では、弥生時代中期の柱穴群、弥生時代後期の流路、水田跡、平安時代末から鎌倉時代の掘立柱建物址群などが確認されている。

fig. 61
調査地点の位置
1:5000

**2．調査の概要**

今回の調査は、平成２年度末～３年度にかけて行ったもので、調査面積は2100㎡である。

調査区は南北に延び、中世の水田面はほぼ全域に広がるが、弥生時代を中心とする遺構には南に片寄りがみられた。弥生時代前期までは自然河川の氾濫原であったものが、弥生時代中期には方形周溝墓群が営まれる。古墳時代には流路と共に稲科の植物を利用した水路状の施設が築かれ、奈良時代以降は水田として利用されていたとみられる。

**弥生時代の遺構**

方形周溝墓群は調査区南端に位置し、可能性のあるものも含めて７基を検出した。いずれも周溝掘削土を盛り上げて墳丘としている。各周溝墓とも周溝内出土遺物から弥生中期前葉に比定される。

**流路01**

調査区中央西端付近に現れ、南東方向から南西に流路を変えさらに二股に分かれる。流路01は調査区西端では幅4.0m、深さ60cmである。調査区中央付近の分岐点手前に多数の

**ＳＸ01**

の丸木杭が集中して打ち込まれたＳＸ01がある。ＳＸ01は流路02との分岐点に設けられた堰的な施設の一部（ＳＸ01－１）と護岸的な施設の一部（ＳＸ01－２）に分かれる。

ＳＸ01－１は流路西岸を南北方向に２列の丸木杭群を打ち並べ、北側では自然木や１ｍ前後の丸木杭を合掌状に２列の丸木杭列に絡ませていたとみられる。ＳＸ01－２は流路01－１の北岸の設けられた護岸的な施設の一部である。

fig. 62
空からみた調査地区

| 周溝墓番号 | 墳丘の規模 | 主　体　部 | 出土遺物 |
|---|---|---|---|
| 第１方形周溝墓（ST01） | 南北5.0ｍ、東西4.5ｍ | 組み合わせ式木棺１基（南北主軸）<br>長さ134cm、幅45cm、深さ15cm | 弥生土器・打製石槍（周溝） |
| 第２方形周溝墓（ST02） | 南北3.7ｍ、東西5.1ｍ | 組み合わせ式木棺１基（南北主軸）<br>長さ109cm、幅38cm、深さ18cm | 打製石槍（棺内）<br>弥生土器（周溝） |
| 第３方形周溝墓（ST03） | 南北8.1ｍ、東西6.6ｍ | 組み合わせ式木棺１基（南北主軸）<br>長さ120cm、幅50cm、深さ13cm | 弥生土器（周溝） |
| 第４方形周溝墓（ST04） | 南北3.8ｍ、東西3.8ｍ | 組み合わせ式木棺１基（南北主軸）<br>長さ136cm、幅41cm、深さ27cm | |
| 第５方形周溝墓（ST05） | 南北4.2ｍ、東西4.2ｍ | 組み合わせ式木棺１基（東西主軸）<br>長さ115cm、幅47cm、深さ18cm | |
| （ST06） | | 組み合わせ式木棺１基（南北主軸）<br>長さ97cm、幅33cm、深さ10cm | |
| 第６方形周溝墓 | ？ | ？ | |
| 第７方形周溝墓 | 南北5.3ｍ、東西5.5ｍ | ？ | |

**表１　出合遺跡第27次調査　方形周溝墓一覧**

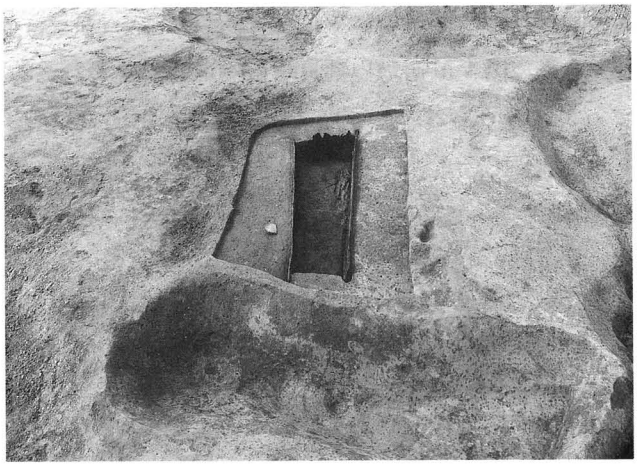


**fig.63　ＳＴ04全景（南から）**

**fig.64　ＳＤ06土器出土状況（南から）**

**fig.65　流路01　ＳＸ01全景（南から）**

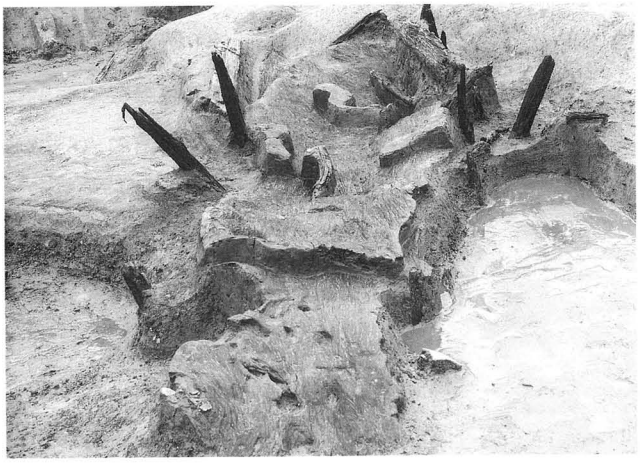


**fig.66　流路04水路状施設近景（東から）**

fig. 67　方形周溝墓群全景
（南から）

**古墳時代以降の遺構**　後世の削平により、弥生時代の面と同一面で古墳時代から奈良時代にかけての遺構も検出した。

**ＳＤ09**　調査区南西隅よりほぼ南北に延びる溝で、長さは47m、幅は1.2m、深さは20cmである。

**ＳＤ11**　調査区のほぼ中央に位置する南北溝で、部分的に蛇行しながら調査区を貫く。長さは25mで、幅は0.4～2.5m、深さ10～30cmである。出土遺物から奈良時代の遺構とみられる。

**ＳＸ04**　調査区北半に位置する不整形の水溜め状遺構である。長径12.5m、短径4.0m、深さ70cmである。自然木のほか、小型丸底壷が出土している。

**ＳＤ10**　ＳＤ09より派生し、北西に延びる溝である。幅60cm、深さ５cmで、中央付近に幅3.0m、深さ10cmの水溜め状の施設をもつ。出土遺物から古墳時代後期とみられる。

**ＳＤ11**　調査区のほぼ中央に位置する南北溝である。長さは25mで、幅は0.4～2.5m、深さ10～30cmである。出土遺物から奈良時代の遺構とみられる。

**流路04**　調査区南端に位置する流路である。幅は10m、深さ50cmで、西岸に杭で囲んだ中に稲科の植物を敷き詰めた水路状の施設を持つ。流路内から布留式土器が出土している。

## ３．まとめ

今回の調査で確認できた主な遺構は方形周溝墓群と水路があげられる。

方形周溝墓群は土器による新旧の差はなく、ほぼ１型式の間に造墓を終えたものとみられる。これらの内、周溝に重複関係を持つものがあり、これをもとに造墓の順序について整理しておきたい。周溝の重複関係からＳＤ02・ＳＤ07よりＳＤ08が新しく、ＳＴ04はＳＤ02に先行する。ＳＤ07とＳＤ02は続いていたとみられ、これらから築造順序は以下の通りとなる。第４方形周溝墓→第５方形周溝墓→第３方形周溝墓となり、第６方形周溝墓と第２方形周溝墓は第３方形周溝墓と周溝を共有しており、明確な重複関係がみられないことからほぼ同時に造墓が行われたとみられる。以上のことからおおよそ北から南の方向に造墓活動が行われたとみられる。

なお、調査の詳細については、『出合遺跡第27次発掘調査報告書』1994.3.刊行を参照されたい。

# 6．出合（であい）遺跡　第28次調査

**1．はじめに**

遺跡は明石川の下流域西岸、標高12～15mの沖積地とその西側の台地上にある。これまでの調査で、弥生時代後期の遺構や、古墳時代の竪穴住居址、帆立貝形古墳などが確認されている。

今回、宅地造成に伴い、埋設管部分の調査を行うことになった。調査区は、幅約２m、長さ約25mと約30mのＴ字形のトレンチである。調査区の名称は、南北方向を１トレンチ、東西方向を２トレンチとし、それぞれに付随する小トレンチを、西から３・４・５トレンチとした。

調査は、機械により盛土・旧耕土を包含層上面まで掘削し、以下を人力で掘削調査した。

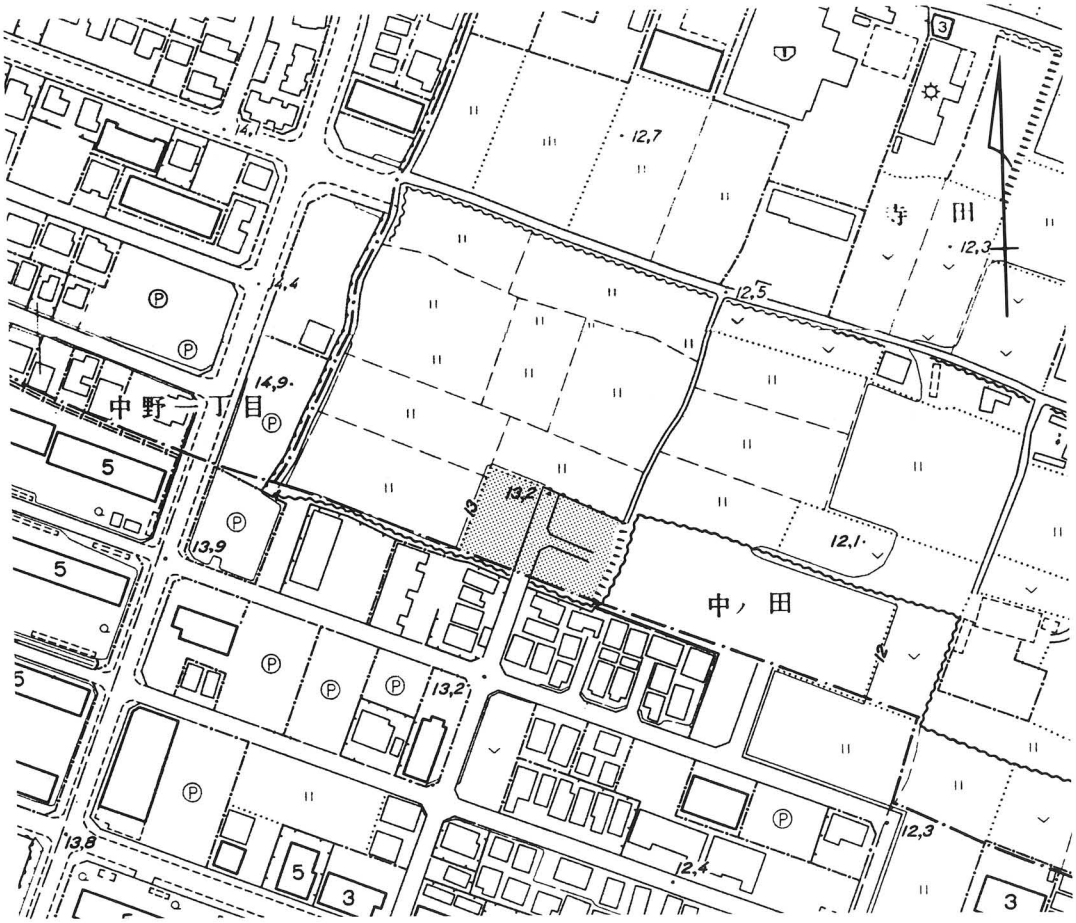



fig. 68
調査地点の位置
1:2500

**2．調査の概要**

基本層序は、盛土・耕土・床土・旧耕土があり、遺物包含層となる。その下層は、灰褐色粘質土・暗灰色粘質土・褐灰色シルトである。

**遺構**

北西から南東方向の溝（ＳＤ01）と、北から南への溝（ＳＤ02・03）、西から東への溝（ＳＤ04・05）、土坑１基、ピット数基を検出した。

**ＳＤ01**

ＳＤ01は、幅約２m、深さ約80cmである。１トレンチ部分では、最上層で小型丸底壺が出土した。２トレンチ部分で、須恵器の坏蓋・高坏が出土している。

**ＳＤ02**

ＳＤ02は、幅約1.2m、深さ約40cmである。

**ＳＤ03**

ＳＤ03は、幅約1.5m、深さ約40cmである。

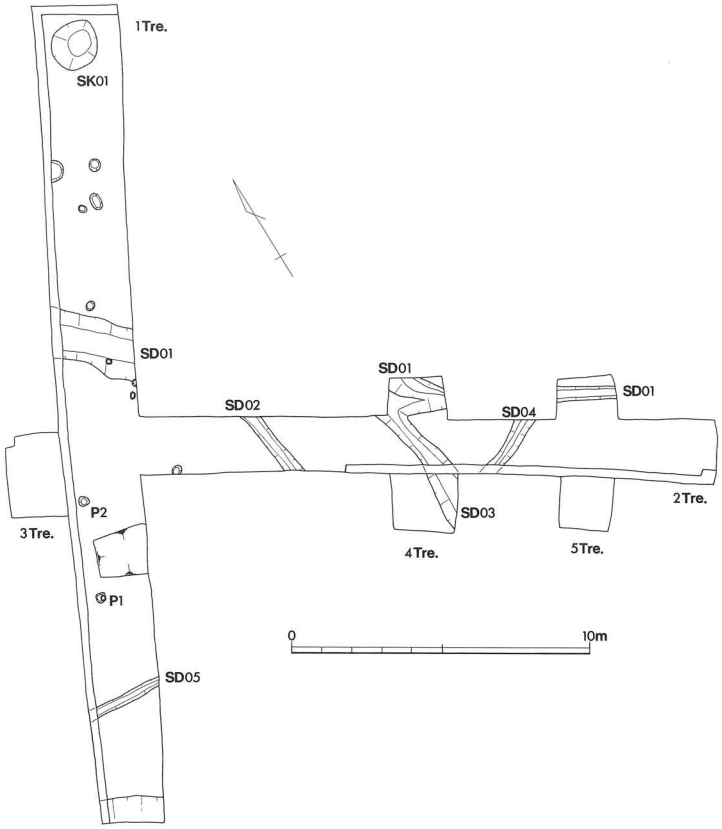



fig.69　調査区平面図

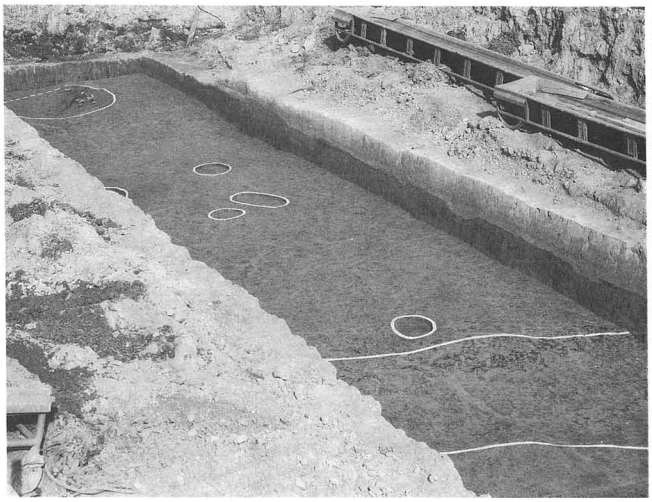


fig.70　1トレンチ北半の遺構（北西から）

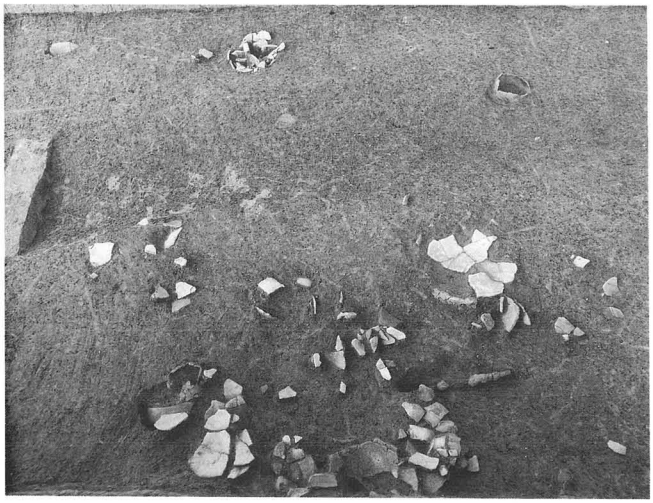


fig.71　2トレンチ遺物出土状況

**ＳＤ04・05**　ＳＤ04・05は、幅約1.2m、深さ約40cmである。土層断面からは、他の溝とくらべて一時期古いようである。

**ＳＫ01**　ＳＫ01は１トレンチ北端で検出した直径約1.6m、深さ約20cmの土坑である。土師器が出土している。炭も混入していた。

**柱穴**　柱穴１・２は、ともに直径約30cm、深さ約40cmである。柱穴１では、木材が残存していた。遺物は、土師器の小片が出土している。

**遺物**　遺物は、主にＳＤ01と２トレンチの包含層から出土した。土師器、須恵器の他に、鉄器、石製紡錘車も出土した。時期は古墳時代である。

# 7．栃木（とちのき）遺跡　第７次調査

**1．はじめに**　栃木遺跡は櫨谷川の中流域、西区櫨谷町栃木・谷口の櫨谷川両岸段丘上に所在する。今回の調査地は谷口川と櫨谷川の合流点付近で、櫨谷川左岸の段丘先端部に位置する。後背丘陵はいくつもの細い谷がいりくみ、複雑な地形をしている。栃木遺跡は昭和60年以降調査が行われ、弥生時代中期から中世までの遺物・遺構が確認されている。今回の調査は、西神地区開発事業（西神第２地区谷口連絡道路建設）に伴う埋蔵文化財発掘調査である。

**2．調査の概要**

**基本層序**　調査地は東側の丘陵から緩やかに傾斜して、西端で段丘崖となっており土層の堆積も同じ状況を示している。基本層序は上層より、圃場整備時の盛土、圃場整備前の現代耕土、旧耕土、旧床土、灰色砂（厚さ10cm、弥生時代中期の遺物包含層）、淡黄褐灰色細砂（厚さ10～20cm、弥生時代中期の遺物包含層で、上面が第１遺構面）、暗灰色細砂（厚さ15～30cm、弥生時代中期の遺物包含層で、上面が第２遺構面）、淡褐色細砂（厚さ40cm、上面が第３遺構面）である。第１遺構面である淡黄褐灰色細砂は調査区全体に見られる層ではなく、中央やや西寄りのわずかな範囲で確認されている。また、第２遺構面である暗灰色細砂は調査区の東半では暗灰色をしているが、西半では黒褐色となっており、サヌカイト製の石器が多く確認されている層である。淡黄褐灰色細砂および暗灰色細砂はどちらも弥生時代中期後半の遺物を含む層である。

fig.72　調査地点の位置　1:2500

**第１遺構面**　第１遺構面では土坑１基、溝３条、ピット14基、流路１条が検出された。

**ＳＫ01**　ＳＫ01は長さ80cm、幅50cm、深さ10cmの長方形の土坑で、中から土器片が１点のみ出土した。

**ＳＤ02・03**　ＳＤ02・03はいずれも幅約30cm、深さ10cm程度の溝で、検出された長さはＳＤ02が１ｍ、ＳＤ02が７ｍである。遺物は土器が若干出土している。

**ＳＤ04**　ＳＤ04は当遺跡の第３遺構面の時期に形成された流路で、第１遺構面において完全に埋没したものである。規模は幅2.2m、深さ20cm、調査区での長さ約30mである。

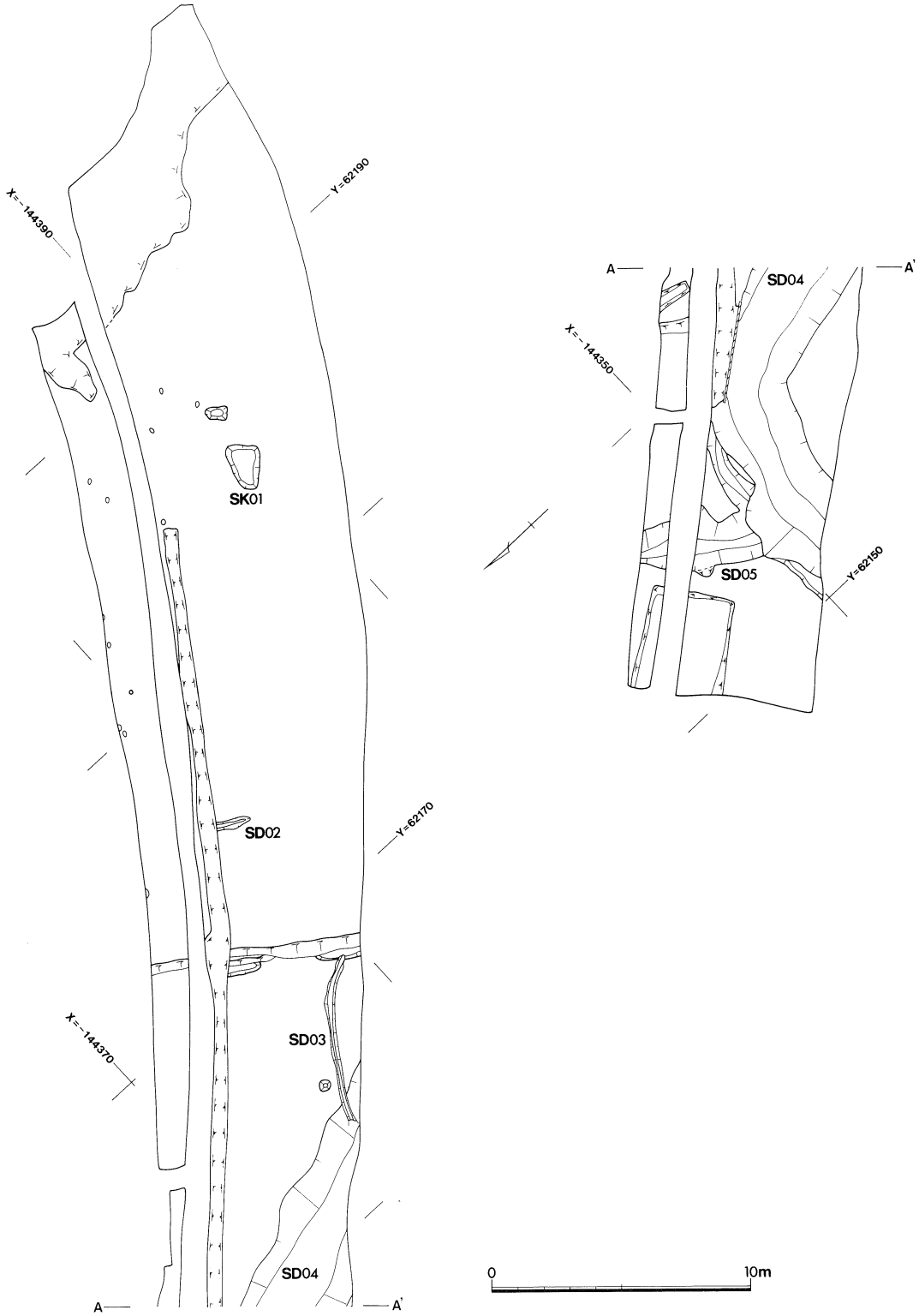



fig.73
第１遺構面
平面図

**第2遺構面**　第2遺構面では流路2条・溝1条が検出された。

ＳＤ04は第1遺構面で検出されたものであり、第2遺構面においては中層が確認されている。埋土は小礫～中礫であり、この時期まで比較的大きな流れであったと考えられる。遺物が若干検出された。

**ＳＤ05**　ＳＤ05はＳＤ04に流れ込む流路で、幅2ｍ、深さ20㎝、長さ4ｍが検出された。土器片が若干出土した。

**ＳＤ06**　ＳＤ06は調査区中央で検出された溝で幅1.5m、深さ20㎝、長さ約6ｍが検出されている。土器片が若干出土した。

fig.74　第1遺構面全景（西から）

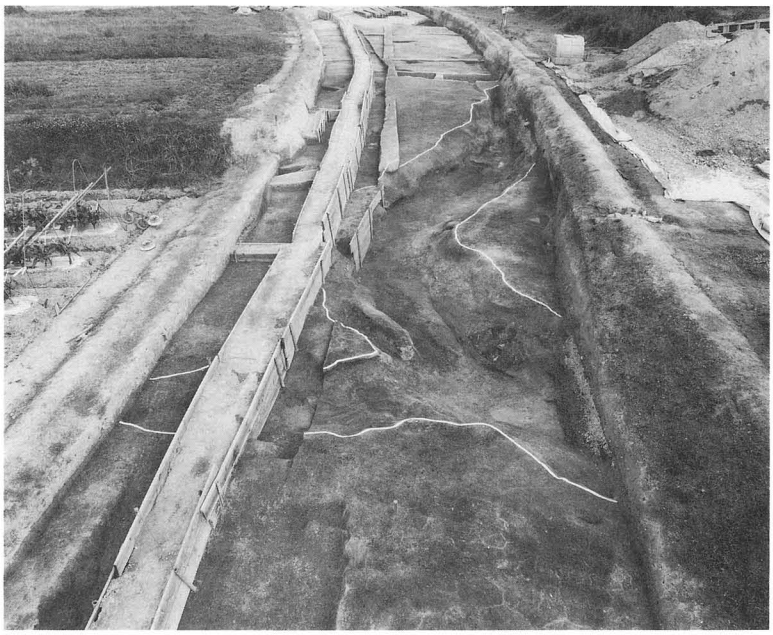


fig.75　第2遺構面全景（西から）

**第3遺構面**　第3遺構面では土坑7基、溝10条、ピット約100基、流路2条が検出された。

**ＳＸ02**　ＳＸ02は幅2ｍ、深さ50㎝の土坑で、全体の規模は遺構が調査区外に拡がるため不明であるが、長さ約4ｍが確認されている。遺構内からは、ほぼ完形の壺1点・甕1点の他、サヌカイト製石鏃1点・石鏃未製品2点・サヌカイト剥片が出土した。

**ＳＸ04**　ＳＸ04は２ｍ×1.5ｍの土坑であるが、南側がＳＤ04によって切られているために全体の規模は不明である。形態は円形の土坑が２基重なりあったようであり、東側が一段深くなっている。中から土器片・サヌカイト片が出土した。

**ＳＫ04**　ＳＫ04は1.3ｍ×1.0ｍ、深さ30cmの円形の土坑で、ＳＤ04によって上面が削られて、遺構面からの深さは当初は約60cmあったものと考えられる。遺構内には炭が詰まっており、土器片・木片の他に石鏃１点・石器５点を含むサヌカイト片が多く出土した。

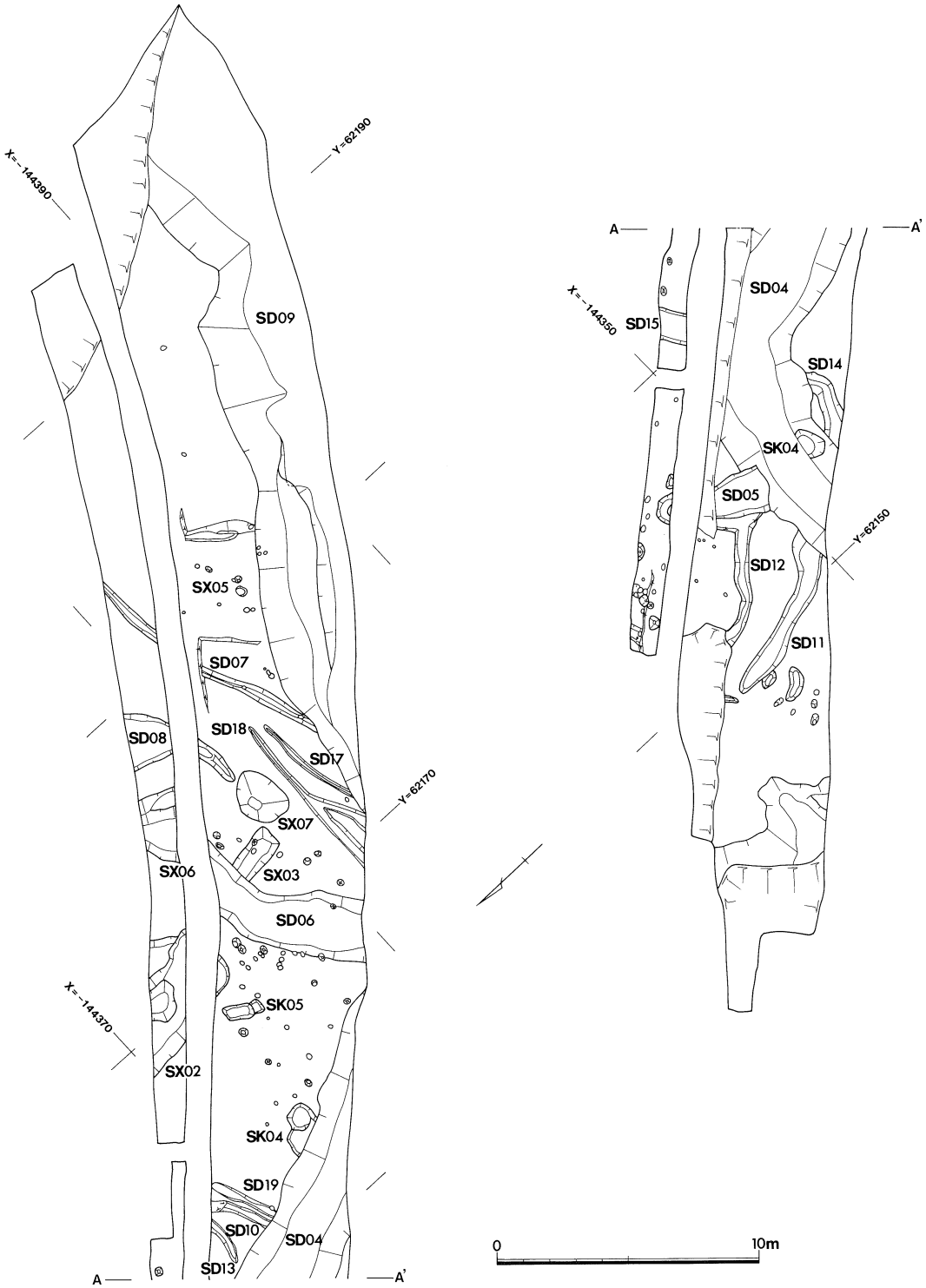



fig. 76
第２・３遺構面
平面図

fig.77　第２・３遺構面全景（東から）

fig.78　第３遺構面全景（西から）

fig.79　ＳＸ02遺物出土状況（北から）

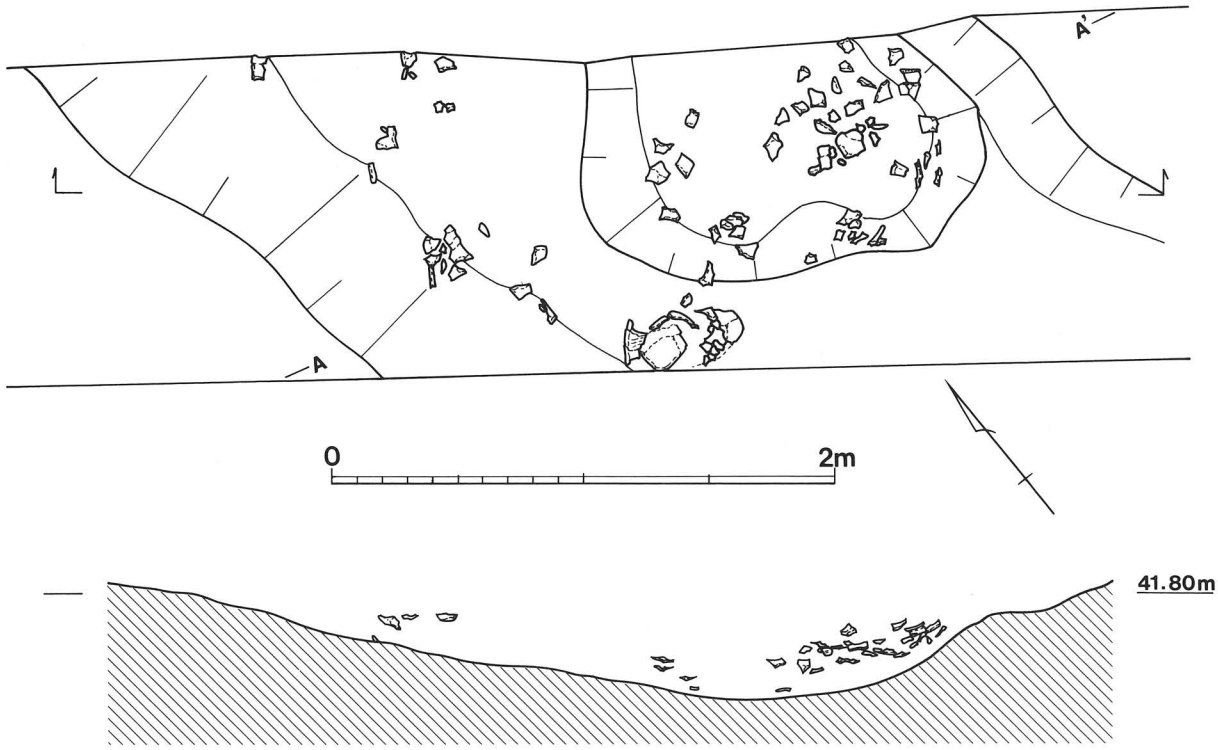



fig.80　ＳＸ02実測図

その他の土坑も長さ２ｍ、深さ20㎝前後のもので、遺構内からは土器やサヌカイト片が出土した。

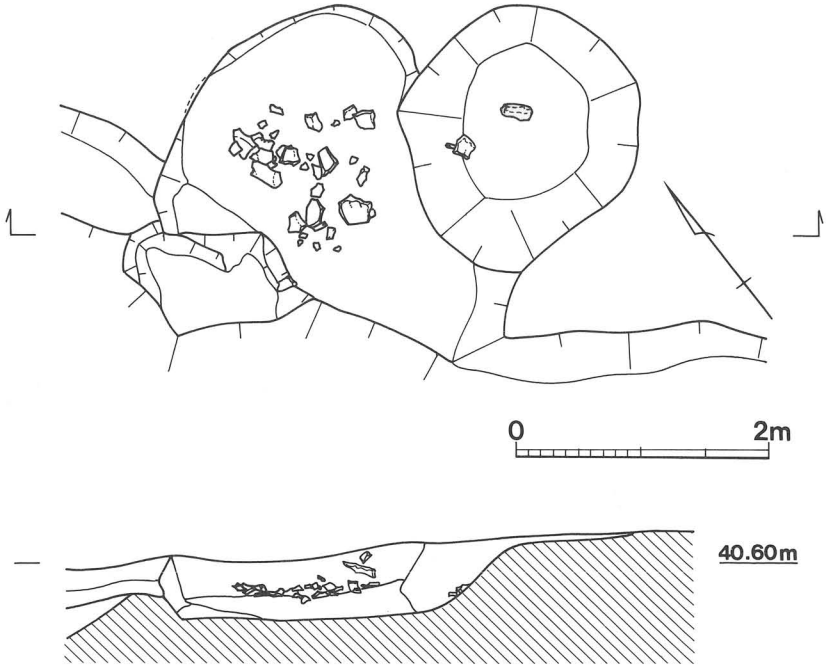
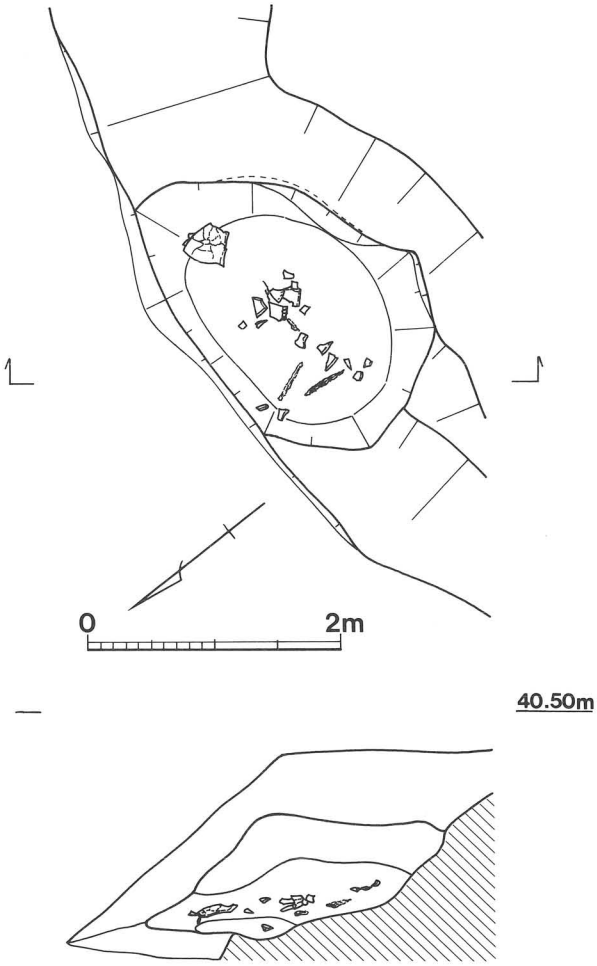



fig. 81　ＳＸ04実測図



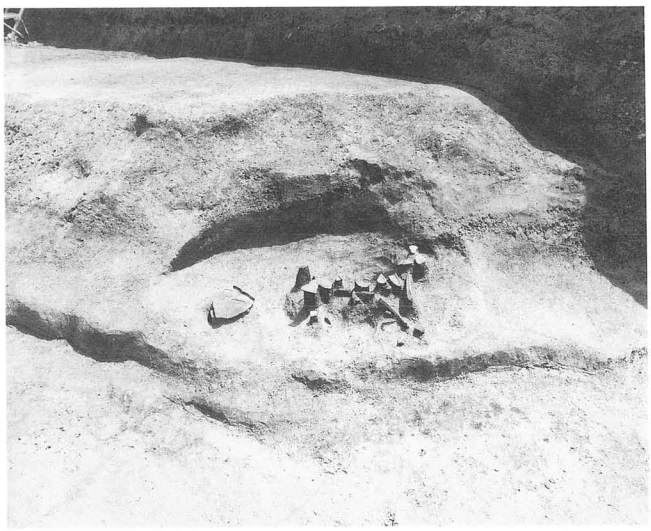



fig. 83　ＳＫ04全景（北西から）

fig. 82　ＳＫ04実測図

fig. 84　ＳＸ04全景（北西から）

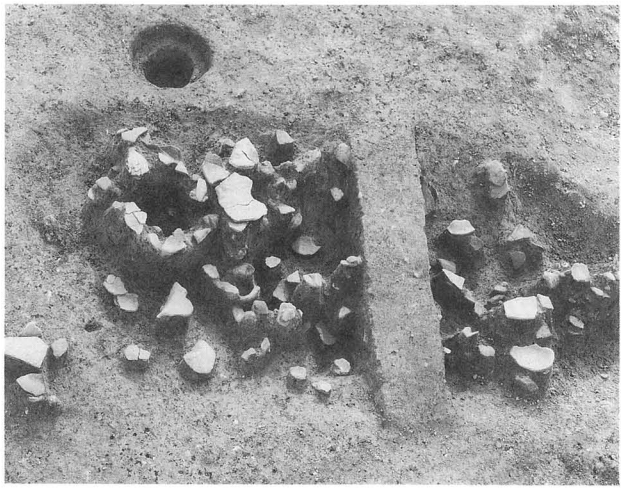


fig. 85　ＳＸ03遺物出土状況（北東から）

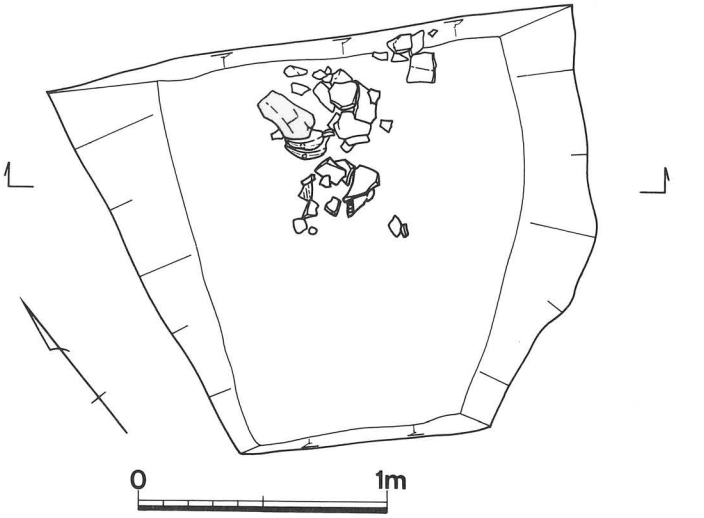


fig. 87　ＳＤ08遺物出土状況（南から）

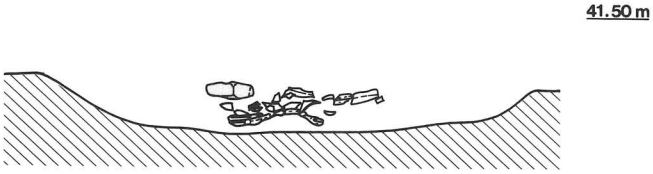



fig. 86　ＳＤ08実測図

**ＳＤ04**　ＳＤ04は幅２ｍ、深さ１ｍの流路で調査区の中央から南側にかけて検出された。緩やかに蛇行しており、調査区内の中央寄りから一度調査区の南側に曲がり、再び調査区の西端で検出されている。調査区内での長さは約30ｍである。

**ＳＤ08**　ＳＤ08は幅４ｍ、深さ20㎝の溝で、長さ約２ｍが検出されたが、遺構が調査区外に拡がるために全体の規模は不明である。遺物は土器片の他に楔形石器が１点出土した。

**ＳＤ09**　ＳＤ09はその大半が調査区外に拡がるため全体の規模は不明であるが、調査区内では幅４～５ｍ、深さ１ｍ、長さ30ｍが検出されている。中層からほぼ完形の甕形土器２点が出土している。このＳＤ09は谷口川の旧河道であったと考えられる。

その他、溝が10条検出されたが、いずれも幅20㎝、深さ約10㎝の浅い溝である。遺物は土器片とサヌカイト片が若干出土した。

柱穴は約100基検出されたが、建物等になるかどうかは不明である。中から土器片が若干出土した。

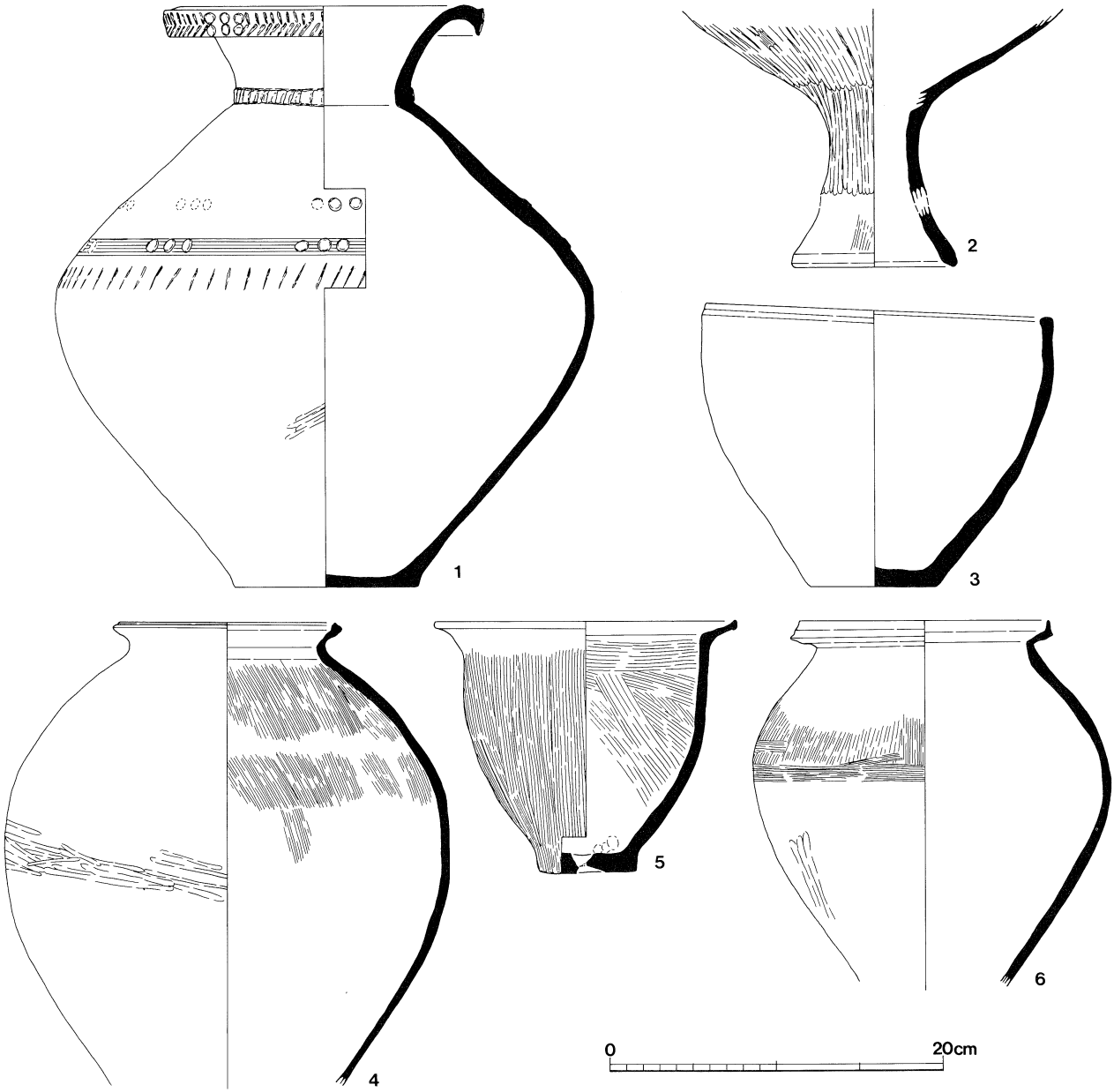



fig.88　出土遺物実測図　1～3　ＳＸ02　4　ＳＸ06　5　ＳＤ09　6　灰色砂

**3．遺物**　遺物は、弥生時代中期のものが大半で、古墳時代の遺物もわずかながら確認されている。ほとんどの土器は磨滅がひどく、細部に至る検討が行えていないが、器種別では甕の割合が高いものと考えられる。また、甕のうち、胎土が当地域産のものであるが、器形の特徴から他地域の影響を受けていると考えられるものも含まれており、何らかの交流があったものと考えられる。

**4．まとめ**　今回の調査では弥生時代中期後半の３面の遺構面が確認された。検出された遺構は土坑や溝のみであるが、遺物の出土状況から今回の調査区は集落の一部に当たるものと考えられる。しかし、調査区内においては第３遺構面の時期に旧河道が遺構を切るように貫流し、第２遺構面、第１遺構面と遺構の分布が希薄となることからこの地の活用頻度は低下していったものと考えられる。周辺で確認されている西神ニュータウン内第65号地点遺跡・如意寺裏山遺跡などの同時期の遺跡との関係が今後の検討課題となるであろう。

# 8．二ッ屋東遺跡

**1．位置と環境**　二ッ屋東遺跡は、明石川の支流である櫨谷川下流域左岸に位置する。遺跡は東側に広がる段丘の裾に立地し、標高18m前後である。

当遺跡周辺には、数多くの遺跡が知られている。北方の丘陵裾に広がる弥生時代・平安時代の集落跡である西神ニュータウン内第62号地点遺跡、西方には横穴式石室を有する松本古墳群や弥生時代の高地性集落として知られる青谷遺跡、南方には弥生時代から鎌倉時代にわたる高津橋、今津の両遺跡などが広く知られている。

**2．調査経過**　当該地は平成3年9月・10月の二度にわたって試掘調査を実施した。その結果、遺物包含層および遺構が確認されたため、同年12月6日から道路拡幅部分約700㎡について発掘調査を実施した。また、拡幅・新設予定地として買収されている部分について試掘調査をあわせて行った。

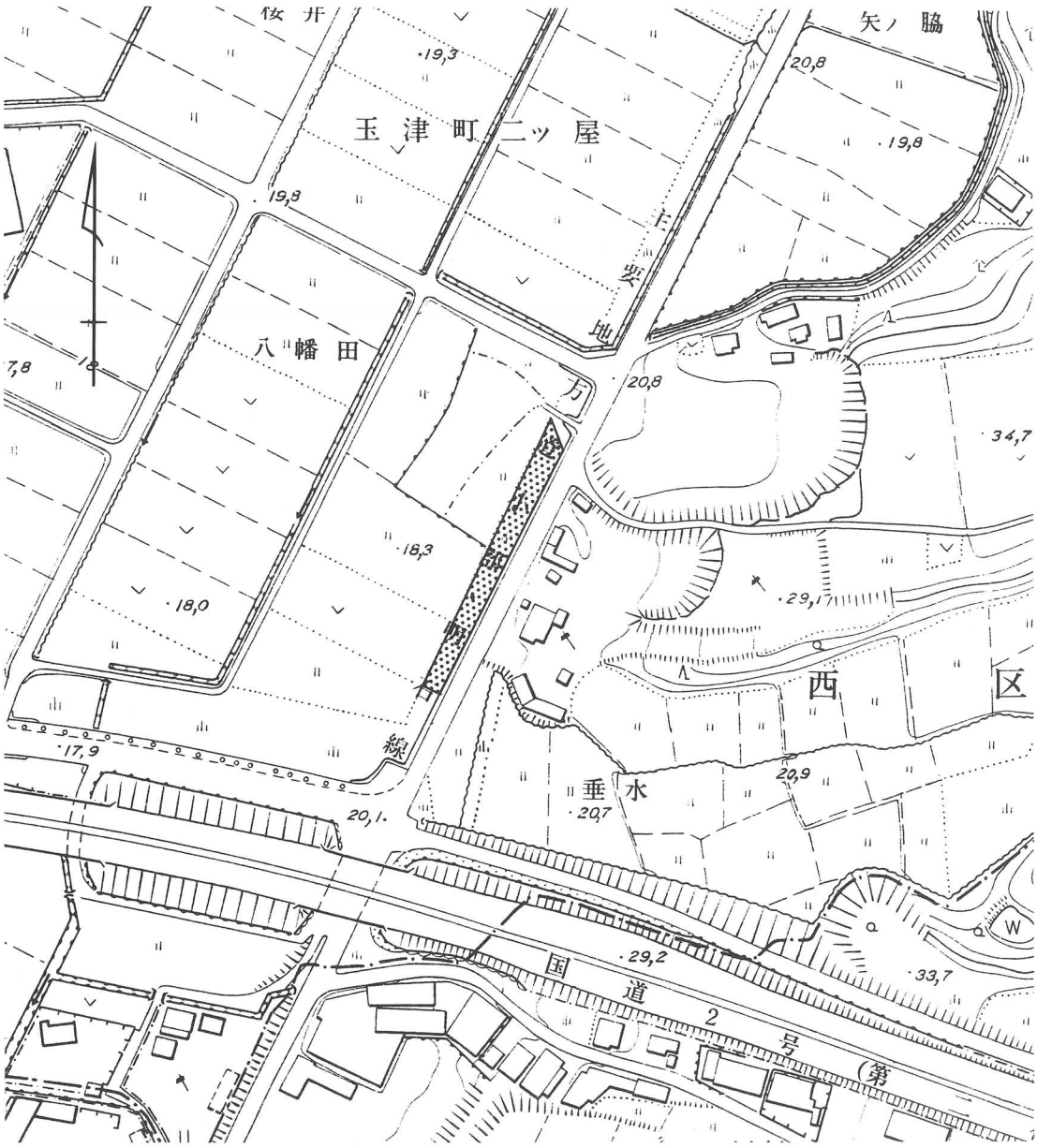



fig. 89
調査地点の
位置　1:2500